

令和元年 7月31日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 社会科(地理的分野)

代表者 呉市立横路中学校

氏名 木村 真司

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【社会科（地理的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> 原則見開き2ページで一単元を構成している。左ページ見出しの横に目標が記載されている。また、右ページ最下部にはまとめと振り返りのための課題が示されている。 見開きごとに「地球のすがたを見てみよう」等のタイトルがあり、その右横に「どのような」「どのように」という問いかけの形態で、1時間ごとの目標が示されている。 <p>(例)</p> <p>「地球はどのような姿をしているのでしょうか。」(P 6)</p> <p>「世界の山や火山の分布にはどのような特色があり、日本はどのような場所にあるのでしょうか。」(P 1 4 2)</p>
教出	<ul style="list-style-type: none"> 原則見開き2ページで一単元を構成している。左ページ見出しの横にサブテーマと学習課題が記載されている。また、右ページ脚注部にはまとめと、振り返りのための課題が示されている。 見開きごとに「地球、そして世界へ」等のタイトルがあり、その下に「どのような」「どんな」という問いかけの形態で、1時間ごとの目標が示されている。 <p>(例)</p> <p>「私たちが暮らす地球はどんな特徴をもつ星なのでしょうか。」(P 1 2)</p>
帝国	<ul style="list-style-type: none"> 原則見開き2ページで一単元を構成している。左ページ見出しの横に目標が記載されている。また、右ページ脚注部にはまとめと振り返りのための課題が示されている。 見開きごとに「地球をながめて」等のタイトルがあり、その右横に「どのように」「どのような」という問いかけの形態で、1時間ごとの目標が示されている。 <p>(例)</p> <p>「六つの大陸や三つの大洋は地球上にどのように分布しているのでしょうか。また、世界はどのように区分することができるのでしょうか。」(P 2)</p> <p>「世界において、地震や火山活動が活発な地域とそれらがほとんどない地域は、どのように分布し、そこではどのような地形がみられるのでしょうか。」(P 1 3 2)</p>
日文	<ul style="list-style-type: none"> 原則見開き2ページで一単元を構成している。左ページ見出しの横に目標が記載されている。また、見出しの下には単元のキーワードとなる地理用語が提示されている。さらに、右ページ脚注部にはまとめと振り返りのための課題が示されている。 見開きごとに「私たちが生活する地球をとらえる」等のタイトルがあり、その左横に「どのような」「どのように」という問いかけの形態で、1時間ごとの目標が示されている。 <p>(例)</p> <p>「私たちが生活する地球は、どのような姿をしているのだろうか。」(P 2)</p> <p>「大地の不安定な地域と安定した地域には、それぞれどのような特色があるのだろうか。」(P 1 3 2)</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めるための工夫
方法	日本の地域区分と中核となる考察の組合せ及び考察する内容の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>日本の地域区分とテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州地方「環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし」 2 中国・四国地方「都市と農村の変化と人々の暮らし」 3 近畿地方「歴史の中で形作られてきた人々の暮らし」 4 中部地方「活発な産業を支える人々の暮らし」 5 関東地方「さまざまな地域と結びつく人々の暮らし」 6 東北地方「伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし」 7 北海道地方「雄大な自然とともに生きる人々の暮らし」 <p>※ 東北地方の内容に「災害からの教訓」を盛り込んでいるところが、他社と異なっている。</p> <p>(考察する内容の例)</p> <p><u>中部地方</u></p> <p>① 自然環境の特色（4社同一の内容） 写真7枚（雪下ろし、輪中地帯など）、雨温図3種、地図1種、イラスト1種 「日本の屋根」「三つの気候」</p> <p>③ 工業の特色（4社同一の内容） 写真4枚（中京工業地帯など）、グラフ4種、地図1種 「東海の工業」「変容する工業地域」「雪国で育った伝統産業」</p> <p>② 人口・産業の特色 ④ 農業の特色</p> <p>⑤ <u>世界との結びつき</u></p> <p>※ 他社は北陸地方のみを小単元として扱っているが、本書では北陸は④で東海・中央高地とともに併記してある。⑤の視点は本書独自である。</p> <p><u>中国・四国地方</u></p> <p>都市と農村の変化と人々の暮らし</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中国・四国地方の生活の舞台 ② 中国・四国地方の人々の営み ③ 都市の役割とその課題 ④ 高齢化が進む農村と町おこし ⑤ 交通網の発展による地域の変化 <p>※ 1の「生活の舞台」、2の「人々の営み」はすべての地域区分で共通している。</p>

<p>教出</p>	<p>日本の地域区分とテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州地方「環境問題と環境保全を中心に考えよう」 2 中国・四国地方「人口や都市・村落を中心に考えよう」 3 近畿地方「歴史的背景を中心に考えよう」 4 中部地方「産業を中心に考えよう」 5 関東地方「他地域との結びつきを中心に考えよう」 6 東北地方「生活・文化を中心に考えよう」 7 北海道地方「自然環境を中心に考えよう」 <p>(考察する内容の例)</p> <p><u>中部地方</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然環境の特色（4社同一の内容） 写真6枚（金属加工、飛騨山脈など）、雨温図2種、地図2種 「中部地方の産業」「独自の発展」「多様な自然環境」 ② 工業の特色（4社同一の内容） 写真6枚、グラフ3種、地図1種 「東海地方の中心、名古屋市」「中京工業地帯」「自動車工業が発展の原動力」 ③ 農業と水産業の特色 ④ 自然環境を生かした産業 ⑤ 北陸の伝統産業 <p><u>中国・四国地方</u></p> <p>人口や都市・村落を中心に考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人口分布のかたよる地域 ② 中国・四国地方の中心 広島 ③ 人口減少と地域の悩み ④ 地域おこしの知恵 ⑤ 交通網の発達と人口の変化 <p>※ すべての地域区分で共通のものはない。</p>
<p>帝国</p>	<p>日本の地域区分とテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州地方「<u>自然環境</u>に注目して」 2 中国・四国地方「<u>他地域との結びつき</u>に注目して」 3 近畿地方「<u>環境保全</u>に注目して」 4 中部地方「<u>産業</u>に注目して」 5 関東地方「<u>人口や都市</u>に注目して」 6 東北地方「<u>生活・文化</u>に注目して」 7 北海道地方「<u>歴史的背景</u>に注目して」 <p>※ 九州・中国四国・近畿・関東・北海道の中核となるテーマ設定が他社と異なっている。</p> <p>(考察する内容の例)</p> <p><u>中部地方</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然環境の特色（4社同一の内容） 写真5枚（輪中地帯、みかんの収穫など）、雨温図3種、グラフ1種、地図2種 「日本アルプス」「3つの地域の気候」

	<p>② 輸送機械工業の発展（4社同一の内容） 写真4枚，グラフ3種，地図1種 「中京工業地帯」「東海工業地域」</p> <p>③ 農業の特色 ④ 中央高地の産業 ⑤ 北陸の産業</p> <p><u>中国・四国地方</u> 他地域との結びつきに注目して</p> <p>① 中国・四国地方の自然環境 ② 交通網の整備と人々の生活の変化 ③ 海外と結びついた瀬戸内の工業 ④ 全国展開を進める農業 ⑤ 観光客を呼び寄せる取り組み</p> <p>※ 1の「自然環境」はすべての地域区分で共通している。</p>
<p>日文</p>	<p>日本の地域区分とテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州地方「環境問題や環境保全の視点で」 2 中国・四国地方「人口や都市・集落の視点で」 3 近畿地方「歴史的背景の視点で」 4 中部地方「産業の視点で」 5 関東地方「他地域との結びつきの視点で」 6 東北地方「生活・文化の視点で」 7 北海道地方「自然環境の視点で」 <p>(考察する内容の例)</p> <p><u>中部地方</u></p> <p>① 地形や気候の特色（4社同一の内容） 写真2枚（輪中，飛騨山脈），雨温図3種，地図1種，イラスト1枚（輪中） 「日本の屋根」「3つの地域の気候」</p> <p>② 人口・産業の特色 写真3枚（名古屋駅周辺など），地図3種， 「都市の発達」「盛んな農業・工業」「伝統文化を生かした観光業」</p> <p>③ 自動車工業の発展（4社同一の内容）</p> <p>④ 交通網の整備と中央高地 ⑤ 北陸の産業の特色</p> <p><u>中国・四国地方</u> 人口や都市・集落の視点で</p> <p>① 中国・四国地方の自然環境 ② 中国・四国地方の人口や産業 ③ 人口の集中する瀬戸内海地方 ④ 過疎化の進む地域の努力 ⑤ 交通網の発達による人の動きの変化</p> <p>※ 1の「自然環境」，2の「人口や産業」はすべての地域区分で共通している。</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めるための工夫
方法	環境の保全及び自然災害の防止についての取扱い及び記載の仕方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(本文)</p> <p>世界から見た日本の自然環境</p> <p>5 「自然災害と防災への取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害の種類と被災地への支援, 防災意識の涵養について <p>1 九州地方「環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし」</p> <p>③ 多様な環境問題と環境保全の取り組み(土砂崩れと水害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨をもたらす被害について <p>6 東北地方 ⑤「過去からの継承と未来に向けた社会づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先人の教えや経験を生かす方法について <p>7 北海道地方 ③「自然の制約に適応する人々の工夫」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい自然環境に備えた生活の工夫について <p>第4章 身近な地域の調査</p> <p>※ 避難場所などを盛り込んだハザードマップの作製についても触れている。この書き方は本書独自である。</p> <p>(コラム)</p> <p>※ 特に【 】のない場合, 1/4~1/5 ページ程度のスペース</p> <p>P154 「震災と防災・減災への取り組み」【2ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三陸地域を例にした防災・減災への取り組みについて <p>3 近畿地方 P205 「阪神・淡路大震災の教訓」</p> <p>5 関東地方 P229 「集中豪雨から都市を守る地下調節池」</p> <p>(環境の保全及び自然災害の防止の記載の仕方)</p> <p>「震災と防災・減災の取り組み」のコラムでは, 見開き2ページで東日本大震災の震源の位置が分かる地図と, 地震発生メカニズムを示した模式図が掲載されている。あわせて, 大槌町の津波避難防災マップが掲載されており, 東日本大震災後の防災・減災の取組が紹介されている。</p>
教出	<p>(本文)</p> <p>世界から見た日本のすがた</p> <p>⑤ 「自然がもたらす災害と向き合う～さまざまな自然災害」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震・津波・火山活動と水害などについて <p>⑥ 「災害から身を守るために～「防災」から「減災」へ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップと災害への支援について <p>1 九州地方「環境問題と環境保全を中心に考えよう」</p> <p>② さんご礁の海を守る～観光開発と環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光開発と自然保護の兼ね合いについて <p>③ 火山とともに暮らす～自然を利用する暮らしの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火山の存在と活用について <p>④ 環境を守る循環型の農業～特色ある自然と畜産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畜産を通じた循環型農業の展開について

	<p>⑤ 煤煙の街からエコタウンへ～工業と環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公害の経験を生かしたエコタウンの展開について <p>3 近畿地方「歴史的背景を中心に考えよう」</p> <p>⑤ 琵琶湖の水の利用と環境～開発と環境保全の歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質改善の取り組みについて <p>(コラム)</p> <p>1 九州地方 P 1 7 2 「公害を乗り越えて」【2ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水俣を例とした環境問題への取り組みについて <p>6 東北地方 P 2 3 6 「震災を乗り越えて」【2ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県山田町の、震災復興への取り組みについて <p>(環境の保全及び自然災害の防止の記載の仕方)</p> <p>「震災を乗り越えて」のコラムでは、見開き2ページで震災の被害を受けた岩手県下閉伊郡山田町を示す地図と被害を受けた魚賀波間神社の写真と、震災後、復興した魚賀波間神社での祭りの様子の写真が掲載されている。震災を通じて「地域の文化を引き継いでいく」ことを考えるよう呼びかけている。</p>
<p>帝国</p>	<p>(本文)</p> <p>世界と比べた日本の地域的特色</p> <p>5 「日本のさまざまな自然災害」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震と火山、気象災害について <p>6 「自然災害に対する備え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災への工夫と災害への対応について <p>1 九州地方「自然環境に注目して」</p> <p>4 都市や工業の発展と自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公害を克服した環境保全の取り組みについて <p>3 近畿地方「環境保全に注目して」</p> <p>2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 琵琶湖の水質改善の取り組みについて <p>3 臨海部の埋め立てと環境に配慮した工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の発達と環境問題への取り組みについて <p>5 環境に配慮した林業・漁業と保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業・漁業と環境保全の取り組みについて <p>(コラム)</p> <p>※ 特に【 】のない場合、1/4～1/5 ページ程度のスペース</p> <p>1 九州地方 P 1 7 1 「都市型水害に備えて」 P 1 7 3 「自然保護と観光業の両立をめざす屋久島」 P 1 7 7 「公害の街から生まれ変わった水俣市」 P 1 8 0 「公害の経験を生かした環境保全への取り組み」</p> <p>2 中国・四国地方 P 1 8 5 「水不足の解消に向けて」 P 1 9 3 「砂丘地の技術を世界へ」</p> <p>3 近畿地方 P 1 9 9 「震災の経験を生かした神戸市のまちづくり」</p> <p>4 東海地方 P 2 1 3 「富士山の噴火や地震に備えて」 P 2 1 5 「公害の教訓を伝える三重県四日市市」</p> <p>5 関東地方 P 2 2 7 「都市における地震被害に備える」 P 2 3 7 「尾瀬の豊かな自然を守る取り組み」</p> <p>6 東北地方 P 2 4 3 「震災を後世に伝える桜ライン」 P 2 5 2 「地震への備えと復興に向けた取り組み」【1ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県宮古市の復興への取り組みについて

	<p>(環境の保全及び自然災害の防止の記載の仕方)</p> <p>「地震への備えと復興に向けた取り組み」のコラムでは、1ページで東北地方太平洋沖地震の震度と津波の高さ、地元の中学生在が復興計画をもとに制作した地区の模型の写真が掲載されている。津波の被害を受けた建物等を残しながら、教訓として震災を語り継ぐ取組が紹介されている。</p>
<p>日文</p>	<p>(本文)</p> <p>自然環境や災害・防災からみた日本</p> <p>5 「世界と日本の地震・火山災害」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震・津波, 火山噴火などの自然災害について <p>6 「世界と日本の気象災害」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨などによる気象災害について <p>P144 「災害に備えるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識を高めるための取り組みについて <p>1 九州地方「環境問題や環境保全の視点で」</p> <p>3 日本を支えた鉱工業と環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の発展と公害の克服について <p>4 環境保全に取り組む農業・漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業・漁業と環境保全の取り組みについて <p>5 環境保全のためのさまざまな取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄のさんご礁を守る取り組みについて <p>(コラム)</p> <p>※ 特に【 】のない場合, 1/4~1/5 ページ程度のスペース</p> <p>P146 「東日本大震災からの復興をめざして」【2ページ】</p> <p>P148 「せまりくる巨大地震」【2ページ】</p> <p>P156 「原子力発電所の事故と再生可能エネルギー」【2ページ】</p> <p>1 九州地方 P180 「日本の環境首都をめざして」【1ページ】</p> <p>2 中国・四国地方 P191 「巨大地震にそなえる過疎地域の課題」</p> <p>3 近畿地方 P203 「琵琶湖の環境を未来の世代へ」</p> <p>4 中部地方 P215 「コンパクトシティをめざす富山市」</p> <p>5 関東地方 P219 「小笠原諸島の環境保全」</p> <p style="padding-left: 2em;">P225 「治水で都市を守る～荒川を例に～」</p> <p>6 東北地方 P231 「平安時代の津波が語ること」</p> <p style="padding-left: 2em;">P237 「世界におよんだ震災の影響」</p> <p style="padding-left: 2em;">P240 「過去からの伝承に学ぶ」【1ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三陸海岸での, 教訓を生かした取り組み <p>7 北海道地方 P247 「雪とともに生きる」</p> <p>(環境の保全及び自然災害の防止の記載の仕方)</p> <p>「過去からの伝承に学ぶ」のコラムでは、1ページで昭和三陸地震のあとに建てられた津波記念碑や東日本大震災の津波記念碑の写真が掲載されている。また、津波被害のようすをボランティアの大学生に伝える語り部の写真も掲載されており、教訓として震災を語り継ぐ取組が紹介されている。</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	我が国の位置と領土に関する取扱い及び記載の仕方

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 本文 2ページ P. 132 ~133 タイトル「日本の領域の特色を見てみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページの1/2ほどの大きさの日本と周辺国の地図が掲載されている。 ・ 日本の東西南北端の島の写真と竹島、尖閣諸島の写真が掲載されている。 ・ 日本の領土返還の歴史と北方領土の年表・地図が掲載されている。 ・ 主要国の領海、排他的経済水域と領土の面積が掲載されている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の領域は、どこまででしょうか。また島国であることによって、どのような特色があるのでしょうか。 <p>※ 小見出し「領土をめぐる問題」として、本文中に記述がある。(14行)</p> <p>※ 竹島について、韓国が国際司法裁判所での話し合いを拒否していることに触れていない。他の3者には記述がある。</p> <p>○ コラム等 2個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖ノ島島の護岸工事 P.133 1ページの1/4ほどの大きさに、説明と護岸工事前後の写真2枚が掲載されている。 ・ 日本列島を構成する島々ー竹島・北方領土・尖閣諸島ー P.134,135 見開き2ページに、地図と竹島、択捉島、尖閣諸島の写真が掲載されている。 <p>脚注 P.135</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土は、日本が1951年のサンフランシスコ平和条約で領有権を放棄した「千島列島」にはふくまれません。 <p>※ 本文外の記述となっている。また、島そのものの説明が中心となっている。</p> <p>※ 「領土問題」という表記はない。</p>
教出	<p>○ 本文 4ページ P. 128~131 タイトル「日本の国土の広がり」(2ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページの1/2ほどの大きさの日本と周辺国の地図が掲載されている。 ・ 日本の東西南北端の島の写真が掲載されている。 <p>副題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の領域はどこまで？ <p>学習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の領土と領域にはどのような特色があるでしょうか。 <p>タイトル「日本の領土をめぐる」(2ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土とその周辺と竹島、尖閣諸島の位置を示した地図が掲載されている。 ・ 竹島と尖閣諸島の写真、北方領土問題に関する主なできごとをまとめた表が掲載されている。

	<p>副題</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の国境をめぐるさまざまな動き <p>学習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の領土をめぐる対立について理解し、平和的な解決のために必要なことを考えてみましょう。 <p>P.130 領土問題などを話し合う「日ロ首脳会談」の様子 (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※首脳会談の写真の掲載は他者がない。 北方領土問題に関する主なできごと (年表) ※北方領土周辺の国境の移り変わりを地図ではなく、年表で表している。 <p>○ コラム等 1個</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の最南端をめぐる問題 (沖ノ鳥島) P.129 1ページの1/5ほどの大きさに、護岸工事前の写真 (P.128 に工事中の写真) が掲載されている。
<p>帝国</p>	<p>○ 本文 4ページ P.124~127 タイトル「日本の領域と領土問題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 1ページの1/2ほどの大きさの日本と周辺国の地図が掲載されている。 日本の東西南北端の島の写真が掲載されている。 北方領土周辺の国境の移り変わりや竹島の位置を示した地図が掲載されている。 竹島、尖閣諸島や日本の領海に侵入する中国の船の写真が掲載されている。 脚注が2つある。P.126 「サンフランシスコ平和条約では、竹島、尖閣諸島も放棄した島々にはふくまれていません。」「入国先の国が、国に入ることを許可する証明書をビザといいます。この交流ではビザだけでなく、パスポートも必要ありません。」 ※ 日本の領域と領土問題と一緒に4ページで扱われている。 <p>学習課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 海に囲まれた日本の領域にはどのような特色があり、どのような問題をかかえているのでしょうか。 <p>P.125 活発な噴火を続ける西ノ島 (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> 渥美半島沖の海底から天然ガスを採取する船 (写真) ※上記二つに関しては、他の3者には見られない。 <p>P.126 北海道から見える北方領土の島々 (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※距離を実感できる資料で、このような写真の掲載は日文にもある。 北方領土周辺の国境の移り変わり (地図㉔~㉖) ※北方領土周辺の国境の移り変わりを年表ではなく、地図で表している。 <p>日本の領海に侵入する中国の船 (写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※中国の船と並走する海上保安庁の巡視船 (2隻)、このような写真の掲載は日文にもある。 <p>○ コラム等 2個</p> <ul style="list-style-type: none"> 護岸工事によって守られた沖ノ鳥島 P.125 1ページの1/5ほどの大きさに、護岸工事後の写真2枚が掲載されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業がさかんだった昔の竹島 P.127 1ページの1/5ほどの大きさに、隠岐の島民たちが行っていた竹島での漁のようすの写真が掲載されている。 ※他の3者にはない。
<p>日文</p>	<p>○ 本文 4ページ P. 116～119 タイトル「私たちが生活する日本の領域をどらえる」(2ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページの2/3ほどの大きさに日本と周辺国の地図が掲載されている。 ・ 日本の東西南北端の島の写真が掲載されている。 <p>タイトル「日本の領域めぐる問題をつかむ」(2ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土・竹島・尖閣諸島の位置や北方領土付近の国境の変化を示した地図が掲載されている。 ・ 羅臼町から見た国後島、竹島、竹島が日本固有の領土であることを示す地図の展示、尖閣諸島、尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船の写真が掲載されている。 <p>※北方領土・竹島については領土問題、尖閣諸島については「尖閣諸島をとりまく問題」と扱っている。</p> <p>P.118 北方領土付近の国境の変化 (地図㊸～㊾) ※北方領土周辺の国境の移り変わりを年表ではなく、地図で表している。</p> <p>P.119 羅臼町から見た国後島 (写真) ※距離を実感できる資料で、このような写真の掲載は帝国にもある。 尖閣諸島の日本の領域に侵入する中国の船 (写真) ※中国の船(2隻)と並走する海上保安庁の巡視船、このような写真の掲載は帝国にもある。</p> <p>学習の「確認」と「活用」 「確認」北方領土・竹島・尖閣諸島が日本固有の領土である根拠を説明しよう。 「活用」北方領土・竹島の領土問題、尖閣諸島の問題の解決に向けて、それぞれどのような取り組みが必要だろうか。 ※「活用」を通して、自分の考えを持たせようとしている。</p> <p>○ コラム等 1個</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖ノ鳥島を守れ! P.117 1ページの1/6ほどの大きさに、護岸工事で保護された沖ノ鳥島の写真が掲載されている。

【社会科 (地理的分野)】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	世界の諸地域の地域区分と主題例及び学習の基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(世界の諸地域の地域区分と主題例)</p> <p>1 アジア州「急速に進む成長と変化」(16 ページ) アジア州の学習テーマ：アジアは、なぜ急速に成長したのでしょうか。 ※「アジア州をながめて」で、アジアの自然環境、人口、文化、産業の特色を概観した後、アジア州の学習テーマを確認し、学習を進める形がとられている。</p> <p>2 ヨーロッパ州「国どうしの統合による変化」(12 ページ) ヨーロッパ州の学習テーマ：ヨーロッパの国々は、なぜ国家間の統合を進めたのでしょうか。</p> <p>3 アフリカ州「特定の生産品にたよる生活からの変化」(10 ページ) アフリカ州の学習テーマ：アフリカでは、なぜ農業や鉱業の生産品が、特定の産物にかたよっているのでしょうか。</p> <p>4 北アメリカ州「盛んな農業や工業の特色」(12 ページ) 北アメリカ州の学習テーマ：北アメリカでは、なぜさまざまな産業が盛んなのでしょうか。</p> <p>(課題)：北アメリカの農業は、どのように発展したのでしょうか。 P. 87 「地理スキルアップ」, 「確認」 ※「地理スキルアップ」では、基礎的・基本的な技能を身につけ、本文下の「確認」では、学習内容の確認・深化が図れるように工夫している。</p> <p>5 南アメリカ州「開発の進展と環境問題」(10 ページ) 南アメリカ州の学習テーマ：南アメリカでは、なぜ開発が進んだのでしょうか。</p> <p>6 オセアニア州「強まるアジアとの結び付き」(10 ページ) オセアニア州の学習テーマ：オセアニアでは、なぜアジアとの結び付きが強くなってきたのでしょうか。</p> <p>(基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫) ○ 資料の使い方やグラフの読み方等の技能を扱った「地理スキルアップ」(例 P. 87) のコーナーが設けられている。 ○ 調査学習をすすめるための技能を扱った「調査の達人」(例 P. 116) のコーナーが設けられている。 ○ 知識を深めたり、学習内容の確認をしたりするための「確認」「えんぴつマーク」(例 P. 12) のコーナーが設けられている。</p>
教出	<p>(世界の諸地域の地域区分と主題例)</p> <p>1 「アジアの多様性と経済発展」(16 ページ) ※見出しに副題が付け加えられている。 ※アジアをながめて(副題 アジア州の広がりや歴史)をもとに、「多様性と経済発展」をテーマとして、アジアの特色を追究していく流れとなっている。</p> <p>2 「アフリカの人々の暮らしとその変化」(10 ページ)</p> <p>3 「統合を強めるヨーロッパの国々」(14 ページ) ※他者とアフリカ・ヨーロッパの掲載順が違う(逆)。</p>

	<p>4 「世界に大きな影響力をもつ北アメリカ」(12 ページ)</p> <p>P. 84 世界の食料庫 (副題 大規模な農業と多様な農業地域)</p> <p>学習課題：特色あるアメリカ合衆国の農業は、世界のなかでどのような役割や影響力をもっているのでしょうか。</p> <p>見てみよう：宇宙からとらえた農業地帯 (写真)</p> <p>※興味を引く資料で、他者には見られない。</p> <p>P. 85 読み解こう 資料「北アメリカの農業地域」</p> <p>① 年間降水量 500 mm の線の、東側・西側の農業地域の違いについて書き表そう。</p> <p>② 北アメリカの農業地域と、地形・気候との関係について書き表そう。</p> <p>※資料を読み取ったり、考えを深めたりする手がかりが示されている。</p> <p>ふりかえる</p> <p>ステップ1 アメリカ合衆国の農業の特徴を答えよう。</p> <p>ステップ2 アメリカ合衆国の農業の工業化について、特色を書きだそう。</p> <p>※ステップ1は、その時間に学習したことを振り返り確認し、ステップ2は、それまで学習してきたことを活用して表現するものとなっている。</p> <p>5 「南アメリカの開発と環境」(10 ページ)</p> <p>6 「他地域と結びつくオセアニア」(8 ページ)</p> <p>(基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫)</p> <p>○ 資料の使い方やグラフの読み方等の技能を扱った「地理にアプローチ」(例 P. 24) のコーナーが設けられている。</p> <p>○ 資料を読み取ったり、知識を深めたりするための「読み解こう」(例 P. 85) のコーナーが設けられている。</p>
<p>帝国</p>	<p>(世界の諸地域の地域区分と主題例)</p> <p>※まず各州を自然環境や生活・文化、歴史的背景などの面から学習し、その後、州ごとに異なるテーマ設定して地域の特色を追究していく構成となっている。</p> <p>「各州で注目するテーマ」</p> <p>※テーマが「～に注目して」という形になっている。</p> <p>1 アジア州「巨大な人口と急速な経済発展に注目して」(16 ページ)</p> <p>P. 37 次のページから：世界一の人口集中地域であるアジア州の特色を、巨大な人口と急速な経済発展に注目して、追究していきましょう。</p> <p>2 ヨーロッパ州「国境をこえた結びつきによる変化に注目して」(14 ページ)</p> <p>3 アフリカ州「人々の生活の変化と自立への課題に注目して」(10 ページ)</p> <p>4 北アメリカ州「世界に影響をあたえる産業と文化に注目して」(14 ページ)</p> <p>学習課題：北アメリカの農業は、世界の農業にどのような影響を与えているのでしょうか。</p> <p>P. 80 声 (大型コンバインでの収穫を請け負う人の話)</p> <p>※そこで働く人の姿をとおして具体的なイメージを持つことができる。この单元では他者にはない工夫である。</p> <p>P. 81 「確認しよう」アメリカ合衆国の農業には、西経 100 度を境にどのような違いがあるのか、本文から書き出してみよう。</p> <p>「説明しよう」アメリカ合衆国の農業が世界に与える影響を「穀物メジャー」の語句を用いて説明してみよう。</p> <p>5 南アメリカ州「進む開発と環境問題に注目して」(12 ページ)</p> <p>6 オセアニア州「多文化社会の形成とアジアとの結びつきに注目して」(10 ページ)</p>

	<p>(基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の使い方やグラフの読み方、調査活動の仕方等の技能を扱った「技能をみがく」(例 P. 32) のコーナーが設けられている。 ○ 資料を読み取ったり、知識を深めたりするための「探してみよう」(例 P. 75), 「資料活用」(例 P. 81) のコーナーが設けられている。
<p>日文</p>	<p>(世界の諸地域の地域区分と主題例)・</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アジア州「<u>経済成長による社会の変化をテーマに</u>」(14 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ※「アジア州をながめて」をふまえ学習テーマを設定し、テーマに学ぶ構成となっている。 P. 32 下 → 小学校5年：日本に近い国についてどのようなことを学習したか、ふりかえろう。 ※「連携コーナー」として、小学校の学習や歴史・公民の学習とのつながりを示している。 2 ヨーロッパ州「<u>EU統合による社会の変化をテーマに</u>」(12 ページ) 3 アフリカ州「<u>主な生産品にたよる経済からの変化をテーマに</u>」(10 ページ) 4 北アメリカ州「<u>世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに</u>」(12 ページ) <ul style="list-style-type: none"> 学習課題：北アメリカ州では、どのようにして大規模な農業を行っているのだろう。 キーワード：企業的農業 適地適作 ※「キーワード」を示し、基礎・基本の定着に役立っている。 P. 73 「スキルUP」：地図を活用する④ 主題図からの分布の読み取り方 「地理+α 世界の姿」農業の盛んなカナダ (コラム) <ul style="list-style-type: none"> ※「スキルUP」では、技能の習得、「地理+α 世界の姿」(コラム)では、理解を深めるのに役立つよう工夫されている。 学習の「確認」と「活用」 「確認」北アメリカ州で大規模な農業ができる理由を、教科書の文章から五つめき出そう。 「活用」私たちがふだん食べている食料品のなかで、北アメリカ州でつくられた農産物を使っているものを探そう。 ※「活用」を通して、私たちの生活との結びつきに目を向けさせている。 5 南アメリカ州「<u>開発・環境問題と人々の生活をテーマに</u>」(10 ページ) 6 オセアニア州「<u>他地域との結びつきの変化をテーマに</u>」(9 ページ) <p>(基盤となる知識・技能等を身に付けさせる工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の使い方やグラフの読み方、調査活動の仕方等の技能を扱った「スキルUP」のコーナーが設けられている。 ○ 資料を読み取ったり、知識を深めたりするための「言語活動 (読み取ろう(例 P. 68), 考えよう(例 P. 36), まとめよう(例 P. 40), 伝えよう(例 P. 74))」のコーナーが設けられている。

テーマの比較

	アジア州	ヨーロッパ州	アフリカ州
東書	急速に進む成長と変化	国どうしの統合による変化	特定の生産品にたよる生活からの変化
教出	アジアの多様性と経済発展	統合を強めるヨーロッパの国々	アフリカの人々の暮らしとその変化
帝国	巨大な人口と急速な経済発展に注目して	国境をこえた結びつきによる変化に注目して	人々の生活の変化と自立への課題に注目して
日文	経済成長による社会の変化をテーマに	EU統合による社会の変化をテーマに	主な生産品にたよる経済からの変化をテーマに

	北アメリカ州	南アメリカ州	オセアニア州
東書	盛んな農業や工業の特色	開発の進展と環境問題	強まるアジアとの結び付き
教出	世界に大きな影響力をもつ北アメリカ	南アメリカの開発と環境	他地域と結びつくオセアニア
帝国	世界に影響を与える産業と文化に注目して	進む開発と環境問題に注目して	多文化社会の形成とアジアとの結びつきに注目して
日文	世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに	開発・環境問題と人々の生活をテーマに	他地域との結びつきの変化をテーマに

【社会科（地理的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	大単元の導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>大単元の導入において、1ページ又は見開き2ページに、単元に関する地図や写真、キャラクターによる問いかけ、学習内容の説明等が掲載されている。 世界のさまざまな地域の調査及び身近な地域の調査においては、調査手順が示されている。</p> <p>(例) 世界の諸地域 1ページで「青年海外協力隊による農作業の指導(ウガンダ)」と「万里の長城(中国)」「サンパウロの東洋人街(ブラジル)」の写真が掲載されている。「日本はいろいろな分野で世界に貢献していることを学習したね。」「小学校で中国について学習したときに、万里の長城が世界遺産に登録されていることを知ったよ。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>(具体) (p5) 第1編1章：地球のようす(写真) 「小学校で学習した用語(国旗・首都・地図など)がどのような意味か、思い出してみよう。」 「この写真では見えていない大陸もあるね。」 「中学校では、地球儀や世界地図の特徴を学びながらさらに多くの国や地域について学習していきましょう。」 (p21) 2章：メッカへの巡礼(サウジアラビア)・サウジアラビアの食事と男性の服装・伝統的な衣装を身に付けた家族(韓国)(写真) 「小学校で学習した用語(イスラム教・文化・気候・地形など)の意味を思い出してみよう。」 「自然環境などと関連付けながら学習していきましょう。」 (p43) 3章：青年海外協力隊による農作業の指導(ウガンダ)・万里の長城(中国)・サンパウロの東洋人街(ブラジル)(写真) 「小学校で学習した用語(国際協力・世界遺産など)の意味を思い出してみよう。」 「それぞれの州の、地域的な特色をとらえていきましょう。」 (p115) 4章：韓国の家族の食卓風景・韓国の伝統料理(タッカルビなど)写真、韓国の小学校の1週間の給食(表) 「自分が興味や関心を持った国や地域について、これまで学習してきたことを生かして調べていきましょう。」 (p127) 第2編1章：日本のようす(写真) 「小学校で学習した用語(領土・県庁所在地など)の意味を思い出してみよう。」 「日本は海に囲まれた島国であることが分かるね。」 「日本の領土や時差について、第1編での学習を生かしてくわしく学習していきましょう。」 (p141) 2章：石狩平野を流れる石狩川(北海道浦臼町)・泉パークタウン(宮城県仙台市)・鹿島臨海工業地域(茨城県鹿嶋市・神栖市)・日本に石油を運ぶタンカー(写真) 「小学校で学習した用語(地形・ニュータウンなど)の意味を思い出してみよう。」 「これまで学習してきた世界と比較しながら、日本の特色を学習していきましょう。」 (p177) 3章：焼き物を作る職人(兵庫県篠山市)・松山の秋祭り(愛媛県松山市)・</p>

	<p>船に積みこまれる自動車 (愛知県東海市)・さとうきび畑 (沖縄県糸満市) (写真)</p> <p>「小学校で学習した用語 (伝統的な産業・祭りなど) の意味を思い出してみましょう。」</p> <p>「日本の七つの地方に区分して、それぞれの地方を178ページの視点からとらえていきましょう。」</p> <p>(p 264~265) 4章: 静岡県の市街地の様子 (静岡県2012年)・高い場所から見た景観 (2013年) (写真), 2万5000分の1地形図 (地図)</p> <p>「この地域はどう変わっていくのかな。地域をより良くするために、私たちにできることは何だろう。」</p> <p>「この調査を通じて、身近な地域をより良いものにする方法や地域の将来像について、クラスの人たちといっしょに考えていきましょう。」</p> <p>◆小学校で学習した用語を導入部で振り返るよう設定されている。</p> <p>◆写真など興味付ける資料がある。</p>
<p>教出</p>	<p>大単元の導入において、半ページから1ページに、単元に関する写真や絵、キャラクターによる問いかけが掲載されている。</p> <p>(例)</p> <p><u>世界の諸地域</u></p> <p>1ページで「フォークとナイフを使って食べる (ブラジル)」、「右手の指を使って食べる (インド)」、「箸を使って食べる (ベトナム)」、「箸を使って食べる (韓国)」の写真が掲載されている。「食事風景を見て、使っている道具の違いに注目しよう。」「何を食べているのか。その食べ方についても調べよう。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>(具体)</p> <p>(p 11) 第1編1章: 世界の大陸と州による地域区分 (地図)</p> <p>各州の主な特徴を簡潔に表現している。(アジア州は6つに分けられる, ヨーロッパ州は面積の小さい国が多い, など)</p> <p>「それぞれの地域の名前と位置を確かめておきましょう。」</p> <p>(p 23) 2章: 世界の気候帯の分布 (地図), 東京・尾鷲・チェラプンジ (雨温図)</p> <p>「二つの都市の降水量について, 東京の降水量と比べてみましょう。」</p> <p>(p 41) 3章: フォークとナイフを使って食べる (ブラジル)・右手の指を使って食べる (インド)・箸を使って食べる (ベトナム)・箸を使って食べる (韓国) (写真)</p> <p>「使っている道具の違いに注目しよう。何を食べているか, その食べ方についても調べよう。」</p> <p>(p 112) 4章: 南アジアの地勢と国々 (地図), 南アジアの気温と降水量 (雨温図)</p> <p>「次のテーマから南アジアを調べたいと思います。」(テーマは, 地域の多様なすがた・人々の暮らしの変化・地域の課題)</p> <p>(p 125) 第2編1章: マルコ=ポーロ (絵), 日本の標準時を示す時計塔 (兵庫県明石市)・武家屋敷を訪れる観光客 (秋田県仙北市角館) (写真)</p> <p>(p 137) 2章: 金沢まで開業した北陸新幹線の出発式・噴火活動で面積が拡大する西之島・日本付近の夜間の様子 (写真)</p> <p>「明るさの強い場所は, それぞれどこの都市かな。」</p> <p>(p 161) 3章: 上空から見た開聞岳 (鹿児島県指宿市)・築地松に囲まれた出雲平野の家 (島根県出雲氏)・傾斜地で行われるみかんの収穫作業 (愛媛県八幡浜市) (写真)</p> <p>(p 187) 3章: 百舌鳥古墳群 (大阪府堺市)・水害から暮らしを守る工夫 輪中 (岐阜県海津市)・河童橋と穂高連峰 上高地 (長野県松本市)・華厳滝と中禅寺湖 日光 (栃木県日光市) (写真)</p> <p>(p 225) 3章: 初夏の伝統行事「チャグチャグ馬コ」(岩手県滝沢市)・十和田湖</p>

	<p>から見える八甲田山 (青森県十和田市)・知床半島に接岸した流氷 (北海道斜里町) (写真)</p> <p>(p 251) 4章: 愛知県を空からとらえた鳥瞰図・伝統工芸士による手描友禅の色挿し作業・復元がすすむ名古屋城本丸御殿 (2013年)・名古屋城本丸御殿の内部 (2013年) (写真)</p> <p>◆必ずしも問いが設定されているとは限らない。(特に第2編)</p>
帝国	<p>大単元の導入において, 1ページに第1章から第4章までの学習の概要を示している。世界の諸地域と日本の諸地域の学習のみ, 序説が設けられ, 1ページに世界の州と日本の地方区分図がそれぞれ示されるとともに, 注目するテーマや視点が掲載されている。</p> <p>(例) 世界の諸地域</p> <p>1ページで, 世界地図と各州で注目するテーマが掲載されている。また, 「各州を学習するときには, それぞれの地域で興味をもったことや疑問に思ったことを書きとめておき, 第4章「世界のさまざまな地域の調査」に生かせるようにしましょう。」など, この章での学習方法等が掲載されている。</p> <p>(具体)</p> <p>(p 1) 第1部: 石づくりの三角屋根が並ぶ町なみ (イタリア) (写真)</p> <p>「第1章では世界を知るための地図や地球儀の使い方などを, 第2章では世界の人々の生活が, 自然や社会とどのようなかわりをもっているかを, 第3章では世界を六つの州に分けて, 各地域の特色を学びましょう。第4章ではそれまでに学んだことをもとにして, 一つの国や地域について調べてみましょう。」</p> <p>(p 33) 第3章: 各州で注目するテーマ (地図と文)</p> <p>「各州を学習するときには, それぞれの地域で興味をもったことや疑問に思ったことを書きとめておき, 第4章「さまざまな地域の調査」に生かせるようにしましょう。」</p> <p>(p 119) 第2部: 千年をこえる歴史を伝える祇園祭 (京都府京都市) (写真)</p> <p>「第1章では日本の位置や地域区分などを, 第2章では第1部で学習した世界と比べて日本がどのような特色をもっているかを学びましょう。第3章では日本の各地方の特色を異なる七つの視点を中心にして追究し, 第4章ではそれまでに学習したことをもとに身近な地域について調べ, その特色や課題について考えましょう。」</p> <p>(p 167) 第3章: 各地方で注目する視点 (地図と文), 複数の視点を関連させながら地域をみる例 (図)</p> <p>「視点は一つだけでなく, 複数の視点を関連させることも大切なので, さまざまな視点からも各地方を学習していきましょう。」</p> <p>◆第1章から第4章までの学習の概要を示している。</p>
日文	<p>大単元の導入において, 1ページに「ナビ」が設けられ, 学習内容の概要が示されている。また, 単元に関する写真や地図, キャラクターによる説明や問いかけ, 表への書きこみ等が掲載されている。</p> <p>世界のさまざまな地域の調査及び身近な地域の調査においては, 調査の例に関わったの既習内容とその掲載ページが示されている。</p> <p>(例) 世界の諸地域</p> <p>1ページで, 世界の各州を代表する場所の写真やキャラクターの問いが掲載されている。</p> <p>(具体)</p> <p>(p 1) 第1編1章: 三大洋と六大陸 (地図) 穴埋め 「土地のようす」ってどういうことなのかな</p> <p>(p 13) 2章: この後出てくる地域の写真と位置を記載</p>

「6年生で調べた国での生活のようすはどうだったかな。」
「私たちの生活が、世界のなかであたりまえではないことに注意しながら、世界各地の人々の生活を学習していこう。」
(p 31) 3章：シアンハイ・ロンドン・サハラ砂漠・ニューヨーク・アマゾンの熱帯雨林・オアフ島 (写真)
「イメージしている州の印象と、実際の州のようすがどのようにちがうか、確かめてみよう。」
(p 101) 4章：ロシアの地図 (地図)、寒冷な国土・モスクワ・ソチ冬季オリンピック・シベリアの天然ガス施設 (写真)
ロシアについて学習した内容や知っていることをまとめている。
(p 113) 第2編1章：日本の地図 (地図)
「日本の範囲は、どこからどこまでなのかな。」
(p 131) 2章：徳島県上勝町・東京都渋谷区・2月の沖縄県名護市・2月の秋田県湯沢市 (写真)
「世界のなかで日本がどのような特色をもっているか、日本国内にはどのような地域差がみられるかについて、学習していこう。」
(p 169) 3章：湯布院・瀬戸大橋・樞原市今井町・名古屋港・横浜市・かまくら・流氷と観光船 (写真)
「旅行に行ったり、テレビやインターネットで知ったりした7地方のようすも、学習のなかで活用していこう。」
(p 255) 4章：小牧市のようす、旧市街地、桃花台ニュータウン、春のもも畑、秋葉祭 (写真)
愛知県について学習した内容や小牧市について知っていることをまとめている。

◆小学校で学習したことと関連付けるような課題や問いが設定されている。
◆それぞれの編のまとめとして4章が設定されており、これまで学習した内容を振り返るページ・内容を記載した表や、知っていることとしてまとめられた表が記載されている。

【社会科 (地理的分野)】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	呉市や広島県に関わる資料の扱い

発行者	調査・研究内容 ※ 解説あり ◎ コラム		
東書	p 147 p 158	広島市	三角州の写真・地形図 ※ 「広島、福岡などの地方中枢都市が成長しました。」(15行目)
	p 191	広島県	被爆電車と原爆ドームの写真 ※
	p 192	廿日市市	なだらかな中国山地の写真
	p 193	尾道市	生口島のレモンの収穫の写真
	p 194	福山市	【地理にアクセス】「港町・鞆の浦」 ◎
		呉市	地図中に記載
		広島県	「中国・四国地方で人口が集中しているのは、広島県、岡山県などの瀬戸内の県です。」(1～2行目)
		広島市	「広島、岡山、高松、松山など、中国・四国地方の県庁所在地の多くは、城下町を起源としています。」(4～5行目)
		尾道市	「尾道や鞆の浦は、海上交通の盛んな瀬戸内海の歴史を今に伝える港町として知られます。」(5～7行目)
		福山市	「福山には、鉄の精錬から製品の製造までを一貫して行うことができる製鉄所が」(11～12行目)
	p 195	広島・呉 広島県	地図中に自動車の生産地として広島、造船として呉を記載 「広島県のかきの養殖や愛媛県のまだいの養殖は、全国有数の生産量をほこります。」(18～19行目)
	p 196 p 197	広島市	「地方中枢都市広島」として広島市のことを中心に記載(2ページ)(地方中枢都市・都市の再開発・平和を世界に発信する広島◎)
	p 198	広島市	浜田駅と広島駅を結ぶ高速バスの写真 高知県四万十町と広島市の人口ピラミッドを比較
p 200	北広島町	浜田自動車道の開通の記載 ◆日本の諸地域の中国・四国地方の視点が【人口・都市】に設定されているため、広島市を地方の中心と扱った内容が多くなっている。	
教出	p 124	広島市・廿日市市	地図中に日本の世界遺産として「厳島神社」・「原爆ドーム」の掲載 厳島神社の写真
	p 140 p 152	広島市	三角州の写真 「広島、福岡などの地方中枢都市を中心として、その周辺に人口が集まっています。」(4～5行目)
	p 174	福山市	港町「鞆の浦」の写真
	p 175	広島・呉	地図中に「広島市」と「呉市」が記載
	p 176	広島市	中国・四国地方の中心広島として、広島市のことを中心に記載(2ページ)(城下町から発達した街・軍都と原爆、そして復興・進む都市化と課題) 広島市の地形図(1898年・1950年・2012年)、現在の広島中心部の写真

	p 1 9 3 p 2 2 9 p 2 4 7	呉市 北広島町 廿日市市	<p>地図中に日本の主な製鉄工場の分布で「<u>呉市</u>」が記載</p> <p>地図中に無形文化遺産の分布で「<u>壬生の花田植</u>」が記載</p> <p>地図中にラムサール条約登録湿地で「<u>宮島</u>」が記載</p> <p>◆日本の諸地域の中国・四国地方の視点が【人口・都市】に設定されているため、広島市を地方の中心と扱った内容が多くなっている。</p> <p>◆中国地方以外の地方の部分で呉市などをとりあげた地図が記載されている。</p>
帝国	p 1 5 3 p 1 8 3 p 1 8 5 p 1 8 7 p 1 8 8	広島市 廿日市市 福山市 尾道市 広島市 福山・呉	<p>「広島・福岡・北九州などの大都市には、大学や企業が多いことから、行動経済成長期には多くの人々が農村地域から移り住みました。」(3～5行目)</p> <p>世界遺産に登録されている厳島神社の写真 ※</p> <p>古くから海上交通の拠点の一つだった鞆の浦の写真 ※</p> <p>「<u>広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶしまなみ海道</u>」(9行目)</p> <p>【共生】世界とつながる平和記念都市，広島 ◎</p> <p>「<u>広島県福山市や呉市などに製鉄所がつけられました。</u>」(10～11行目)</p> <p>◆日本の諸地域の中国・四国地方の視点が【他地域との結びつき】に設定されているため、広島を扱った記述が少ない。</p>
日文	p 1 3 4 p 1 4 2 p 1 5 2 p 1 8 2 p 1 8 4 p 1 8 5 p 1 8 6 p 1 8 7 p 1 9 1	広島市 広島市 広島市 広島県 広島市 広島・呉 広島・呉 広島市 広島市 広島市	<p>三角州の写真</p> <p><u>土石流による災害の写真</u></p> <p>「広島市，福岡市などの地方中枢都市や，政令指定都市にも人口が集中しています。」(7～8行目)</p> <p>なだらかな中国山地の写真</p> <p>たくさんの島が浮かぶ瀬戸内海の写真</p> <p>「広島市，岡山市の二つの政令指定都市があり，過密化が進んでいます。」(2～3行目)</p> <p>地図中に広島市・呉市の記載</p> <p>地図中に広島市・呉市の工業出荷額の記載</p> <p><u>人口の集中する瀬戸内海沿岸において，広島市のことを中心に記載(2ページ)(人口の集中する広島市，都市化の進む地域の課題)</u></p> <p>広島市の都心と路面電車，広島市北部の受託地と新交通システム，渋滞する広島市内の道路の写真</p> <p>【地理プラスアルファ日本の姿】原爆ドームと宮島 ◎</p> <p>原爆ドーム，厳島神社の写真</p> <p>「連絡橋の開通は，地域の経済にもさまざまな影響をあたえています。広島市は，中国・四国地方の経済の中心地ですが，瀬戸大橋の開通で，大企業の支社や支店の一部が，広島市から，四国地方へのゆききが便利な岡山市周辺に移転するようになりました。」(10～13行目)</p> <p>◆日本の諸地域の中国・四国地方の視点が【人口・都市】に設定されているため，広島市を地方の中心と扱った内容が多くなっている。</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	「身近な地域の調査」における手順，視点及び方法

発行者	調査・研究内容																																							
	事例・内容 量・導入	手順	地形図読図																																					
東書	静岡県東部・ 18ページ・ 静岡市の市 街地の写真 (見開き2 ページ)	①情報集め (空中写真) ★地形図の読み取り方 (土地利用・新旧 比較) ②テーマ決め・③仮説・④計画 ⑤調査 (野外観察・聞き取り調査・資料) 調査のまとめ例 ⑥考察・まとめ (図にまとめる，地図に まとめる，表にまとめる，課題の整理) ⑦発表・地域のあるべき姿を考える	※地形図の読み取り方がp 148～149にある (縮 尺・方位・等高線・地図記 号・断面図)																																					
	<p>「日本の諸地域」の学習での7つの視点を参考にして，課題に迫る調査テーマを決めるよう示されている。 (視点) 7つの視点</p> <table border="1"> <tr> <td>地域区分</td> <td>7つの視点 (中核となる考察)</td> </tr> <tr> <td>九州</td> <td>環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>都市と農村の変化と人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史の中で形作られてきた人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>活発な産業を支える人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>さまざまな地域と結びつく人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受けつづ人々の暮らし</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>雄大な自然とともに生きる人々の暮らし</td> </tr> </table> <p>(手順，方法)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 情報を集める</td> <td>○ 身近な地域の情報を集める</td> </tr> <tr> <td>2 調査テーマを決める</td> <td>○ 調査するテーマを話し合う</td> </tr> <tr> <td>3 仮説を立てる</td> <td>○ 仮説を立てる</td> </tr> <tr> <td>4 調査計画を立てる</td> <td>○ 調査計画を立てる</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5 調査する</td> <td>○ 野外観察をする</td> </tr> <tr> <td>○ 聞き取り調査をする</td> </tr> <tr> <td>○ 資料を調べて深める</td> </tr> <tr> <td>○ 地域の変化や課題をとらえる</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6 考察しまとめる</td> <td>○ 分かったことをまとめる</td> </tr> <tr> <td>○ 地域を見直す</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7 発表する</td> <td>○ 分かりやすい発表をする</td> </tr> <tr> <td>○ 発表会で学び合う</td> </tr> </tbody> </table>			地域区分	7つの視点 (中核となる考察)	九州	環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし	中国・四国	都市と農村の変化と人々の暮らし	近畿	歴史の中で形作られてきた人々の暮らし	中部	活発な産業を支える人々の暮らし	関東	さまざまな地域と結びつく人々の暮らし	東北	伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受けつづ人々の暮らし	北海道	雄大な自然とともに生きる人々の暮らし	手順	方法	1 情報を集める	○ 身近な地域の情報を集める	2 調査テーマを決める	○ 調査するテーマを話し合う	3 仮説を立てる	○ 仮説を立てる	4 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てる	5 調査する	○ 野外観察をする	○ 聞き取り調査をする	○ 資料を調べて深める	○ 地域の変化や課題をとらえる	6 考察しまとめる	○ 分かったことをまとめる	○ 地域を見直す	7 発表する	○ 分かりやすい発表をする	○ 発表会で学び合う
	地域区分	7つの視点 (中核となる考察)																																						
	九州	環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし																																						
	中国・四国	都市と農村の変化と人々の暮らし																																						
	近畿	歴史の中で形作られてきた人々の暮らし																																						
	中部	活発な産業を支える人々の暮らし																																						
	関東	さまざまな地域と結びつく人々の暮らし																																						
	東北	伝統的な生活・文化や災害からの教訓を受けつづ人々の暮らし																																						
	北海道	雄大な自然とともに生きる人々の暮らし																																						
手順	方法																																							
1 情報を集める	○ 身近な地域の情報を集める																																							
2 調査テーマを決める	○ 調査するテーマを話し合う																																							
3 仮説を立てる	○ 仮説を立てる																																							
4 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てる																																							
5 調査する	○ 野外観察をする																																							
	○ 聞き取り調査をする																																							
	○ 資料を調べて深める																																							
	○ 地域の変化や課題をとらえる																																							
6 考察しまとめる	○ 分かったことをまとめる																																							
	○ 地域を見直す																																							
7 発表する	○ 分かりやすい発表をする																																							
	○ 発表会で学び合う																																							
<p>【使用実績に関すること】 各単元の最後にある「ふり返ろう」や「深めよう」を使って，生徒が自ら課題を発見したり，その解決の手立てを考えたりすることができる。</p>																																								

愛知県名古屋市・
15ページ・
愛知県の鳥
瞰図, 伝統工
芸士, 名古屋
城本丸

- ① 野外観察 (空からながめた名古屋市の写真・ルートマップ)
- ② 地形図 (縮尺)
- ③ テーマ【例: 人口の変化】
- ④ 予定 (計画)
- ⑤ 調査【具体例: 地域の工業】(文献・統計資料, 聞き取り資料, 聞き取り調査の進め方)
- ⑥ 調査【具体例: 地域の商店街】(新旧地図比較, 新旧写真比較)
- ⑦ 発表会 準備と進め方
- ⑧ レポートにまとめる

※ p 6 ~ 10 に地図やグラフを読み取る方法を記載
(方位・縮尺・地図記号・等高線・一般図と主題図・地図の使い方・地図帳の使い方・グラフの種類・グラフの作成)
※ p 142・143 地形図を使って地形をみていこう (等高線・断面図・断面図の作成・地図記号・縮尺・地形図の読み取り)

自然環境や人口, 産業等6つの視点を中心に考えるよう示されている。

(視点)
6つの視点

6つの視点	
①	自然環境 (地形や植生など) の様子はどうか。
②	土地利用 (山地や農具, 住宅地, 商業地域など) の様子はどうか。
③	集落や住宅地の分布はどうか。また, いろいろつくられたものか。
④	商店街のにぎわいはどうか, ほかの商店街との違いはどうか。
⑤	鉄道や道路などの交通網はどのように広がっているか。また, 交通量はどのくらいか。
⑥	歴史的な建物や史跡, 地名, 石碑や記念碑などから, どのような歴史や文化がわかるのか。

(手順, 方法)

手順	方法
1 地形図の利用	○ 地形図と縮尺を知る ○ 縮尺による表現の違いを知る
2 地域の観察	○ 身近な地域を見直す ○ 高い場所から地域をながめる ○ 風景を観察しながら歩く
3 テーマの決定	○ ルートマップに情報を集める ○ 調査テーマを決める ○ 予定を立てる
4 テーマ別の調査	○ 文献・統計資料を利用する ○ 聞き取り調査をする
5 調査結果のまとめ	○ 新旧の地図を比べる
6 発表会を開く	○ 準備をする ○ 進め方を考える
7 レポートの作成	○ 地域に向けて発信する ○ レポートにまとめる

教出

	東京都練馬区・ 10ページ・ 導入なし	①テーマ (その際に考えられる7つの視点を紹介) ②調査方法を考える (調査テーマ例: 町なみの変化, 環境保全) ルートマップの つくり方 ③調査 (野外観察・聞き取り調査…写真 や人の話を引用) 調査ノートの取り方 ④調査 (資料集め…グラフ, 新旧地形図 比較) ⑤まとめ・発表 (レポートのつくり方, プレゼンテーションソフトを使った発 表)	※p138・141地形図 の使い方 (縮尺・地図記 号・等高線・断面図・土地 利用・空中写真)																
帝国	「日本の諸地域」の学習での7つの視点を参考にして、課題に迫る調査テーマを決めるよう示されている。																		
	(視点) <u>7つの視点</u>																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域区分</th> <th>7つの視点 (中核となる考察)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境に注目して</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>他地域との結びつきに注目して</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>環境保全に注目して</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業に注目して</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市に注目して</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化に注目して</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>歴史的背景に注目して</td> </tr> </tbody> </table>	地域区分	7つの視点 (中核となる考察)	九州	自然環境に注目して	中国・四国	他地域との結びつきに注目して	近畿	環境保全に注目して	中部	産業に注目して	関東	人口や都市に注目して	東北	生活・文化に注目して	北海道	歴史的背景に注目して		
	地域区分	7つの視点 (中核となる考察)																	
九州	自然環境に注目して																		
中国・四国	他地域との結びつきに注目して																		
近畿	環境保全に注目して																		
中部	産業に注目して																		
関東	人口や都市に注目して																		
東北	生活・文化に注目して																		
北海道	歴史的背景に注目して																		
(手順, 方法)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 テーマを決める</td> <td> <input type="checkbox"/> 身近な地域を見直す <input type="checkbox"/> 疑問を整理して, 調べるテーマを決める </td> </tr> <tr> <td>2 調査方法を考える</td> <td> <input type="checkbox"/> 調査方法を考える <input type="checkbox"/> 調査の準備をする </td> </tr> <tr> <td>3 野外調査をする</td> <td> <input type="checkbox"/> 野外観察をする <input type="checkbox"/> 聞き取り調査をする </td> </tr> <tr> <td>4 資料を集めて調べる</td> <td> <input type="checkbox"/> 資料を集めて調査する <input type="checkbox"/> 地域の課題をとらえる </td> </tr> <tr> <td>5 調査結果を発表する</td> <td> <input type="checkbox"/> 意見交換をして調査結果をまとめる <input type="checkbox"/> 調査結果を報告する発表会を開く <input type="checkbox"/> 地域の課題や将来像を考える </td> </tr> </tbody> </table>	手順	方法	1 テーマを決める	<input type="checkbox"/> 身近な地域を見直す <input type="checkbox"/> 疑問を整理して, 調べるテーマを決める	2 調査方法を考える	<input type="checkbox"/> 調査方法を考える <input type="checkbox"/> 調査の準備をする	3 野外調査をする	<input type="checkbox"/> 野外観察をする <input type="checkbox"/> 聞き取り調査をする	4 資料を集めて調べる	<input type="checkbox"/> 資料を集めて調査する <input type="checkbox"/> 地域の課題をとらえる	5 調査結果を発表する	<input type="checkbox"/> 意見交換をして調査結果をまとめる <input type="checkbox"/> 調査結果を報告する発表会を開く <input type="checkbox"/> 地域の課題や将来像を考える							
手順	方法																		
1 テーマを決める	<input type="checkbox"/> 身近な地域を見直す <input type="checkbox"/> 疑問を整理して, 調べるテーマを決める																		
2 調査方法を考える	<input type="checkbox"/> 調査方法を考える <input type="checkbox"/> 調査の準備をする																		
3 野外調査をする	<input type="checkbox"/> 野外観察をする <input type="checkbox"/> 聞き取り調査をする																		
4 資料を集めて調べる	<input type="checkbox"/> 資料を集めて調査する <input type="checkbox"/> 地域の課題をとらえる																		
5 調査結果を発表する	<input type="checkbox"/> 意見交換をして調査結果をまとめる <input type="checkbox"/> 調査結果を報告する発表会を開く <input type="checkbox"/> 地域の課題や将来像を考える																		

	<p>愛知県小牧市・13ページ・愛知県について振り返るページを指示, 市・市街地・ニュータウンなどの写真</p>	<p>①テーマ (テーマ例指示)・仮説・計画 (関連図を用いた整理の仕方)【テーマ例: 農業, 街づくりの2つ】 ②調査 (野外観察・聞き取り調査…それぞれ方法やポイントも明示) テーマ例に基づいたメモや予想なども示す ★地形図の活用 (新旧地形図比較・土地利用図の作成) ③調査 (文献資料や統計数値…具体例も) ④仮説の検証・地域の課題をとらえる 仮説の検証方法を具体的に示す ⑤レポートのまとめ方</p>	<p>※p127~129 地形図の使い方を学ぶ (方位・縮尺・地図記号・等高線・縮尺によるちがい・段彩図・断面図)</p>																													
<p>日文</p>	<p>国際化・情報化による地域の変化や交通網の変化等, 5つの視点で地域の課題をとらえるよう示されている。</p>																															
	<p>(視点) 5つの視点</p> <table border="1" data-bbox="363 969 1362 1205"> <tr> <td colspan="2">5つの視点</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>国際化・情報化による地域の変化</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>交通網の変化 (渋滞の増加, 公共交通機関の廃止など)</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>人口の増加・減少, 少子高齢化</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>災害・防災</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>開発, 環境問題や環境保全</td> </tr> </table> <p>(手順, 方法)</p> <table border="1" data-bbox="363 1312 1362 1794"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 調査テーマを決定する</td> <td><input type="radio"/> 調査テーマを決定する</td> </tr> <tr> <td>2 仮説を立てる</td> <td><input type="radio"/> 仮説を立てる</td> </tr> <tr> <td>3 調査計画を立てる</td> <td><input type="radio"/> 調査計画を立てる</td> </tr> <tr> <td>4 調査を進める</td> <td> <input type="radio"/> 野外観察をする <input type="radio"/> 聞き取り調査をする <input type="radio"/> 地形図を身近な地域の調査に役立てる <input type="radio"/> 文献や統計数値を使って調査する </td> </tr> <tr> <td>5 仮説を検証する</td> <td><input type="radio"/> 仮説を検証する</td> </tr> <tr> <td>6 地域の課題をとらえる</td> <td><input type="radio"/> 地域の課題をとらえる</td> </tr> <tr> <td>7 調査結果をまとめる</td> <td><input type="radio"/> 調査結果のまとめ方を考える</td> </tr> <tr> <td>8 調査結果を発表する</td> <td><input type="radio"/> 私たちにできることを考える</td> </tr> </tbody> </table>			5つの視点		<input type="radio"/>	国際化・情報化による地域の変化	<input type="radio"/>	交通網の変化 (渋滞の増加, 公共交通機関の廃止など)	<input type="radio"/>	人口の増加・減少, 少子高齢化	<input type="radio"/>	災害・防災	<input type="radio"/>	開発, 環境問題や環境保全	手順	方法	1 調査テーマを決定する	<input type="radio"/> 調査テーマを決定する	2 仮説を立てる	<input type="radio"/> 仮説を立てる	3 調査計画を立てる	<input type="radio"/> 調査計画を立てる	4 調査を進める	<input type="radio"/> 野外観察をする <input type="radio"/> 聞き取り調査をする <input type="radio"/> 地形図を身近な地域の調査に役立てる <input type="radio"/> 文献や統計数値を使って調査する	5 仮説を検証する	<input type="radio"/> 仮説を検証する	6 地域の課題をとらえる	<input type="radio"/> 地域の課題をとらえる	7 調査結果をまとめる	<input type="radio"/> 調査結果のまとめ方を考える	8 調査結果を発表する
5つの視点																																
<input type="radio"/>	国際化・情報化による地域の変化																															
<input type="radio"/>	交通網の変化 (渋滞の増加, 公共交通機関の廃止など)																															
<input type="radio"/>	人口の増加・減少, 少子高齢化																															
<input type="radio"/>	災害・防災																															
<input type="radio"/>	開発, 環境問題や環境保全																															
手順	方法																															
1 調査テーマを決定する	<input type="radio"/> 調査テーマを決定する																															
2 仮説を立てる	<input type="radio"/> 仮説を立てる																															
3 調査計画を立てる	<input type="radio"/> 調査計画を立てる																															
4 調査を進める	<input type="radio"/> 野外観察をする <input type="radio"/> 聞き取り調査をする <input type="radio"/> 地形図を身近な地域の調査に役立てる <input type="radio"/> 文献や統計数値を使って調査する																															
5 仮説を検証する	<input type="radio"/> 仮説を検証する																															
6 地域の課題をとらえる	<input type="radio"/> 地域の課題をとらえる																															
7 調査結果をまとめる	<input type="radio"/> 調査結果のまとめ方を考える																															
8 調査結果を発表する	<input type="radio"/> 私たちにできることを考える																															

【社会科（地理的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の事例数と主体的な学習につながる具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(事例数) 36 (地理スキルアップ, 調査の達人)</p> <p>(具体例)</p> <p>単元名「世界の姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地球儀を使った距離と方位の調べ方 P.9 ○ 地図帳を使った国や都市の探し方 P.11 ○ 世界の略地図のえがき方 P.13 ○ 統計資料の使い方 P.14 <p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p>「地球儀を使った距離と方位の調べ方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 距離と方位を調べている様子を表す地球儀のイラストが2枚掲載されている。 ○ 「距離を調べよう」では、「紙テープで北極と南極を結び、それを20等分して目盛りをつけます。北極と南極との間の距離は約2万kmなので、1目盛りは約1000kmになります。」などの説明がされている。 <p>※ その他, コーナー等に関連しての具体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ためしてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 六大陸と三大洋の名を調べる。 P.7 ・ グリーンランドとオーストラリア大陸の大きさについて、どちらが大きい か予想し、確認する。 P.8 ・ 「赤道」という意味の国名であるエクアドルの位置を調べる。 P.10 ・ 日本の端の島名を調べる。また、どの都道府県に属するかを調べる。 P.132 ○ 「えんぴつマーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京から真東に進むとどの都市にたどり着くか。 P.9 ・ 面積の大きな国の上位5か国を調べる。 P.16 ・ 内陸国を10か国以上探し、ノートに書き出す。 P.17 ・ 世界遺産である富士山の景観の魅力を、外国の人々に伝えるキャッチフレーズを考える。 P.216 ○ 主体的な学習を行う工夫として、各章・各節の最後に「学習の確認」のページが設定されている。 P.20 など <p>【使用実績に関すること】</p> <p>「調査の達人」のコーナー等で、自分が探求したい事柄を調べ、整理する方法について様々なアドバイスがある。</p>
教出	<p>(事例数) 16 (地理にアプローチ)</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グラフをつくろう P.10 <p>単元名「私たちの地球と世界の地域構成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地球儀から方位を知ろう P.20

	<p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p>「地球儀から距離を知ろう」 P. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 距離を調べている様子を表す地球儀の写真が1枚掲載されている。 ○ 「ちょうど北極点と南極点を結ぶ長さのテープを一本用意し、北極点と南極点を結んで地球儀に貼る。」などの説明がされている。 <p>※ その他、コーナー等に関連しての具体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地理にアプローチ」の具体例 <ul style="list-style-type: none"> ・地球儀から方位を知ろう。 → テープを使って調べる。 P. 20 ・世界の略地図を描こう P. 22 ・時差について考えてみよう。 P. 127 ・日本の略地図を描こう。 P. 136 ・地形図から断面図をつくろう。 P. 142 ・地形図の読み取りにチャレンジしよう。 P. 143 ○ 主体的な学習を行う工夫として、各章・各節の最後に「学習のまとめと表現」が、11設定されている。 P. 160 など
<p>帝国</p>	<p>(事例数) 25 (技能を磨く)</p> <p>(具体例)</p> <p>単元名「世界の姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の統計資料の使い方 P. 7 ○ 地図帳のさくいんの引き方 P. 9 ○ 地球儀での距離と方位の調べ方 P. 11 ○ 世界の略地図のかき方 P. 13 <p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p>「地球儀での距離と方位の調べ方」 P. 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 距離と方位を調べている様子を表す地球儀の写真が2枚掲載されている。 ○ 「距離の調べ方」「方位の調べ方」のタイトルで「紙のテープを北極点と南極点の間に張って16等分しましょう。北極点から南極点までの距離はおおよそ20000kmなので、1目もりが約1250kmのものさしになります。」などの説明がされている。 <p>※ その他、コーナー等に関連しての具体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」の具体例 <ul style="list-style-type: none"> ・2014年サッカーワールドカップの決勝トーナメント進出国を調べる。 P. 5 ・面積の大きい順に5か国、小さい順に5か国、人口が多い順に10か国を調べる。 P. 7 ・日本の端の島名を調べる。また、どの都道府県に属するかを調べる。 P. 124 ・都道府県名と異なる県庁所在地名を調べる。 P. 128 ・地形図を見て、その地点の風景写真を選ぶ。 P. 139 ○ 「技能をみがく」の具体例 <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳のさくいんの引き方 P. 9 ・レポートのつくり方 P. 117 ・展示発表の仕方 P. 118 ・聞き取り調査の方法 P. 270 ・調査ノートを取り方 P. 271

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小單元ごとに、授業のあとに復習や表現活動が行えるように「確認しよう」と「説明しよう」が設定されている。 ・中国で工業化が進んだ理由を、本文から書き出してみましよう。 ・東京に集中的に集まっている機関を、本文から三つ書き出してみましよう。 ・ヨーロッパの気候の特色について、高緯度、北大西洋海流、偏西風の語句を用いて説明してみましよう。 ・東北地方の農家が行っている稲作の工夫を、「やませ」「冷害」「品種」の語句を用いて説明してみましよう。 ○ 各地域学習のあとに、学習をふりかえって整理するためのページとして「学習をふりかえろう」が設定されている。
<p>日文</p>	<p>(事例数) 37 (スキルUP)</p> <p>(具体例)</p> <p>單元名「世界の姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緯度・経度を使った地球上の位置のあらわし方 P.9 ○ 地球儀を使った方位と距離のはかり方 P.11 ○ 時差の計算方法 P.121 ○ 世界の略地図のかき方 P.11 <p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p>「地球儀を使った方位と距離のはかり方」 P.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地球儀を使い距離と方位を調べている2人の生徒の様子を表す写真が4枚掲載されている。 ○ 「地球儀で方位をはかる」「地球儀で距離をはかる」のタイトルで「東京を通る経線に沿って、1本目の紙テープをあてましよう。次に、東京を交点にして、2本目の紙テープを1本目に直角にあてましよう。」などの説明がされている。 <p>※ その他、コーナー等に関連しての具体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「トライ」の具体例 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を見て、取り上げられている国の数を数えよう。 P.4 ・イギリスの正式名称、略称(アルファベット2文字で)は何というか、調べてみよう。 P.6 ・地形図の断面図を完成させる。 P.129 ○ 学習の理解を確かにする活動や、その知識を活用してさらに考えを深めたり、現実の問題に取り組んだりする「学習の確認と活用」が、小單元ごとに設定されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・地球儀と地図の特色を、長所と短所に分けて説明しよう。 P.11 ・7月に下の三つの都市へ旅行に行くとしたら、どんな服装や準備をすればいいだろう。 P.33 [ソウル バンコク リヤド] ・インドでIT産業が盛んになった理由を、次の言葉を使って説明しよう。 P.41 [英語 教育 政策] ○ 地域学習の終わりに学習をふりかえる「学習のまとめ」が設定してある。 ○ 各章の終わりに学習をふりかえる「学習の活用」のページが設定されている。

【社会科（地理的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦大単元の構成・分量
方法	大単元の構成とページ数及び巻末資料等の内容とページ数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>大単元の構成とページ数 計300ページ</p> <p>第1編 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿・・・(16ページ)</p> <p>第2章 世界各地の人々の生活と環境・・・(22ページ)</p> <p>第3章 世界の諸地域・・・(72ページ)</p> <p>第4章 世界のさまざまな地域の調査・・・(12ページ)</p> <p>第2編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の姿・・・(14ページ)</p> <p>第2章 世界から見た日本の姿・・・(36ページ)</p> <p>第3章 日本の諸地域・・・(87ページ)</p> <p>第4章 身近な地域の調査・・・(17ページ)</p> <p>巻末資料の内容とページ数</p> <p>統計・資料</p> <p>世界の国々・・・(2ページ)</p> <p>主な国のあらまし・・・(2ページ)</p> <p>日本の都道府県のあらまし・・・(2ページ)</p> <p>解説・さくいん</p> <p>用語解説(71語)・・・(4ページ)</p> <p>さくいん(事項・地名)・・・(4ページ)</p> <p>巻末資料(主な家畜, 農産物)・・・(3ページ)</p> <p>その他(目次, 巻頭資料)・・・(7ページ)</p>
教出	<p>大単元の構成とページ数 計287ページ</p> <p>第1編 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 私たちの地球と世界の地域構成・・・(12ページ)</p> <p>第2章 人々の生活と環境・・・(18ページ)</p> <p>第3章 世界の諸地域・・・(71ページ)</p> <p>第4章 世界のさまざまな地域の調査・・・(13ページ)</p> <p>第2編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の地域構成・・・(12ページ)</p> <p>第2章 世界から見た日本のすがた・・・(24ページ)</p> <p>第3章 日本の諸地域・・・(90ページ)</p> <p>第4章 身近な地域の調査・・・(15ページ)</p> <p>巻末資料の内容とページ数</p>

	<p>用語解説 (93語) . . . (6ページ)</p> <p>世界の国々のあらし . . . (2ページ)</p> <p>日本の都道府県のあらし . . . (2ページ)</p> <p>さくいん . . . (4ページ)</p> <p>巻末資料 (主な家畜, 農産物) . . . (3ページ)</p> <p>その他 (目次, 巻頭資料) . . . (15ページ)</p>
帝国	<p>大単元の構成とページ数 計289ページ</p> <p>第1部 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿 . . . (13ページ)</p> <p>第2章 世界各地の人々の生活と環境 . . . (19ページ)</p> <p>第3章 世界の諸地域 . . . (77ページ)</p> <p>第4章 世界のさまざまな地域の調査 . . . (9ページ)</p> <p>第2部 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の姿 . . . (13ページ)</p> <p>第2章 世界と比べた日本の地域的特色 . . . (35ページ)</p> <p>第3章 日本の諸地域 . . . (99ページ)</p> <p>第4章 身近な地域の調査 . . . (10ページ)</p> <p>巻末資料の内容とページ数</p> <p>さくいん . . . (4ページ)</p> <p>巻末資料 (主な家畜, 鉱産物, 農産物) . . . (3ページ)</p> <p>その他 (目次, 巻頭資料) . . . (7ページ)</p> <p>※わかりにくい用語の解説は, その都度そのページに「解説」として設定されている。</p>
日文	<p>大単元の構成とページ数 計288ページ</p> <p>第1編 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿 . . . (12ページ)</p> <p>第2章 世界各地の人々の生活と環境 . . . (18ページ)</p> <p>第3章 世界の諸地域 . . . (70ページ)</p> <p>第4章 世界のさまざまな地域の調査 . . . (12ページ)</p> <p>第2編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の姿 . . . (18ページ)</p> <p>第2章 世界からみた日本の姿 . . . (38ページ)</p> <p>第3章 日本の諸地域 . . . (86ページ)</p> <p>第4章 身近な地域の調査 . . . (14ページ)</p> <p>巻末資料の内容とページ数</p> <p>世界の国別資料 . . . (2ページ)</p> <p>日本の県別資料 . . . (2ページ)</p> <p>用語解説 (67語) . . . (4ページ)</p> <p>さくいん (事項・地名) . . . (4ページ)</p> <p>巻末資料 (ユネスコ無形文化遺産, 世界遺産) . . . (3ページ)</p> <p>その他 (目次, 巻頭資料) . . . (5ページ)</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧補足的・発展的な教材の内容の記述の状況
方法	補足的・発展的な教材の数と具体例，大单元ごとのバランス

発行者	調査・研究内容		
東書	教材数 17		
	大单元	補足的・発展的な教材	
	世界のさまざまな地域	世界の姿	なし
		世界各地の人々の生活と環境	○ イスラム教と人々の暮らし P. 41
		世界の諸地域	○ アジアで交流する文化 P. 59
			○ 環境に配慮されたヨーロッパ社会 P. 71
			○ 大自然を生かした観光開発 P. 81
	○ 多民族社会を形成するアメリカ P. 93		
	○ 南アメリカで活躍する日系移民 P. 103		
	○ 水没の危機にあるとされるツバル P. 113		
	世界のさまざまな地域の調査	○ ひであきさんの自由研究 P. 126	
	日本のさまざまな地域	日本の姿	なし
		世界から見た日本	○ 震災と防災・減災への取り組み P. 154
			○ さまざまな発電方法の特徴と課題 P. 170
		日本の諸地域	○ 屋久島の自然と人々の生活 P. 190
○ 本州四国連絡橋と地域の結び付き P. 202			
○ 琵琶湖と環境保全の歩み P. 214			
○ 北陸の食文化 P. 226			
○ 人口集中の課題と対策 P. 238			
○ 産業を活性化させる人の流れ P. 250			
○ アイヌの人たちと多文化共生 P. 262			
身近な地域の調査	なし		
その他	なし		
(バランス) 世界のさまざまな地域と日本のさまざまな地域の教材数のバランスはよい。			

教材数 14

大単元		補充的・発展的な教材
世界のさまざまな地域	私たちの地球と世界の地域構成	なし
	人々の生活と環境	なし
	世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宗教をめぐる共存と対立 P. 57 ○ 甘いチョコレートの苦い現実 P. 67 ○ 原子力発電と環境問題 P. 81 ○ 世界に展開する軍事力 P. 93 ○ 移動する人々ー日系移民の苦難の歴史 P. 103 ○ 変わる「楽園」の暮らしー太平洋の島々 P. 111
	世界のさまざまな地域の調査	なし
日本のさまざまな地域	日本の地域構成	なし
	世界からみた日本のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ、日本では地震が多く起きるのか P. 139
	日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公害を乗り越えて P. 172 ○ 荒廃の進む日本の山村 P. 184 ○ 東アジアと結びつく街 P. 198 ○ 多文化共生を旨として P. 210 ○ 交流による地域づくり P. 222 ○ 震災を乗り越えて P. 236 ○ アイヌの人たちの文化をまなぶ P. 248
	身近な地域の調査	なし
その他		なし

教出

(バランス)

世界のさまざまな地域と日本のさまざまな地域の教材数のバランスはよい。

		教材数 10	
		大単元	補充的・発展的な教材
帝国	世界のさまざまな地域	世界の姿	なし
		世界各地の人々の生活と環境	なし
		世界の諸地域	なし
		世界のさまざまな地域の調査	なし
	日本のさまざまな地域	日本の姿	なし
		世界と比べた日本の地域的特色	○ どうして日本では地震が多いのだろうか P. 133 ○ 地震と津波 P. 145 ○ ハザードマップを使ってみよう P. 148~149
		日本の諸地域	○ 公害の経験を生かした環境保全への取り組み P. 180 ○ 過疎地域での地域おこしの取り組み P. 194 ○ 伝統的な地場産業から先端技術産業まで P. 208 ○ 交通網の整備による地域の変化 P. 222 ○ 多文化の共生をめざしたまちづくり P. 238 ○ 地震への備えと復興に向けた取り組み P. 252
		身近な地域の調査	○ 観光ルートマップをつくってみよう P. 265
		その他	なし
	(バランス) 世界のさまざまな地域の教材数がない。		

教材数 16

大単元		補充的・発展的な教材
世界のさまざまな地域	世界の姿	なし
	世界各地の人々の生活と環境	なし
	世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経済成長を続けるスリランカと日本 P. 44 ○ 地球温暖化を防ぐために P. 56 ○ 武器を芸術作品に変える取り組み P. 66 ○ 工業の変化に対応する都市の取り組み P. 78 ○ 移民でつながるブラジルと日本 P. 88 ○ 北極地方と南極地方 P. 99
	世界のさまざまな地域の調査	なし
	日本の姿	なし
日本のさまざまな地域	世界からみた日本の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災からの復興をめざして P. 146 ○ せまりくる巨大地震 P. 148 ○ 原子力発電所の事故と再生可能エネルギー P. 156
	日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の環境首都をめざして P. 180 ○ 地域活性化の取り組みをみる P. 192 ○ 時代の変化に対応する伝統文化 P. 204 ○ 伝統工業・地場産業の現状と未来 P. 216 ○ ニュータウンからみる結びつきの変化 P. 228 ○ 過去からの伝承に学ぶ P. 240 ○ 火山と地域の共生 P. 252
	身近な地域の調査	なし
	その他	なし

日文

(バランス)

世界のさまざまな地域と日本のさまざまな地域の教材数のバランスはよい。

【社会科（地理的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨イラスト，写真等の資料の活用
方法	イラスト，写真等の資料の掲載数及び種類

発行者	調査・研究内容								
	1編				2編				
	1章	2章	3章	4章	1章	2章	3章	4章	
東書	写真	17	70	178	15	19	62	195	18
	地図	19	4	62	6	31	34	76	17
	グラフ	1	7	39	5	1	33	55	5
	その他	9	2	5	9	1	13	9	22
教出	1編				2編				
	1章	2章	3章	4章	1章	2章	3章	4章	
	写真	12	37	99	16	19	29	163	16
	地図	18	9	79	4	12	21	72	10
	グラフ	3	12	37	2	1	17	61	3
その他	3	2	10	0	2	4	5	3	
帝国	1部				2部				
	1章	2章	3章	4章	1章	2章	3章	4章	
	写真	16	53	150	19	29	51	224	17
	地図	21	10	48	2	17	24	62	7
	グラフ	0	12	42	5	1	30	84	2
その他	6	1	6	4	2	20	8	0	
日文	1編				2編				
	1章	2章	3章	4章	1章	2章	3章	4章	
	写真	9	48	143	22	21	71	218	24
	地図	16	10	51	3	26	23	49	6
	グラフ	1	8	41	4	0	29	48	3
その他	0	2	3	3	1	5	7	4	

【社会科（地理的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	⑩本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注等の掲載数と扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>学習効果が高いものの例</p> <p>○問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの最初にキャラクターが問いを投げかけている。 「航空路の集中している地域にはどんな特徴があるのかな」(P172) <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机マークでその時間で学習した内容を確認したり、さらに深めたりする課題を示したりしている。 「平地で見られる次の三つの地形について、「川」という言葉を使ってそれぞれ説明しましょう。〔①扇状地 ②三角州 ③低地〕」(P147) <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラム「地理にアクセス」により、本文を補完する資料を掲載している。 「中国の『一人っ子政策』 中国では、1970年代末から、結婚、出産の年齢をおくらせることをすすめたり、「一人っ子政策」を行ったりするなど、人口抑制政策を進めてきました。現在では政策が見直され、2016年以降、すべての夫婦が二人まで子どもを育てられるようになりました。(P50)
教出	<p>学習効果が高いものの例</p> <p>○問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの最初にキャラクターが問いを投げかけている。 「なぜ、砂漠のなかで、こんな開発ができたのかな。」(P54) <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえる」により、ステップ1で学習の確認をし、ステップ2で学習した内容を活用して表現できるようになっている。 「ステップ1 ツンドラが広がる地域では、どのような家畜が飼育されているか、あげよう。 ステップ2 ロシア連邦とヨーロッパ諸国との間に、どのような結びつきがあるか、まとめよう」(P79) <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・側柱解説により、難しい言葉やことがらを説明している。 「ハザードマップ；ハザードとは危険なものや障害となるものを指します。日本は地震や火山噴火、大雨、津波などの自然災害が多い国であり、各地の市町村がつくったハザードマップが防災に役立つことが期待されています。国土交通省のホームページなどで、主なハザードマップが公開されています。」(P148)
帝国	<p>学習効果が高いものの例</p> <p>○問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの最初にキャラクターが問いを投げかけている。 「明るくなっているのは、どのようなところかな。」(P154) <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「説明しよう」により、学習した内容をふまえ、自分の言葉で説明する作業を紹介している。 「オーストラリアやニュージーランドにおける、多文化への配慮の取り組みを、

	<p>説明してみましよう」(P105)</p> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「解説」により、難しい言葉やことがらを説明している。 <p>「単作 単作とは、1年間に1種類の農作物だけを栽培することで、一毛作ともいいます。1年間に2種類の農作物を同じ耕地で栽培することは二毛作といい、日本では九州地方などの温暖な地域で見られます。(P220)</p>
<p>日文</p>	<p>学習効果が高いものの例</p> <p>○問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きページの最初にキャラクターが問いを投げかけている。 <p>「買い物のように、日本と変わらないね。なぜ、中国は経済成長したのかな。」(P36)</p> <p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の確認と活用」により、見開きの学習の理解を確かにする活動や、その知識を活用してさらに考えを深めたり、現実の問題に取り組んだりする問いかけを示し、最後に取り組むために設定している。 <p>「確認 日本の人口の分布の特色と、人口の変化の特色を、箇条書きで三つずつあげよう。</p> <p>活用 日本の高齢社会がみなさんの将来におよぼす影響を考えよう。」(P153)</p> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラム「地理+α」により、学習内容の理解を深めていくことができるコーナーを設けている。 <p>「水とつき合う地域の知恵</p> <p>濃尾平野の西部は、たびたび洪水の被害を受けてきました。そのため、村と水田を堤防で囲んで洪水から守る、輪中をつくってきました。</p> <p>明治時代以降、治水がゆきとどくようになり、輪中の堤防が取りこわされた場所が増えました。しかし、ときおり発生する洪水では、輪中が残っていて水没をまぬがれた地域もあります。人々が協力して治水に取り組んできた輪中の役割を知ることは現在でもたいせつなことです。」(P207)</p>

【社会科（地理的分野）】

観点	言語活動の充実
視点	①目的に応じて表現する力を育てるための工夫
方法	まとめ方の種類と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○レポート（調べた内容を写真やグラフを用いながら文章にまとめる） 例…「韓国の食文化の背景」（P123）</p> <p>○ポスター 例…「食文化から韓国を探る」（P124）</p> <p>○かべ新聞 例…「稲作が盛んな地域の特色」（P126）</p> <p>○表（学習してきた内容を、地域ごとや時期ごとに整理する） 例…「アジアは、なぜ急速に成長したのでしょうか」（P58） 「近畿地方で、現在見られる特色ある都市や産業が発達してきたのはなぜでしょうか。」（P213）</p> <p>○図（学習した内容を、特色と課題、解決策などの因果関係を整理する） 例…「アフリカでは、なぜ農業や鉱業の生産品が特定の産物にかたよっているのでしょうか。」（P80） 「関東地方で、他地域との強い結びつきが見られるのはなぜでしょうか。」（P237）</p> <p>○ウェビングマップ（学習してきた内容の中心になってきたことを中央に置き、そこから学習したキーワードを、その背景や影響を考慮して線や矢印で結ぶことによって、それぞれの関係を整理する） 例…「ヨーロッパの国々は、なぜ国家間の統合を進めたのでしょうか。」（P70） 「中国・四国地方の都市や農村で見られる問題や変化はなぜ生じているのでしょうか。」（P201）</p> <p>○地図（学習してきた内容を整理しながら地図上に書き込むことによって、位置関係や広がりをとらえながらまとめる） 例…「北アメリカでは、なぜさまざまな産業が盛んなのでしょうか。」（P92） 「中部地方の三つの地域で、それぞれ特色のある産業が発達しているのはなぜでしょうか。」（P225）</p> <p>○主題図（白地図の上に、特定のテーマに基づいて図や色を使ってまとめる） 例…イラストマップ「韓国各地の料理」（P122） 図形表現図「韓国の主な貿易相手」（P122）</p> <p>（具体例） 「調査結果をレポートにまとめよう。」（1ページ）（P123）</p> <p>○キャラクターが「韓国の食文化の背景～なぜ、キムチ作りが発達したのか～」をテーマに作成したレポートが例として提示されている。</p> <p>○レポートは①タイトル②テーマ設定の理由③仮説④調査方法⑤調査結果⑥まとめと考察⑦感想と今後の課題⑧参考文献、ウェブページなどの順番でまとめられている。</p>
	教出

	<p>例…南アジアの宗教別人口の割合 (P119)</p> <p>○イラストマップ (付箋紙を地図上に貼り付け、まとめる)</p> <p>例…『魅力あるまちづくり』を目ざして (アイデアを出し合いまとめる) (P263)</p> <p>○表 (学習内容をまとめる)</p> <p>例…「アジアで多くの人々が信仰している宗教と、それぞれの宗教が広がっている主な国や地域をまとめて表をつくろう。」 (P56)</p> <p>○50字以内の文章でまとめる</p> <p>例…「主にイスラム教が信仰されている地域の広がり、自然環境や言語の広がりにはどのような関係がみられるか、50字以内で文章をまとめよう。」 (P40)</p> <p>「アフリカの歴史の特色について、50字以内で文章をまとめよう。」 (P66)</p> <p>○地図 (地域による特色を地図上にまとめる)</p> <p>例…「日本の自然環境の特色について、日本の略地図を描き、それを使って説明しよう。」 (P160)</p> <p>「東北地方の太平洋側の地域で発生する冷害について調べ、その発生するしくみを、地図を活用して説明しよう。」 (P250)</p> <p>(具体例)</p> <p>「地域調査の手引き」(1ページ) (P120)</p> <p>○ キャラクターが「地域の多様なすがた～インドを例に」「カレーからみた食文化」をテーマに作成したレポートが例として提示されている。</p> <p>○ レポートは①タイトル②調べた動機③わかったこと④インドを味わう⑤料理屋のシェフ、サッティヤジャーさんにインタビューしました⑥まとめの順番でまとめられている。</p>
<p>帝国</p>	<p>○レポート (調べた内容について、写真やグラフを用いながら文章でまとめる)</p> <p>例…「韓国の食文化」(P117)</p> <p>「練馬区の町なみの変化」(P275)</p> <p>○ポスター</p> <p>例…ヨーロッパ州の自然環境、EUの課題など (P118)</p> <p>○プレゼンテーション</p> <p>例…「練馬区の町なみの変化」(P275)</p> <p>○ルートマップ (各地の自然環境や生活・文化、産業、結びつきなどに着目して作成)</p> <p>例…北海道の観光ルートマップをつくる、野外活動前の活動として (P265)</p> <p>○表 (学習した内容をもとに、地域ごとの特色や、変化などをまとめる)</p> <p>例…「(アジア州) 学習した内容をもとに、それぞれの地域にみられる人口と産業の特色を下の表にまとめよう。」 (P49)</p> <p>「(北アメリカ州) 学習した内容をもとに、産業の特色とその背景を表にまとめよう。」 (P87)</p> <p>○主題図 (統計数値を地図に表現する)</p> <p>例…「世界の船舶のおもな輸出国」(P116)</p> <p>(具体例)</p> <p>「レポートのつくり方」(1ページ) (P117)</p> <p>○ キャラクターが「韓国の食文化～キムチに代表される独特な食文化は、どのようにはぐくまれたのか～」をテーマに作成したレポートが例として提示されている。</p> <p>○ レポートは①タイトル②調査の動機と目的③調査の方法④調査から分かったこと⑤まとめと感想⑥参考資料の順番でまとめられている。</p>

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○レポート（調べた内容について、グラフや地図、写真を用いて文章でまとめる） 例…「シベリア鉄道班が調べた ロシアのようす」（P110～111） 「街の変化から小牧市を知る」（P266～267） ○ホームページ・・・レポート以外の方法として語句だけ紹介 具体なし（P267） ○壁新聞・・・レポート以外の方法として語句だけ紹介 具体例なし（P267） ○関連図（関連する内容を線でつないで整理する） 例…身近な地域の調査（P256） ○文章でまとめる 例…「アジア州の特色を、自分の言葉で文章にまとめる」（P45） 「九州地方の特色を、自分の言葉で文章にまとめる」（P181） <p>（具体例）</p> <p>「調査結果のまとめ方」（見開き2ページ）（P110～111）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「シベリア鉄道班が調べたロシアのようす」をテーマに班で作成したレポートが例として提示されている。 ○ レポートは、タイトル①ロシアのあらまし ②シベリア鉄道について ③ロシアの経済発展とシベリア鉄道の順番でまとめられている。
-----------	---

令和元年 7 月 31 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 社会(歴史的分野)

代表者 呉市立天応中 学校

氏名 高野辰彦

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【社会科（歴史的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の政治改革」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「聖徳太子は、どのような政治を目指したのでしょうか。」 「新政府は近代国家を造るために、どのような改革を行ったのでしょうか。」</p>
教出	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「あつく三法を敬え」等の項目で示し、タイトルの右横に「聖徳太子の政治と飛鳥文化」等、学習内容を示す副題を示している。タイトルの下に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「東アジアの動きのなかで、大和政権はどのような国づくりを目ざしたのでしょうか。」 「新政府は、どのように国内を統一し、政権を固めていったのでしょうか。」</p>
清水	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の政治と飛鳥文化」等の項目で示し、タイトルの左横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「聖徳太子はどのような国をつくることをめざしたのだろうか?」 「明治政府は日本をどのように変えようとしたのだろうか?」</p>
帝国	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「ヤマト王権と仏教伝来」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくらうとしたのでしょうか。」 「明治維新とは、どのような改革・変化だったのでしょうか。」</p>
日文	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「聖徳太子と飛鳥文化」等の項目で示し、タイトルの左横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「蘇我氏と聖徳太子は、どのような国づくりを進めようとしていたのだろうか。」 「新しい政府は、どのような方針で、どのような改革を始めたのだろうか。」</p>

自由社	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の新しい政治」等の項目で示し、タイトルの下に「何」、「なぜ」、「どのような」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「聖徳太子が新しい政治を始める背景は何だったのだろうか。」 「明治維新にあたって、どのような国づくりの方針が示されたのだろうか。」</p>
育鵬社	<p>(記載の仕方) 見開きごとにタイトルを「聖徳太子の国づくり」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標を示している。</p> <p>(記載例) 「聖徳太子はどのような考えをもとに政治を行ったのだろうか。」 「明治政府はどのようにして成立したのだろうか。」</p>
学び舎	<p>(記載の仕方) 第1章のみ見開きごとに「木から下りたサル」等のタイトルがあり、その下に1時間ごとの目標が、「どう」等の問いかけの形で示されている。第2章以降は示されていない。</p> <p>(記載例) 「二本足で歩きはじめて、人類の生活はどう変わったか。」</p>

【社会科（歴史的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めるための工夫
方法	歴史上の人物に関する事例数と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 人名さくいん（346名）</p> <p>○ コラム等に取り上げられているもの（6名）</p> <p>※（ ）内はコラム等のタイトル</p> <p>知里幸恵（現代に受け継がれる神話）、島崎藤村（「解放令」から水平社へ）、田中正造（足尾銅山と田中正造）、石井十次・留岡幸助（全ての子どもに教育を）トーマス・エディソン（人類の歴史とエネルギー）</p> <p><具体例></p> <p><u>田中正造は、足尾銅山の鉱毒問題を社会問題として帝国議会で政府を追及するなど運動の先頭に立って取り組みました。1901年に衆議院議員を辞職し、明治天皇に直接訴えようとするなど、生涯を通じてこの問題に取り組みました。</u></p> <p><u>石井十次は岡山県に孤児院を作って、孤児の救済に生涯をささげるなど、子どもの教育や福祉教育につくしました。</u></p>
教出	<p>○ 人名さくいん（363名）</p> <p>○ コラム等に取り上げられているもの（9名）</p> <p>※（ ）内はコラム等のタイトル</p> <p>石川倉次（プロローグⅡ～点字のれきし）、横井小楠（人物から歴史を探ろう④～近代の幕開けに生きた人々）、津田梅子（人物から歴史を探ろう⑤～近代に生きた人々）、知里幸恵・金田一京助（地域から歴史を探ろう④～アイヌの文化を伝えた人たち）、後藤新平・杉原千畝（人物から歴史を探ろう⑥～大戦期に生きた人々）、小泉純一郎（人物から歴史を探ろう③～隣国と向き合うために）、嘉納治五郎（人物から歴史を探ろう⑦～平和を願う人々と平和の祭典「オリンピック」）</p> <p><具体例></p> <p>津田梅子は、女子留学生のなかで最年少の6歳でした。1872年1月、サンフランシスコに到着した梅子の世話を公使の森有礼が引き受け、日本公使館に勤めるアメリカ夫婦のもとで育てられました。</p> <p>石川倉次</p> <p><u>石川は、研究を重ねて日本語の点字を考案し、1890（明治34）年11月1日、校内の点字選定会でその採用が決まりました。</u></p>

<p>7</p> <p>清水</p>	<p>○ 人名さくいん (256名)</p> <p>○ コラム等で取り上げられているもの (12名)</p> <p>※ () 内はコラム等のタイトル</p> <p>紫式部 (宮廷の女性と仮名文学), チンギス=ハン, マルコ=ポーロ, フビライ (モンゴル帝国の拡大), 一遍上人 (絵画資料にみる人びとの生活), 阿国, 織田信長 (人物を調べてみよう), 新島襄 (世界見学に出かけた日本人), 穂積陳重, 北里柴三郎, 康有為, 魯迅 (行き来する留学生), 阿国 (人物を調べてみよう)</p> <p><具体例></p> <p><u>穂積陳重は、イギリス・ドイツに留学後、東京大学法学部で法学教育の中心として働きました。西洋の学術用語を日本語に訳し、大学の講義を日本語でできるようにして、西洋の学問を中学校以下に広めるための基礎をつくりました。</u></p>
<p>帝国</p>	<p>○ 人名さくいん (311名)</p> <p>○ コラム等で取り上げられているもの (15名)</p> <p>※ () 内はコラム等のタイトル</p> <p>栄西 (東アジアに開かれた窓口 博多), 高田屋嘉兵衛 (昆布ロードと北前船), 坂本龍馬・中岡慎太郎・徳川慶喜・後藤象二郎・木戸孝允・西郷隆盛・大久保利通 (坂本龍馬暗殺のなぞ), クラーク, 黒田清隆 (移住と開拓が進む北海道), 力道山・美空ひばり・長嶋茂雄・黒澤明 (メディアを通して形づくられていく文化)</p> <p><具体例></p> <p><u>淡路の海運業者だった嘉兵衛は、兵庫の酒・塩・木綿, 酒田の米を蝦夷地で売り、帰りには魚・昆布などを仕入れるなど、海運業で成功をおさめました。函館港を整備し、多くの漁場を開拓しました。また、ロシアとの交渉でも活躍しました。</u></p>
<p>日文</p>	<p>○ 人名さくいん (260名)</p> <p>○ コラム等で取り上げられているもの (14名)</p> <p>※ () 内はコラム等のタイトル</p> <p>棚田嘉十郎 (平城宮跡を歩く), 重源 (東大寺の再興と重源), 武田信玄 (信玄堤), 池田輝政 (城下町姫路を調べる), 坂本龍馬・高杉晋作 (新しい世の中をめざした人々), 岡倉天心・フェノロサ (近代社会に日本を見つめ直す), 山本作兵衛 (山本作兵衛の炭鉱記録画), 辰野金吾 (よみがえった東京駅), 豊田佐吉 (トヨタ産業技術記念館), 新渡戸稲造 (国際平和の実現に努めた新渡戸稲造), 杉原千畝 (「命のビザ」を発行した杉原千畝) 手塚治虫 (大阪の空襲を調べる)</p> <p><具体例></p> <p><u>山本作兵衛が残した作品は、2011 (平成23) 年、日本の近代産業の発展を支えた炭坑で働いた労働者によって、その現場が表された重要な記録として、日本で初めてユネスコ記憶遺産に登録されました。</u></p> <p><u>新渡戸稲造は、第一次世界大戦の後、世界の平和を守る国際機構として国際連盟が設立されましたが、その初代事務局次長を務めた人です。アメリカやドイツの大学で学んだ農政学者でした。外国人に日本を理解してもらうために英語で書いた『武士道』という本を書き、ベストセラーとなっていました。新渡戸は、当時の日本を代表する国際人でした。</u></p>

<p>自由社</p>	<p>○ 人名さくいん (265名)</p> <p>○ コラム等で取り上げられているもの (17名)</p> <p>※ () 内はコラム等のタイトル</p> <p>鑑真 (鑑真), 津田梅子 (日本人最初の女子留学生・津田梅子), 田中久重 (日本のモノづくりの先駆者からくり儀右衛門【田中久重】の生涯), 相沢忠洋 (岩宿遺跡を発見した相沢忠洋), 二宮尊徳 (二宮尊徳と勤勉の精神), 伊能忠敬 (正確な日本地図をつくった伊能忠敬), 伊波普猷 (琉球処分とは何か), イザベラ・バード (幕末・明治期の日本人の生き方), 福沢諭吉 (福沢諭吉の『学問のすすめ』と「脱亜論」), 東郷平八郎 (日露戦争を戦った日本人), 伊藤博文 (明治国家を背負った政治家・伊藤博文), 渋沢栄一 (日本の実業家の伝統をつくった渋沢栄一), ククリット・プラモード元首相 (大東亜戦争とアジアの独立), パル判事 (占領下の検閲と東京裁判), 昭和天皇 (国民とともに歩まれた生涯), 八田與一 (勇気と友情の物語), 小林虎三郎 (明治維新とは何か)</p> <p><具体例></p> <p><u>伊藤博文は、幕末から明治の末まで、維新と国づくりのために奔走した。現実を見抜く優れた感覚の持ち主だった伊藤は、その小さな体で明治国家を背負って活躍した。そんな伊藤の行動を支えていたのは、「日本という国家を思う心」でした。</u></p> <p><u>東京帝国大学で土木技術を学んで台湾総督府に赴任した八田與一は、台湾の全耕地面積の6分の1を占める嘉南平野の上流の川をせき止めてダムを建設する責任者でした。つくり、50人あまりが亡くなるという大惨事があるなかで、10年がかりの世紀の大事業を完成させました。</u></p>
<p>育鵬社</p>	<p>○ 人名さくいん (436名)</p> <p>○ コラム等で取り上げられているもの (44名)</p> <p>※ () 内はコラム等のタイトル</p> <p>最澄, 空海 (人物クローズアップ 最澄と空海), ルター, カルバン (ルネサンスと宗教改革), 千利休 (茶の湯と生け花), 松尾芭蕉 (江戸時代探検!), 平賀源内, 田中久重 (江戸の技術), ハインリッヒ・シュリーマン, イザベラ・バード, エドワード・S・モース, エルウィン・ベルツ (外国人が見た日本), 西郷隆盛, 大久保利通 (西郷と大久保がめざしたもの), リンカーン (近代国民国家の形成), 小村寿太郎, 金子堅太郎, 高橋是清 (日露戦争の舞台裏), 伊藤博文, 渋沢栄一 (明治を築いた二人), クラーク, ハインリッヒ・エドムント・ナウマン (お雇い外国人), 大佛次郎, 藤原てい, 徳富蘇峰 (昭和20年, 戦局の悪化と終戦), ムスタファ・ケマル, スカルノ (列強の植民地とアジアの民族運動), ラダ・ビノード・パール (東京裁判), 昭和天皇 (国民とともに歩んだ昭和天皇), 推古天皇, 光明皇后, 紫式部, 静御前, 北条政子, 日野富子, 高台院【北政所】, 春日局, 加賀千代, 天璋院【篤姫】, 津田梅子, 樋口一葉, クーデンホーフ光子, 平塚らいてう, 与謝野晶子 (なでしこ日本史)</p>

<p>育鵬社</p>	<p><具体例> <u>千利休が設計した茶室はわずか二畳。その入り口は低い位置に置かれました。茶室に入るためには、刀をはずし、頭を下げて戸をくぐらなければなりません。それは、茶室で向かい合う人々は、身分にかかわらず謙譲の心で接することを学ぶためのものでした。</u></p> <p><u>商家の娘だった光子は、ふとしたことから日本に駐在するオーストリア大使クーデンホーフ伯爵に見そめられ、妻となりました。夫に従い渡欧することが決まった光子は、宮中に召され、皇后から「異国でも日本人の誇りを忘れないように」との言葉を賜りました。7人の子をもうけ、2番目の男子が今日のEU（ヨーロッパ連合）につながる考えを唱えたりヒヤルト栄次郎です。このため光子は、「汎ヨーロッパ主義の母」とよばれています。また、その美しさや優雅なふるまい、高い教養から、「黒髪の貴婦人」として社交界の評判を集めました。日本女性としての彼女の生き方は、ヨーロッパでも確かな存在感を示したのです。</u></p>
<p>学び舎</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人名さくいん（358名） さくいんが人名と事項で分けられていない。 ○ コラム等で取り上げられているもの（1名） <p>※（ ）内はコラム等のタイトル 山本宣治（歴史を体験する 山本宣治の人物調べ）</p> <p><具体例> <u>山本宣治の簡単な説明と調べ方を紹介している。</u></p>

【社会科（歴史的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めるための工夫
方法	文化遺産、神話・伝承等の具体例と扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 文化遺産 表裏5ページ 表見返しから計3ページで「日本の国宝・重要文化財」「日本の世界遺産」を写真で取り上げている。 裏見返しから2ページで「各地の主な史跡」を地図と写真で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>赤絨織 源頼朝似絵 一遍聖絵 阿氏河荘の申し状 東大寺南大門 金剛力士像 熊野本宮大社</p> <p>○ 神話・伝承 見開き2ページ 見開き2ページのコラム「現代に受けつがれる神話」で記紀神話、風土記の成立や地方に伝わる神話を取り上げている。古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。 本文では、単元「天平文化」の中で、「日本の国のおこりや、天皇が国を治めてきた歴史を記録しようとする動きが起こりました。神話や伝承、記録などを基にした歴史書の『古事記』と『日本書紀』、地方の国ごとに自然、産物、伝説などを記した『風土記』がまとめられました。」と記載されている。</p>
教出	<p>○ 文化遺産 巻末2ページ 裏見返しから2ページで「各地の主な遺跡・史跡・できごと」を地図で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>法然上人絵伝 一遍上人絵伝 東大寺南大門 金剛力士像 阿氏河荘の申し状 後鳥羽上皇似絵 源頼朝似絵</p> <p>○ 神話・伝承 見開き2ページ 見開き2ページのコラム「神話にみる古代の人々の信仰」で古事記など日本の神話の内容や神話に由来する行事を取り上げている。古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。 本文では、単元「シルクロードにつながる道」の中で、「国家のしくみが整った8世紀には、神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』という歴史書や、地方の地理・伝承などを国ごとに記した『風土記』がつくられました。」と記載されている。</p>

<p>清水</p>	<p>○ 文化遺産 巻末2ページ 裏見返しから2ページで「日本の歴史的遺産」を地図で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝, 世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>法然上人絵伝 一遍上人絵伝 東大寺南大門 金剛力士像 北野天神縁起絵巻</p> <p>○ 神話・伝承 見開き2ページ 見開き2ページのコラム「神話と伝承」で記紀神話や風土記の成立や地方に伝わる神話を取り上げている。古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。</p> <p>本文では、単元「大陸の影響を受けた文化」の中で、「朝廷では天皇家や貴族などに伝えられていた神話や地名などにつわる伝承・記録などを、天皇を中心とした国の成り立ちとしてまとめなおし、8世紀はじめには『古事記』・『日本書紀』（「記紀」）として完成した。また、国ごとに地理や産物、「記紀」とはちがう言い伝えなどをまとめた『風土記』をつくらせた。」と記載されている。</p>
<p>帝国</p>	<p>○ 文化遺産 表見返しから計2ページで「日本各地の伝統行事と祭り」を地図と写真で取り上げ、巻末「歴史年表」6ページに世界遺産等を写真で取り上げている。また、見開き2ページの「歴史の舞台を訪ねよう」を地図と写真で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝, 世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>阿氏河荘の申し状 東大寺南大門 金剛力士像 一遍上人絵伝 法然上人絵伝 熊野古道 親鸞似絵 鎌倉大仏</p> <p>○ 神話・伝承 2分の1ページ 2分の1ページのコラム『古事記』と『日本書紀』が伝える神話で現代の神事等と神話の関係を取り上げている。古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。</p> <p>本文では、単元「大陸の影響を受けた天平文化」の中で、「天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として『古事記』や『日本書紀』がつけられ、かずかずの神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた『風土記』もつけられました。」と記載されている。</p>

<p>日文</p>	<p>○ 文化遺産 表裏8ページ 表見返しから計2ページで「文化財にふれる」を写真で取り上げ、巻末の歴史年表の4ページに「世界遺産」を地図と写真で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>阿氏河荘の申し状 一遍上人絵伝 東大寺南大門 金剛力士像 法然上人絵伝 熊野本宮大社</p> <p>○ 神話・伝承 1ページの側注のみ 古事記、日本書紀について、側注で「日本の神話」と題し取り上げている。 本文では、単元「国際色豊かな文化」の中で、「律令国家のしくみが整うにつれて、国家のおこりや古代の国家の中心となる天皇の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつくられました。このほか、全国の国ごとに、自然・産物・地理や伝説などを集めた『風土記』もまとめられました。」と記載されている。</p>
<p>自由社</p>	<p>○ 文化遺産 表2ページ 表見返しから計2ページで「日本の伝統的工芸品」を写真と地図で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>源頼朝似絵 一遍上人絵伝 金剛力士像 後鳥羽上皇似絵 親鸞似絵 重源上人坐像</p> <p>○ 神話・伝承 見開き4ページ 本文に「神話が語る国の始まり」というタイトルで2ページにわたり、古事記、日本書紀を取り上げている。また、見開き2ページのコラム「国譲り神話と古代人」で日本の神話の内容や古代日本人のものの考え方を取り上げており、古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。 本文では、単元「神話が語る国の始まり」の中で、2ページすべてを「記紀」神話を記載するとともに「神々の系図」や日本サッカー協会のシンボルマークの八咫鳥が側注に記載されている。 例としては「日本の国の成り立ちは、8世紀に完成した日本でもっとも古い歴史書である『古事記』『日本書紀』に、神話の形で書かれている。神話や古い伝承は超自然的な物語をふくみ、ただちに歴史的事実として扱うことはできない。しかし、これらの神話・伝承は、古代の人々が、自分たちの住む国土や自然、社会の成り立ちを、山や海への自然崇拜や、稲作祭祀など縄文・弥生以来の信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられる。神々が織りなす物語は一貫したストーリーに構成され、大和朝廷の始まりにつながっている。」である。</p>

育鵬社	<p>○ 文化遺産 表裏10ページ 表見返しから計6ページで「日本の美の形」を写真で時代ごとに取り上げ、裏見返しから4ページで「世界と日本の世界文化遺産」、「各地のおもな遺跡・史跡」を地図と写真で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>平治物語絵巻 赤糸織鎧 無著像 一遍上人絵伝 源頼朝似絵 後鳥羽上皇似絵 東大寺南大門 金剛力士像 親鸞似絵</p> <p>○ 神話・伝承 見開き2ページ 見開き1ページのコラム「日本人の宗教観」で古事記における日本人の宗教観を取り上げている。また、見開き2ページのコラム「神話に見るわが国の誕生の物語」では日本の神話の内容や現在まで受け継がれている神器を取り上げており、古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めることができる。</p> <p>本文では、単元「天平文化」の中で、「律令国家としての基礎ができあがるにつれ、わが国の歴史が書物としてまとめられるようになりました。神々の物語や代々の天皇の業績を記した『古事記』や、国の正史として代々の天皇やその業績を記した『日本書紀』がそれにあたります。また、朝廷の命令によって、各地の地理や産物、伝説などを記した『風土記』もつくられました。」と記載されている。</p>
学び舎	<p>○ 文化遺産 表裏5ページ 表見返しから2ページで「歴史地図」に世界の「おもな史跡」等、裏見返しから3ページの日本地図に日本の「おもな史跡」等を地図で取り上げている。</p> <p>(具体例) 鎌倉時代の国宝、世界遺産 ※ 写真付きで取り上げられているもの</p> <p>平治物語絵巻 一遍上人絵伝 一遍聖絵 東大寺南大門 金剛力士像 阿氏河荘の申し状</p> <p>○ 神話・伝承 1ページ程度 風土記について、コラムで『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」と題し取り上げている。</p> <p>本文では、単元「金色にかがやく大仏」の中で、「朝廷は、仏教だけでなく、日本の歴史や神話の本の編さんも重視しました。少し時代はさかのぼりますが、天武天皇の命令によって、記録や語り伝えられてきたことをまとめる事業がはじまりました。奈良時代になって、中国にならった歴史書として『日本書紀』、神話の記録として『古事記』が完成しました。これらは、国の統一をすすめる目的でつくられたものですが、古くから伝えられた伝承もふくんでいました。また、出雲国（島根県）や常陸国（茨城県）など、国ごとに言い伝えられたことを記した『風土記』もまとめられました。」と記載されている。</p>

【社会科（歴史的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	我が国の歴史と世界の歴史を結び付けて考えるための工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○各章に国際関係に目をむけて、国際的な視野を広げるための内容を盛り込む。 (具体的な例) 「朝貢体制」「歴史の中のイスラム文化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：6 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。また、各章の初めに、日本と東アジア、欧米などの時代区分を比べることができる年表が掲載されている。 ○特別なコーナーはない。</p>
教出	<p>○各節の単元構成を基本的に「世界の動き→日本の動き」の順で配列し、時代背景を大局的におさえるようにしている。 (具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ (※アジア中心) ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：6 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。また、各章の初めに、日本と中国、朝鮮の時代区分を比べることができる年表が掲載されている。 ○特別なコーナーはない。</p>
清水	<p>○各章に日本と世界の歴史について生徒に理解と多面的な考察を促すよう配慮し、特に東アジア史、欧州史について丁寧に記述している。 (具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：4 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。 ○1～2章(原始～中世)に、世界と日本の主なできごとや人物が書かれた地図を載せた「地図でみる世界史」のコーナー(3か所)が設けられている。</p>
帝国	<p>○国際平和のあり方を考える課題の設定や日本が関わりを持ってきた東アジア関する記述を充実させている。 (具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ※ この他にも関連する世界地図を記載 ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：6 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。 ○特別なコーナーはない。</p>

<p>日文</p>	<p>○世界、特に東アジアのなかで日本史をとらえ、広い視野をもって多面的・多角的にとらえるように構成している。</p> <p>(具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ※この他にも関連する内容のミニコラム「つながる世界と生活の変化」を掲載 ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：6 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。また、各編や章の終わりに、日本と中国、朝鮮の時代区分を比較することができる年表が掲載されている。</p> <p>○各編や章の初めに、世界と日本の主なできごとや人物が書かれた地図を載せた「地図で見る世界の動き」のコーナー (6か所) が設けられている。</p>
<p>自由社</p>	<p>○我が国への誇りと愛国心が自然に育まれるように配慮することに力点を置いている。</p> <p>(具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 なし 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ (東アジア中心) ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：2 <p>○巻末には日本と世界の歴史が掲載された年表が5ページある。 ○特別なコーナーはない。</p>
<p>育鵬社</p>	<p>○日本と世界の歴史とのかかわりについて、世界の歴史の背景をつかませるために、各時代の外国の動きを紹介する項を設定している。</p> <p>(具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 なし 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：2 ※ 不足分は、大きなコラム扱いで紹介 ○巻末には日本と世界の歴史が掲載された折込み年表がある。 ○日本と世界のおもなできごとの関連を説明した「このころ世界は」のコーナー (6か所) が設けられている。
<p>学び舎</p>	<p>○各章の扉のページにその当時の世界が俯瞰できる地図及び記述等行っている。</p> <p>(具体的な例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を関連させた世界地図の扱い状況について (世紀別) 7～8世紀 有り○ 16世紀 有り○ 19世紀 有り○ ・欧米の市民革命、産業革命等の扱い ページ数：6 ○巻末には日本と世界の歴史が掲載された年表が20ページある。 ○各章の初めに、世界と日本の主なできごとが書かれた地図を載せたコーナー (10か所) が設けられている。

【社会科（歴史的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	歴史に見られる国際関係や文化交流に関するコラム等の数と具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	関連するコラム等 ・コラム「深めよう」 ・コラム「歴史にアクセス」 文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラム数が少ない時代がある。 コラム等の数と具体例 合計 21個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (1)	○ 古代のオリンピック
	中世 (2)	○ ユーラシア世界史の誕生 ○ 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国
	近世 (3)	○ 有田焼のルーツ ○ 朝鮮通信使が訪れた対潮楼 ○ 歴史の中イスラム文化
	近代 (8)	○ ペリーの来航と台場 ○ エルトゥールル号遭難事件 ○ 日露戦争と「マツヤマ」 ○ 孫文と日本 ○ ジャポニスム ○ 欧米化する暮らしと女性 ○ 「命のビザ」 ○ 北海道とアイヌ民族の歴史
	現代 (7)	○ 原水爆禁止運動 ○ ベトナム戦争 ○ 日本の領土をめぐる問題とその歴史 ○ 日本の漫画とアニメ ○ 中国の経済発展 ○ 歴史の中の大震災 ○ 人類の歴史とエネルギー
教出	関連するコラム等 ・「世界から歴史を探ろう」 ・コラム「歴史の窓」 文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラム数が少ない時代がある。 コラム等の数と具体例 合計 22個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (1)	○ 古代中国の歴史書に記された倭
	中世 (1)	○ オホーツク文化と擦文文化
近世 (6)	○ ほろぼされた中南アメリカの文明 ○ 銀で結びつく世界 ○ 宣教師が見た日本 ○ 野國聴管と青木昆陽 ○ ペリーの那覇・函館寄港	

		○ 幕末の国際交流～海を渡った武士たち～
	近代 (8)	○ 北海道の開拓とアイヌ人たち ○ 琉球処分～琉球王国の終わり ○ 山川 (大山) 捨松と津田梅子 ○ アイヌの文化を伝えた人たち ○ 台湾の植民地化 ○ 海外へ移住した日本人 ○ 日本人が見た三・一独立運動 ○ 後藤新平と杉原千畝
	現代 (6)	○ 中東戦争 ○ 歴史のなかで在日韓国・朝鮮人 ○ キューバ危機 ○ アラブの春 ○ 隣国と向き合うために ○ 平和を願う人々との祭典「オリンピック」
	<p>関連するコラム等 ・コラム「地図で見る世界史」 ・コラム「もっと知りたい」 文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラム数が少ない時代がある。</p> <p>コラム等の数と具体例 合計 24個</p>	
清水	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (8)	○ 植物と日本人 ○ ローマ帝国と漢 ○ 朝貢のしくみ ○ 渡来人 ○ イスラーム帝国と東西交流 ○ 玄奘 ○ イスラーム帝国と唐 ○ 阿倍仲麻呂
	中世 (2)	○ モンゴル帝国の拡大 ○ アジアの船と海上交通
	近世 (7)	○ 鉄砲の普及 ○ 天正遣欧少年使節 ○ 秀吉の朝鮮侵略 ○ 身近な南蛮文化 ○ 雨森芳洲 ○ 大黒屋光太夫 ○ 蘭学と幕府
	近代 (7)	○ 世界見学に出かけた日本人 ○ 植民地となる前の台湾 ○ 孫文 ○ 柳宗悦 ○ 行き来する留学生 ○ 明治・大正期の食生活～洋食の成立～

		○ ナチスの政策
	現代 (0)	なし
帝国	関連するコラム等 ・「羅針盤マーク」 ・人物紹介 どの時代でも、文化交流や国際関係についての理解を深めることができる。 コラム等の数と具体例 合計 52個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (7)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 孔子 ○ 「魏志」倭人伝からみる邪馬台国 ○ キトラ古墳に見る中国の思想 ○ 正倉院の宝物が語る大陸との交流 ○ 古代のタイムカプセル, 正倉院 ○ 鑑真 ○ 唐にわたった二人の若き僧侶
	中世 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北と南を 襲った もう二つの蒙古襲来 ○ 栄西 ○ 東アジアの美, 磁器 ○ 北海道の独自の文化
	近世 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の銀を支えた石見銀山 ○ 朝鮮半島から伝わった文化 ○ 山田長政 ○ 島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ ○ 琉球とアイヌの人々の暮らし ○ 昆布ロードと北前船 ○ 世界にほこる江戸時代の技術と浮世絵
近代 (23)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高杉晋作 ○ ペリー ○ 勝海舟 ○ 福沢諭吉 ○ 世界に開かれた港 横浜 ○ 沖縄をめぐるさまざまな意見 ○ 移住と開拓が進む北海道 ○ 台湾の植民地化と近代化 ○ 中華街の形成 ○ 日本と中国をつないだ人々 ○ 日本に対するアジア諸国の二つ感情 ○ 国旗と国歌 ○ ウィルソン ○ 祖国の音楽を紹介したドイツ兵 ○ 人種差別撤廃への道 ○ 戦場となった沖縄 ○ 朝鮮との架け橋なった日本人 ○ 芸術にこめた反戦の意志 	

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 抗日民族統一戦線をつくった指導者 ○ 長野県からみる「満州」移民 ○ 幻の東京オリンピック ○ ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人 ○ インドネシアで使われている教科書では…
	現代 (11)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シベリアでの抑留生活 ○ 植民地の独立 ○ 核兵器開発競争と日本 ○ 在日韓国・朝鮮人 ○ 日本の領土と近隣諸国 ○ キューバを舞台にした冷戦 ○ 現在に残る沖縄の基地問題 ○ 芸術面で活躍した日本人 ○ 日本における先住民族 ○ エルトゥールル号のきずな ○ 世界に広がる日本の伝統と文化
日文	関連するコラム等 ・「地図で見る世界の動き」 ・コラム「歴史を掘り下げる」 どの時代でも、文化交流や国際関係についての理解を深めることができる。 コラム等の数と具体例 合計 28個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 儒教 ○ 日本の食生活ルーツを探る ○ 磐井の乱 ○ いつから「日本」と天皇が使われるようになったの？
	中世 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宋と高麗 ○ 海底から姿を現した元の軍船
	近世 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ○ イスラムの文化 ○ つながる世界と生活の変化 ○ 天正少年使節 ○ 石見銀山
	近代 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい世の中をめざした人々 ○ 朝鮮の開国 ○ 近代的な国際秩序への参加 ○ 近代社会に日本を見つめ直す ○ 富岡製糸場を調べる ○ 孫文と日本 ○ エルトゥールル号遭難事件 ○ 山本作兵衛の炭坑記録画 ○ 三・一独立運動を支持した日本人 ○ 日本人の海外移民 ○ 日本の満州支配に反対したジャーナリスト ○ 新渡戸稲造と杉原千畝
	現代 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シベリア抑留と中国残留孤児

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 平和記念都市建設と原水爆禁止運動 ○ 平和条約に調印しなかった国 ○ 韓国・中国との国交正常化と現在の課題 ○ ベトナムとアフガニスタン ○ アイヌと沖縄の近代と現代
	<p>関連するコラム等 ・コラム「外の目から見た日本人」 ・ミニコラム どの時代でも、文化交流や国際関係についての理解を深めることができる。</p> <p>コラム等の数と具体例 合計 38個</p>	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで(6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 盗みがなく、争いの少ない社会 ○ 敗戦を教訓にした律令国家 ○ 日本という国名のおこり ○ 平城京と長安の違い ○ 仏像の見方 ○ 日本の天皇と中国の皇帝
	中世(2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元寇と朝鮮半島 ○ 「日本国王」になった足利義満
	近世(5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秀吉とフェリペ2世 ○ 宣教師の見た日本人 ○ 秀吉はなぜパテレンを追放したのか ○ 正確な日本地図をつくった伊能忠敬 ○ 浮世絵とジャポニスム
自由社	近代(20)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃藩置県を武士はどう受けとめたか ○ 明治維新とは何か ○ 琉球処分とは何か ○ 日本の近代化とアイヌ ○ 幕末・明治期の日本人の生き方 ○ フランス料理と黒の喪服 ○ 福沢諭吉の『学問すすめ』と「脱亜論」 ○ 金玉均と甲申事変 ○ 明治国家を背負った政治家 伊藤博文 ○ 日露戦争を戦った日本人 ○ アメリカの対日砲艦外交 ○ 世界が見た日露戦争 ○ 日英同盟はなぜ廃棄されたか ○ ブロック経済と日本 ○ 日本と中国はなぜ和平を実現できなかったのか ○ 迫害されたユダヤ人を助けた日本人樋口季一郎と杉原千畝 ○ 創氏改名とは何か ○ 戦時国際法と戦争犯罪 ○ 大東亜戦争とアジアの独立 ○ 日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々

	現代 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 占領下の検閲と東京裁判 ○ 戦争と全体主義の犠牲者 ○ 日本の底力を世界に示した昭和39年の東京オリンピック ○ 勇気と友情の物語世界と交流した近代日本 ○ 東日本大震災 と日本人
育鵬社	関連するコラム等 ・コラム「歴史ビュー」 ・コラム「歴史ズームイン」 どの時代でも、文化交流や国際関係についての理解を深めることができる。 コラム等の数と具体例 合計 38個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (7)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ローマ帝国と日本の古墳時代 ○ 日本人の宗教観 ○ 大仏開眼供養 ○ 最澄と空海 ○ 天皇と皇帝—聖徳太子の気概 ○ 光明皇后 ○ 紫式部
	中世 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシアを一つにつないだモンゴル ○ 世界文化遺産・石見銀山
	近世 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルネサンスと宗教改革 ○ 宣教師の見た日本 ○ 世界文化遺産・富士山と日本人 ○ 支倉常長—幻となったメキシコ貿易の夢 ○ 江戸の技術 ○ 浮世絵の影響—ジャポニスム
近代 (19)	<ul style="list-style-type: none"> ○ わが国固有の領土である国境の島々 ○ 外国人が見た日本 ○ 近代国民国家の形成 ○ 陸奥宗光—条約改正と日清戦争の立役者 ○ 台湾にダムをつくった八田與一 ○ 日露戦争の舞台裏 ○ 明治を築いた二人—伊藤博文と渋沢栄一 ○ お雇い外国人 ○ フェノロサと救世観音 ○ 幻の人種平等案 ○ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造 ○ 幻の東京オリンピック ○ 杉原千畝と樋口季一郎 ○ 何がアメリカ国民を戦争に導いたのか ○ トインビーが見た「第二次世界大戦と日本」 ○ 昭和 20年、戦局の悪化と終戦 ○ 列強の植民地とアジアの民族運動 ○ 津田梅子 ○ クーデンホーフ光子 	

	現代 (4)	<input type="radio"/> 東京裁判 <input type="radio"/> 核と世界 <input type="radio"/> 冷戦の終結 <input type="radio"/> 1964年と2020年東京オリンピック・パラリンピック
学び舎	関連するコラム ページ下に枠で記載 どの時代でも、文化交流や国際関係についての理解を深めることができる。 コラム等の数と具体例 合計 44個	
	時代区分 (数)	具体例
	古代まで (5)	<input type="radio"/> 今でも読まれる孔子の『論語』 <input type="radio"/> 「魏志倭人伝」が伝える倭人の生活と社会 <input type="radio"/> 遣隋使と中国皇帝は何を語ったか <input type="radio"/> 「日本」と「天皇」 <input type="radio"/> アラビア数字とローマ数字
	中世 (6)	<input type="radio"/> 火薬の発明 <input type="radio"/> 海をわたる禅僧たち <input type="radio"/> 元を攻撃したカラフト (サハリン) のアイヌ <input type="radio"/> 朝鮮の文字・ハングルがつくられる <input type="radio"/> 朝鮮の使節が見た日本の農業 <input type="radio"/> アイヌの人びとがになう北方の交易
	近世 (6)	<input type="radio"/> マゼラン船隊の世界一周 <input type="radio"/> ザビエルとアンジロー <input type="radio"/> 島津氏の奄美群島と琉球王国への侵攻 <input type="radio"/> 朝鮮の武将となった沙也可 <input type="radio"/> 琉球王国の使節 <input type="radio"/> ロシア皇帝に面会した光太夫
	近代 (16)	<input type="radio"/> アヘン戦争と江戸幕府・琉球王国 <input type="radio"/> アームストロング砲とミニエー銃 <input type="radio"/> 6歳の子留学生 <input type="radio"/> 東京に出て日本語を学んだアイヌの人たち <input type="radio"/> 戦火に追われる人びと <input type="radio"/> 増える日本人 <input type="radio"/> アジア・アフリカと第一次世界大戦 <input type="radio"/> 声を上げる学生たち <input type="radio"/> 辛亥革命後の変化 <input type="radio"/> 『モダン・タイムス』と『独裁者』 <input type="radio"/> 日本の満州開拓と中国人農民 <input type="radio"/> 消えた東京オリンピック <input type="radio"/> 地下道を掘って戦う <input type="radio"/> 朝鮮・台湾の人びと日本の戦争 <input type="radio"/> アメリカが原爆を投下した理由 <input type="radio"/> 連合国の動きと国際連合の成立
現代 (11)	<input type="radio"/> 日本国憲法と旧植民地の人びと <input type="radio"/> 日本と朝鮮戦争 <input type="radio"/> インディラがやってきた <input type="radio"/> インドネシアの独立 <input type="radio"/> 被爆者の心を世界に伝える高校生 <input type="radio"/> 東京オリンピック <input type="radio"/> あい次ぐ米軍機の事故 <input type="radio"/> 私はだれなのですか <input type="radio"/> 私の土地は基地の中にある—真栄城玄徳と祖母カミ <input type="radio"/> 問い直される人権の侵害 <input type="radio"/> 原発事故は警告されていた	

【社会科（歴史的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	大単元の導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、1ページにより、写真や絵で具体的な歴史的事象が示されるとともに、小学校で学習した内容を、イラストなどを用いて年表にまとめている。また、キャラクターの「～かな」等の呼びかけがある。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○1ページで大極殿の写真が掲載される。欧米，東アジア，政治，経済・社会・文化の項目ごとに、主なできごとが年表にまとめられている。</p> <p>○「ここにはどんな人がいたのかな。」「平城宮って、どんなところだろう。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>【「中世」の例】</p> <p>○「武士の登場」を強調し、年表（世界の動きも記載）、図、写真（武士の合戦の様子：平治物語絵巻）がある。</p>
教出	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、1ページにより、写真や絵で具体的な歴史的事象が示されるとともに、年表で、これから学習する時代を提示している。また、キャラクターの「～でしょうか」等の呼びかけがある。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○1ページで吉野ヶ里遺跡、主祭殿の建物の内部の写真に掲載するとともに、日本や中国、朝鮮の時代区分が年表で示されている。</p> <p>○「2枚の写真は、卑弥呼が活躍した時代と同じころの大きな集落を復元した遺跡の様子です。このころは、まだ日本という国はありませんでしたが、人々はどのような社会を築いていたのでしょうか。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>【「中世」の例】</p> <p>○「武士の登場」を強調している、簡単な時代区分の年表、図（武士の合戦の様子：壇ノ浦の合戦の様子）がある。</p>
清水	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、1ページにより、写真で代表的な歴史的事象を示されるとともに、年表で学習する時代を提示している。また、「～だろう」等の呼びかけがある。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○1ページで東大寺大仏、藤原道長、法隆寺、森將軍塚古墳の写真に掲載するとともに、日本時代区分を年表で示している。</p> <p>○「大仏は、どんな人たちがつくったのだろう。」といった問いがある。</p>

	<p>【「中世」の例】</p> <p>○「中世ってどんな時代」の問いがあり、中世の仏像、人物や建物など5枚の写真と簡単な時代区分の年表がある。</p>
帝国	<p>○章のタイトルがページ脇に書かれている。</p> <p>○大単元の導入における特別なページはない。</p>
日文	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、見開き2ページを割り当て、写真やイラストなどによって代表的な歴史的事象が示されるとともに、大項目のねらいもあわせて提示している。また、キャラクターの「～だろう」等の呼びかけがある。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○見開き2ページで、猿人のくらしのようすなどが示されたイラストが掲載されている。</p> <p>○大項目のねらいを『古代までの日本』の特色を探っていこう」としている。</p> <p>○「人類の歴史700万年を1年に例えると、農耕を始めた約1万年前は12月31日11時29分、古代文明の始まりの約3000年前は12月31日20時14分になるそうだよ。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>【「中世」の例】</p> <p>○見開き2ページで、「中世の日本の特色を探っていこう」のタイトルで2枚の平安時代の上皇の御所の様子の絵図と鎌倉時代の武士の館の絵図がある。</p>
自由社	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、1ページにより、写真で代表的な歴史的事象を示されている。また、キャラクターの「～だわ」等の呼びかけがある。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○1ページで平城京跡の写真と唐の長安を示す図が掲載されている。</p> <p>○「1300年前の奈良時代、平城宮の跡を写した航空写真ですね。碁盤の目の街路と大極殿の位置など、唐の長安とそっくりだわ。」といったキャラクターの問いがある。</p> <p>【「中世」の例】</p> <p>○「石塁」の写真と「蒙古襲来絵詞」が掲載され、キャラクターの問いがある。年表はない。</p>
育鵬社	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、1ページで、イラストや写真などで具体的な歴史事象が示されるとともに、年表で学習する時代が提示されている。また、キャラクターの「～だね」等の呼びかけがある。</p> <p>○写真等は「海洋国家・日本の歩み」をテーマに時代を代表する「船」が掲示されている。</p> <p>○キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○1ページで、表題「海洋国家・日本の歩み①」とともに、浦入遺跡出土の丸木舟の写真と解説が掲載されている。「島国の日本は5000年以上も前から、舟がつくられていたんだね。」といったキャラクターの問いがある。</p>

	<p>【「中世」の例】</p> <p>○「遣明船」の絵と解説が掲載されている。年表、キャラクターの問いもある。</p>
<p>学び舎</p>	<p>【概要】</p> <p>○大単元の導入において、見開き2ページを割り当て、写真やイラスト、地図などによって代表的な歴史的事象が示されるとともに、大項目のねらいもあわせて提示されている。</p> <p>【「古代」の例】</p> <p>○北極を中心とした世界地図に、日本のイノシシの土偶やインドのコブウシの土偶、エジプトのネコのみイラの写真等が掲載されている。</p> <p>○大項目のねらいを「世界や日本では、どのようなものが生みだされたのでしょうか。」としている。</p> <p>【「中世」の例】</p> <p>○写真図版が7枚で年表等はない。</p>

社会科（歴史的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	呉市や広島県に関わる資料の扱い

発行者	調査・研究内容			
	厳島神社・平清盛関係	朝鮮通信使関係 (下蒲刈・鞆)	原爆関係	その他
東書	○：扱う 写真：中サイズ 両方の写真あり、 平家納経も扱う。 解説あり。	○：扱う 鞆の浦の写真を「朝鮮通信使が訪れた対潮楼」のコラムで、福山藩士と交流する朝鮮通信使の絵を扱う	○：扱う 章の扉のページに原爆ドームの写真、 解説：大サイズ 戦争の終結の單元にも、写真及び記載あり また地域調べの題材にコラムで原爆ドーム保存を扱う	○福山市：中世の町並み解説あり（草戸千軒町遺跡） ○竹原市：一向一揆の旗解説あり ○広島市：闇市解説あり
教出	×：扱いはない	× 扱いはない	○：扱う 原爆ドームの投下後の写真：小サイズ 解説あり ○原爆の子の像の写真及び解説あり	○竹原市：一向一揆の旗解説あり ○「現代の日本と世界」の章で「平和記念式典」を取り上げる。 写真小、解説あり
清水	○：扱う 写真：中サイズ 両方の写真あり 解説あり	× 扱いはない	○：扱う 章の扉のページで原爆ドームを扱う (投下前と後の写真：小サイズ) ○原爆投下後の広島の写真と解説	○平和への願い 平和記念式典での子どもの献花の写真
帝国	○：扱う 写真：中サイズ 両方の写真あり 解説あり	○：扱う 鞆の浦の写真 解説あり	○：扱う 原爆ドームを投下前と後の比較：写真：中サイズ 少女の日記	○壬生の花田植解説あり ○遣唐使船解説あり ○竹原市：一向一揆の旗解説あり ○瀬戸内の塩田
日文	○：扱う 写真：小サイズ 両方の写真あり、 解説あり	× 扱いはない	○：扱う 原爆ドーム 投下後の写真：大 解説あり	コラム「草戸千軒町遺跡を調べる」 ○竹原市：一向一揆の旗解説あり コラム平和記念都市建設と原水爆禁止運動
自由社	○：扱う 写真：中サイズ 両方の写真あり 解説あり	× 扱いはない	○：扱う 原爆ドーム写真のみ	江戸時代の写真 広島藩の蔵屋敷の写真(小) 解説あり 遣唐使船解説あり ○阿部正弘解説あり

育鵬社	○：扱う 写真：小サイズ 両方の写真あり， 平清盛のみ解説あり。	× 扱いはない	○：扱う 原爆ドーム 投下後の写真：大 解説あり	○：戦艦大和の写真サ イズ大（大和ミュージ アム資料）解説あり ○：福山「草戸千軒」を扱 う（コラム1ページ） ○竹原市：一向一揆の 旗解説あり ○遣唐使船（倉橋）解 説あり まとめの欄にもあり ○阿部正弘解説あり 【使用実績に関するこ と】 呉市に関連する資料が 2点あり，小学校の学 習内容を生かして，中 学校の授業の導入等に 使用することで，小中 のつながりを意識して 授業することができて いる。
学び舎	○：扱う 平清盛 絵：小サイズ 解説あり	× 扱いはない	○：扱う 原爆ドーム 投下後の写真：大 平和記念公園 ○原爆の子の像の 写真のみ ○はだしのゲン解 説あり	○原子力平和利用博覧 会 解説あり ○磨崖和霊石地藏解説 あり

【社会科（歴史的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	歴史の大きな流れを見通すための工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○歴史の流れを大きく振り返るために，教科書のはじめに，小学校で学習した内容に人物や出来事に関する絵が古代から現代に至るまで全体の歴史を見渡すように流れ（歴史の流れコーナー）で示されている。さらにその絵を利用して，表にまとめる場面が設定されている。</p> <p>○それぞれの章のはじめに，絵や写真等の資料を歴史の流れごとに提示し，小学校での学習を振り返る場面を設定している。また，これから学習する時代がどのような時代なのかをイメージさせる歴史事象を時代順に配置したコーナーを設定している。</p> <p>（各時代の関連した質問）</p> <p>古代 法隆寺，東大寺，平等院鳳凰堂を造った人物の名前や身分を思い出しましょう。</p> <p>中世 源頼朝，足利義満，足利義政，雪舟ほどのような人物が思い出し，同じ時代に活躍した人物を挙げましょう。</p> <p>近世 太閤検地や鎖国などの資料がどのような人物に関わるのかを考えましょう。</p> <p>近代① 殖産興業や岩倉使節団等の資料を選び，小学校の学習を思い出しながら，自分なりのストーリーを考え，せりふを考えよう。</p> <p>近代② 人々の生活の様子が分かる資料を選び，どのような生活をしてたか考えよう。</p> <p>現代 日本の発展の様子を表す資料を選び，日本がどのように発展したのかを考えましょう。</p>
教出	<p>○歴史の流れを大きく振り返るために，教科書のはじめに，見開き2ページで「歴史のなかの言葉」として古代からの現代に至るまでの外国の人物の言葉を示している。日本は奈良時代から昭和に至るまでの，著名な人物の言葉を示している。</p> <p>（各時代の資料）</p> <p>古代 吉野ヶ里遺跡 人々ほどのような社会を築いていたのかを考えさせる。</p> <p>中世 壇ノ浦の戦い 天皇や貴族を中心とした政治がどのように変わったのかを考えさせる。</p> <p>近世 富嶽三十六景，丁銀，慶長小判，寛永通宝 なぜこのような変化が生まれたのかを考えさせる。</p> <p>近代① ペリーの来航 それまで鎖国下にあった日本には，どのような変化が生まれたのかを考えさせる。</p> <p>近代② 内国勸業博覧会 江戸幕府がほろんだのち，日本がどのように変わったのかを考えさせる。</p> <p>近代③ 第一次世界大戦 その原因や，日本はどのように関わることになったのかを考えさせる。</p> <p>現代 青空教室 戦争の焼け跡から，日本はどのように社会や人々の暮らしを立て直していったのかを考えさせる</p> <p>（教科書の初めに「タイムトラベル・サミット2018」と称して，小学校での学習と関連させながら，日本の歴史に関わる著名な人物（聖徳太子や織田信長等）をそれぞれの時代に分けるような課題を設定している。）</p>

○教科書のはじめに、表見返し2ページで歴史の大きな流れを復習するためにキャッチコピーをつくる場面を設定している。聖徳太子や織田信長、文明開化等の資料を用いている。

各時代の資料

古代 東大寺大仏、藤原道長、法隆寺、森將軍塚古墳

日本の古代までの歴史は世界の動きとどのように関連して動いてきたのだろうか。

古代の日本の政治や文化を担ってきたのはどんな人々だろうか

中世 東大寺南大門金剛力士像、平清盛、蒙古襲来絵詞、金閣、足利義満

中世の日本はどのような人々が時代を動かしていったのだろうか。

日本は東アジア世界とどのようにかかわり、どんな影響を受けていったのだろうか。

近世 長篠の戦い、織田信長、検地、豊臣秀吉、日本橋、出島

近世はどんな人々が活躍した世の中であったのだろうか。これまでの時代と比べて考えてみよう。

外国とのかかわりはどのように変化していったのだろうか。その中で日本ではどのような社会が作られていったのだろうか。

近代① 蒸気機関車と新橋駅、井伊直弼、大日本帝国憲法、日本海海戦、岩倉使節団
欧米諸国を中心に世界はどのように動いていったのだろうか。その中で、東アジア世界はどのような影響を受けていったのだろうか。

日本は世界の動きに対してどのようにかかわり、近代国家への道のりを歩んでいったのだろうか。

近代② 原爆ドーム 浦上天主堂

なぜ、人類は二度も世界大戦を犯してしまったのだろうか。

二つの世界大戦の原因は何だったのだろうか。

戦争は人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。

現代 青空教室、現代の授業、東京タワーとその周辺の変化

戦後、日本はどのように変わったのだろうか。

二度の世界大戦後、世界はどのように変わったのだろうか。

現代の人類の課題は何だろう。

(生徒に考えさせる設問を用意し、時代の特色を把握しまとめるためのYチャートを巻頭で提示している。)

清水

<p>帝国</p>	<p>○教科書のはじめに、見開きで歴史の大きな流れを振り返るために「歴史をたどろう」を称して、古代から現代に至るまでの人物や出来事を絵で示しており、さらに年表でその人物がいつの時代の人物なのかを示している。</p> <p>○各章の時代等の導入に「タイムトラベル」としてそれぞれの時代を絵で示し、小学校で学んだ主な出来事と関連させる場面を設定している。</p> <p>各時代の場面</p> <p>縄文時代と弥生時代 それぞれの集落の絵を示し、どのようなところに各時代の特色があるのかを考えさせている。</p> <p>奈良時代 都から遠く離れた東海地方のある地域で建物が建設されている絵を示し、縄文・弥生時代にはなかった奈良時代の特色を考えさせている。</p> <p>鎌倉時代 西日本のある農村の絵を示し、どのようなところが変化し、奈良時代にはなかった特色を考えさせている。</p> <p>室町時代 大阪湾の港町を示し、どのようなところが変化し、鎌倉時代との共通点を考えさせている。</p> <p>安土桃山時代 ある町の絵を示し、どのような変化が起こっているのか、また近世に生まれた特色を考えさせている。</p> <p>江戸時代 西日本のある街道沿いの農村の絵を示し、どのような社会になってきたのかを、特色を考えさせる。</p> <p>明治時代 ある地方都市の絵を示し、江戸時代との共通点や違いを考えさせている。</p> <p>大正時代～昭和初期 地方都市の駅前の絵を示し、明治時代との共通点や違いを考えさせている。</p> <p>高度経済成長期 新幹線が開通した東海地方の町の絵を示し、これまでの社会との共通点や違いを考えさせる。</p>
<p>日文</p>	<p>○教科書のはじめに、見開きで歴史の大きな流れを振り返るために、古代から現代に至るまでの歴史上の人物や出来事の絵や写真等を示し、小学校の学習を振り返る場面を設定している。(歴史の流れをふり返ろう)</p> <p>○各章ごと見開きでその時代を代表する資料や写真等を示し、ポイントを絞って学習課題を設定し、着目点を示し、次のページに主な出来事と小学校で学んだ人物、朝鮮、中国が関連した年表や世界地図を示している。</p> <p>各時代の資料</p> <p>古代 200 万年前の猿人のくらし 地図で見る世界の動き 人類の広がり</p> <p>中世 鎌倉時代の武士の館 地図で見る世界の動き 13 世紀の日本と世界</p> <p>近世 16 世紀前半の京都の様子、17 世紀の江戸の様子 地図でみる世界の動き 大航海時代と日本</p> <p>近代① 江戸城に入る明治天皇 富岡製糸場 地図でみる世界の動き 欧米諸国のアジア進出</p> <p>近代② 戦時中の写真 地図でみる世界の動き 第一次世界大戦の国際関係</p> <p>現代 戦後の様子と現在の写真 地図でみる世界の動き 第二次世界大戦後の世界</p>

自由社	<p>○裏の見返しから1ページに年号と西暦の対照表がある。</p> <p>古代 平城京の跡 中世 元寇 近世 歌川広重等の絵 近代① 久松五勇士記念碑 近代② 原爆ドーム 真珠湾攻撃 現代 戦後から現在にかけての東京の写真 (教科書のはじめに、歴史の大きな流れをとらえるために、人物を通して時代をとらえる場面を設定し、小学校で学習した歴史上の人物のカードを作り、短い文章でまとめる課題を設定している。)</p>
育鵬社	<p>○教科書のはじめに6ページで日本の美の形を視点として、古代の縄文時代から現代に至るまでの資料(日本の美の形)が示されている。</p> <p>○各章のはじめに、「歴史絵巻」として、小学校で習った内容を思い出しながら、大きな歴史の流れを、絵を通して振り返る場面を設定している。またその流れに沿った絵や資料には、その出来事の内容を考えさせたり、何のために行ったのか等を思い出させるようなコメントをつけ、小学校からの学習の振り返りができるように示している。</p> <p>○虫の目として絵の資料を示して、当時の生活の様子に触れ、この絵から分かることを考えさせる場面を設定している。 (虫の目で見ると)</p> <p>古代 貴族の生活を見てみよう(平安京) 中世 武士の生活を見てみよう(武士の館) 近世 新興都市・江戸の町づくり(江戸のにぎわい) 近代① 文明開化の様子を見てみよう(東京・銀座のにぎわい) 近代② 「大衆の時代」のようすを見てみよう(東京駅) 現代 新幹線の歴史を見てみよう(新しい時代の扉を開く)</p> <p>○海洋国家・日本の歩みというテーマを視点として、各時代の資料を写真や絵で示している。</p> <p>古代 縄文時代の丸木舟 中世 遣明船 近世 朱印船 近代① 咸臨丸 近代② 戦艦大和 現代 日章丸</p> <p>【使用実績に関すること】 各章のはじめに、「歴史絵巻」があり、小学校の学習内容を振り返りながら、授業の導入を行うことで、生徒の興味・関心を高めることができる。</p>
学び舎	<p>○章のはじめに、テーマにそって、社会的事象や資料が入っている。</p> <p>各時代で設定されているもの</p> <p>古代① 土偶など 世界や日本ではどのようなものが生み出されたのか。人類のすがた 古代② 東大寺大仏など 宗教 中世 元寇など 武士の世は、古代の社会と比べて、どのように変わっていくか。交通手段 近世① 石見銀山など どのような新しい動きが見られるのか。交易や人の移動 近世② 各国の世界遺産 大建築物 近代① パリ万博など 何が社会を大きく変えたのか。 近代② 岩倉使節団</p>

学び舎	<p>近代③ 各国の女性の写真など 戦争は人類に何をもたらしたのか。</p> <p>近代④ 戦争時及び戦後の写真</p> <p>現代 各国の子どもの写真 現代の課題を考える。</p> <p>(教科書のはじめに、大きな歴史の流れを振り返るために、卑弥呼や紫式部、平塚らいてう、縄文土器や弥生土器、寺子屋と明治の学校などのカードを作り年表を使ってまとめる課題を設定している。)</p>
-----	--

【社会科（歴史的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	「身近な地域の歴史」を調べる手順，視点及び方法

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「歴史の調べ学習をするためには」として設定している。視点は堺市の歴史を調べようである。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <p>① テーマを決めるポイント 自分が興味あるものに注目すること，簡単に答えが見つかるものや，難しすぎるものは避け，テーマが決まったら先生に相談しアドバイスをもらう方法が示してある。</p> <p>② 調べるポイント 学校や図書館，地域の図書館の利用，インターネットや聞き取り調査，一つの方法だけでなく，様々な資料を調べる方法が明記してある。またそれぞれの方法の説明を個別のページで設定して説明している。</p> <p>A 図書室・図書館・インターネット 図書の分類法を説明し，書籍での調べ方の方法を示している。例えば，歴史上の人物を調べる際には，百科事典で概略をおさえることや歴史辞典・事典で，一つの項目を具体的に調べたいとき，年表や図表，資料を詳しく調べること等が説明してある。また時代や年代から調べる際には年表の利用を，人物・地名から調べる際には人物事典や地名事典の利用が示してある。インターネットの使用では，多くの情報が手に入ることや必要な情報を記録すること等が紹介してあり，地方公共団体や教育委員会，博物館や美術館のウェブ・ページの利用の方法を紹介し，利用上の注意点を示している。</p> <p>B 博物館 疑問を大切にし，博物館の展示や説明から探ること，展示や説明で分からないことは説明員に聞くこと，体験学習等にも積極的に参加することが示してある。またこのページでは，視点を「大陸との交流を探る古代の玄関口・福岡」として，地域に残る遺跡や博物館から調べる方法が紹介してある。学校周辺を探索し，調べるテーマを決め，金印が展示されている福岡市博物館や板付遺跡，遣唐使から探るためにその跡地を見学するなどして，調べたことを年表にしてまとめ，「古代の日本と大陸との交流は，どのようなものだったのだろうか」という学習課題について発表する方法を示している。</p> <p>C 資料館・図書館・文書館 資料館では，テーマに合わせて見学すること，資料館の方に話を聞くこと，分からなかったことをメモすることを紹介している。また図書館や文書館では受付で，テーマに合った資料の探し方のアドバイスをもらう助言をしている。またこのページでは，「戦国時代の城下町・一乗谷」を視点として身近な地域に残る史跡から身近な地域の歴史を調べる方法を明記している。また他の戦国大名で調べることや，現在の私たちの生活に関わりのあるものを調べるよう紹介している。</p> <p>D 野外調査 町の中に残る記念碑等から，身近な地域を調査する方法を示している。またこのページでは「街の中に残る歴史・神戸」という視点で実際神戸市の街を調査し，イラストマップを作る方法を紹介している。</p>

	<p>E 近くの史跡 身近な地域にある史跡の調査から、身近な地域を調査する方法を示している。このページでは、「原爆ドームの保存と平和への願い」という視点で、平和記念公園の史跡や被爆者の方からの聞き取り調査の内容をまとめ、ウェブ・ページを作成する方法を示している。</p> <p>F 身近な地域の将来について 身近な地域の将来について提案するという視点から、福島県いわき市の例を示し、街の歴史から将来を考える場面を設定している。知っていることを挙げまとめ、実際どのように調べたのかを示してあり、まとめも記載している。</p> <p>③ 考察するポイント 集めた資料を丸写しするのではなく、その資料から読み取れることをまとめることや一つの資料を、様々な視点から読み取ったり、いくつかの資料を比較したりする方法を示している。資料を考察し、実際に聞き取り調査をするため、聞きたいことリストとまとめ、聞き取りをし、図やイラスト等を使ってわかりやすく表現するために工夫することを示しているまとめる方法も例で示している。次に調べた内容を見直すポイントとして、調べる中でさらにさらに調べたいことが出てきたらメモをすることや、他の人からの意見を次の改善にすること、評価表の例を示している。最後に発表会の方法について示してある。</p> <p>④ まとめと発表のポイント 図やイラストなどを使い、分かりやすく表現したり、グループでの分担、発表用の原稿をもち練習したりするように示している。年表、レポート、プレゼンテーション・ソフト、イラストマップ、ウェブ・ページといったまとめる方法例を示している。</p> <p>⑤見直すポイント 課題や反省点を分かりやすくする方法等を示している。</p> <p>視点 「第1章 歴史の流れをとらえよう」において「歴史の調べ学習をするには…？」という項が設けられ、調べ学習における視点が提示されている。</p> <p>視点の例 テーマを設定する場面では、私たちの住む地域に何があるのか気づくために「時代ごとに地域の歴史を分類する」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことから学ぶことができる手順と方法、視点が示されている。また、調査の振り返りも手順に位置付けられている。</p>
<p>教出</p>	<p>「郷土の歴史を探ろう」として、時代ごとに設定をしており、学び方の手がかりを「地域調査の手引き」として詳しく紹介している。</p> <p>手順と方法</p> <p>① 地域の遺跡や古墳を訪ねて まず「<u>情報を集めて、調査テーマを考えよう</u>」で、調べたい課題を決めることを紹介している。地域調査の手引きとして、地域の歴史を探るときに、小学校で学習した地域の人物や地域の遺跡などの文化財等を見つける方法を示している。また情報を集めたい時は、博物館等で、展示を見学したり、体験活動に参加したりすることや学校や地域の図書館の利用、インターネットでの検索の方法が紹介されている。次に遺跡や博物館</p>

<p>教出</p>	<p>等を訪ねるときは、質問や話の聴き方について紹介している。このページでは、鹿児島県にある上野原遺跡について紹介しており、調べたことを紹介している。</p> <p>② 地域の寺社や墓碑を訪ねて ここでは、「<u>野外調査、聞き取り調査をしよう</u>」で、その方法を示している。野外調査をする際には、事前の確認や現地の様子を写真やスケッチで記録すること、聞き取り調査の際の注意点を示している。このページでは、鎌倉市にある円覚寺で調査したことを紹介している。</p> <p>③ 地域の街道や港を訪ねて ここでは、「<u>資料を活用し、調査をさらに深める</u>」方法が示してある。資料を読み解く際の注意点として、いつごろの、何についての資料なのか、絵の場合は様々なところに着目すること、資料を調査に活用する際には、気づいたことやこれまで調査してきたことや、現在の地名、伝統工芸品等と関係していないかを調べる方法を紹介している。このページでは、旧羽州街道について調べたことを紹介している。</p> <p>④ 大正・昭和初期の面影を訪ねて ここでは、「<u>調査したことを整理し、まとめる</u>」方法が示してある。資料を整理するときには、事実として分かったことや考えられること分からなかったことを区別することや、発表作品としてまとめるときに、地図や写真を利用し、現在との違いや移り変わりがわかりやすいよう工夫する方法が示してある。このページでは、名古屋市の移り変わりについて紹介している。</p> <p>⑤ 移り変わる戦後の街を訪ねて ここでは、「<u>発表から新たな課題を見つけよう</u>」といった発表の仕方やその後についての方法が示してある。発表する際には、初めて見る人にも分かるように説明すること、資料を読み解いた視点を紹介すること、発表を聞く際、気づいたこと等をメモすること、発表会が終わったら、新たに追求したい課題を見つける等の方法が示してある。このページでは、川崎市の戦後から未来に向かっての内容をポスターにまとめ発表する場面を紹介している。</p> <p><u>視点</u> 各大単元に「郷土の歴史を探ろう」コーナーが設けられ、調べ学習の視点と方法の例が提示されている。</p> <p><u>視点の例</u> テーマを設定する場面では、身のまわりの歴史を発見するために「小学校で学習した地域の人物や遺跡などの文化財等を参考にする」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことから学べる手順と方法、視点が示されている。また、調査の振り返りも手順に位置付けられている。</p>
<p>清水</p>	<p>「身近な地域を調べよう」として、視点をフィールドワークに絞って設定している。図書館・博物館の利用法や活用法、聞き取り調査の方法等、様々な方法を紹介している。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <p>① 課題を探す 野外活動を行うための課題を探す方法として、地域の古い地図を見たり、外を歩いてみつける方法を示している。</p> <p>② 課題を調べる</p>

<p>清水</p>	<p>課題決定後、ポイントを絞って調査をする。テーマについての歴史的な背景や、基本的な用語を教科書や資料集、インターネットや図書館で調べる方法や、地域の図書館の利用方法や、図書の種類についても紹介している。またインターネット検索を利用する注意点も紹介している。</p> <p>③ フィールドワークの準備 フィールドワークにむけての計画を立てる。見学先の確認や質問の内容を吟味することを紹介している。</p> <p>④ 課題を深める 身近な博物館や資料館に行き、まず一次資料にあたることを紹介している。その場面を写真で紹介している。</p> <p>⑤ 課題をまとめる テーマ(序論)、調べたこと(本論)、まとめ(結論)、参考の資料、訪問先、協力者について、意識して工夫してまとめるよう紹介している。また口頭で発表する技術の紹介もしている。</p> <p>⑥ 課題を発表する パワーポイントにまとめたり、模造紙や画用紙にまとめ、意見交換を行うことを紹介している。</p> <p>グループ活動で意見やアイデアをまとめる際の方法を示している。</p> <p>①ブレイン・ストーミング法 与えられた課題について、グループの全員が制約なしに自由に意見やアイデアを出す方法。4つのきまりと適当な時間、人数を示している。</p> <p>②意見やアイデアを整理する方法 集まったたくさんの意見やアイデアを、カードやふせんに書き出し、共通点のあるものや関係があるものをまとめたりすることによって、テーマについての見方や考え方が整理でき、グループの全員がその結果を共有でき、個人で文章等をまとめる際にも役に立つと示している。</p> <p><u>視点</u> 「第3章 近世の日本と世界」において、「身近な地域を調べよう」というコーナーが設けられ、フィールドワークを例に、調べ学習の視点が提示されている。</p> <p><u>視点の例</u> テーマを設定する場面では、課題を探するために「地域の古い地図を今の地図と見比べたり、地域を歩くときにメモを取る」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことから学べる手順と方法、視点が示されている。</p>
<p>帝国</p>	<p>「歴史の調べ方・まとめ・発表の仕方」として設定している。視点として身近な地域にひそむ歴史を探ろうとして設定し、宮城県仙台市を例にし、伝統文化に対する興味・関心を高めるようにしている。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <p>① 地域の歴史を探そう</p> <p>② テーマを決めよう</p>

<p>帝国</p>	<p>気づいたことや疑問に思ったことから、テーマを決め、一人だけでなく、話し合い等をする、よりたくさんのお気づきを得ることができることを紹介している。小学校等で学んだ地域の人物や地域の気になる建物・風景、地域の遺跡・遺物、地域の行事・風習、身近な人の話や言い伝え等の視点を示している。</p> <p>③ 情報を集めよう</p> <p>④ 野外、聞き取り調査をしよう</p> <p>教科書や地域の副読本等身近な資料から情報を集め、確認し、何を調べるのか、視点を明確にして、いくつかの仮説をたてる方法を示している。また地域の図書館や博物館、インターネット等の利用やその方法を示している。さらに野外調査では、実際に何度かもいって目的地やその周辺を観察することや、近くに住んでいる人や地域の詳しい人の話を聞く等の聞き取り調査を行うことや方法、その内容を記録し、整理して、わからなかったことや新たな疑問や未確認のこと推理し、そう考えた理由を挙げる方法を示している。</p> <p>⑤ 調べたことを整理しよう</p> <p>⑥ 結果をまとめよう</p> <p>⑦ 発表と意見交換をしよう</p> <p>まとめはレポートを基本とし、年表や地図を入れること、劇やイラスト、新聞やニュースの形で紹介する方法を示している。発表をする際には資料を作成し、キーワードを強調する等の工夫や注意点等の必要なことが示している。聞く際にはメモをとり、意見交換を行い、調べ方の問題点や改善できる点や工夫できる点を探すことを紹介している。</p> <p>⑧ 調査を振り返ろう</p> <p><u>視点</u></p> <p>「第1部 歴史のとらえ方と調べ方」において「歴史の調べ方まとめ・発表の仕方」という項が設けられ、調べ学習における視点が提示されている。</p> <p><u>視点の例</u></p> <p>テーマを設定する場面では、私たちの住む地域に何があるのか気づくために「地域の人物や建物・風景、遺跡・遺物、行事・風習、言い伝えをヒントにする」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことから学べる手順と方法、視点が示されている。また、調査の振り返りも手順に位置付けられている。</p>
<p>日文</p>	<p>「でかけよう地域調べ」として設定をしている。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <p>① 史跡見学に行き、平城宮跡を調査する</p> <p>計画を立てて、事前の学習を行う方法を示している。また史跡見学の仕方として、図書館やインターネットを利用する事前調査や、現地調査でメモや質問をすることや注意事項や持ち物を示している。次に実際調査して、平城宮跡資料館等の紹介があり、最後に体験した感想をまとめ、意見を出し合う場面を紹介している。</p> <p>② 歴史博物館に行き、草戸千軒町遺跡を調査する</p> <p>「図書館やインターネットを利用して、調べたいことを調べる」ための歴史博物館の見学の方法を示している。「グループごとにテーマを決め」、「歴史博物館で調べる」。</p>

<p>日文</p>	<p>博物館を見学する際には、チェックリストを作成し、学芸員に質問することや見学で気づいたことや疑問に思ったことをメモする方法を示している。最後に「<u>調べたことを新聞にまとめ、学校のホームページにのせるなど、広く発表する</u>」場面を設定し、疑問点が出たら再調査をすることや、歴史新聞づくりのポイントを紹介している。</p> <p>③ 城下町を訪ね、城下町姫路を調べる視点 地図からどのような建物があるのか、道はどのようにつくられているのか等の読み取りのポイントを示している。</p> <p>④ 近代化遺産の富岡製糸場を調べる視点 富岡製糸場の生い立ちを調べ紹介し、生糸の生産量と輸出総額のグラフ等を紹介している。</p> <p>⑤ 戦争遺跡という視点で大阪空襲を調べる 実際の体験者の記録を読む方法を紹介し、戦争遺跡を見学する方法を示している。事前調査で、書籍等で学習し、見学が可能かどうかを確認する。現地調査では、一人ではなく友人や保護者と行くことや、遺跡を傷つけないようにし、調査の記録を取る助言を行っている。</p> <p>⑥ 地域の環境の歴史を調べる視点 北九州市の公害克服の歴史を調べるために、北九州環境ミュージアムで調べた内容を紹介している。</p> <p><u>視点</u> 各大項目に「でかけよう！地域調べ」というコーナーが設けられ、調べ学習の視点が提示されている。</p> <p><u>視点の例</u> テーマを設定する場面では、歴史をひもとくヒントとして「5W1Hやできごとの原因と結果、影響を考える」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことから学べる手順と方法、視点が示されている。</p>
<p>自由社</p>	<p>「地域の歴史を調べる」として、視点を渋谷区の歴史を調べように設定している。また、学級でグループごとにテーマを決める方法を示し、どんな遺跡や遺物があるか、リストをもとに知っていることを出し合っている。例として、一枚の絵画資料から地域の歴史を読み解くテーマを紹介している。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <p>① 疑問を出し合おう 資料の絵をみて、グループで気づいたことや疑問を出し合う方法を示している。</p> <p>② 図書館で調べよう 図書館に行き、古い地図等を比較して分かることを紹介し、図書館で分かったこととしてまとめている。</p> <p>③ 現地に行ってみよう 実際現地に行き、商店街の人に聞き取り調査をする方法を示しており、その聞き取った内容をまとめる場面を設定している。</p> <p>④ 調べた結果を発表しよう 例で示してある班は、「原宿から富士山が見えた？」という題で、これまで調べてきた</p>

<p>自由社</p>	<p>1枚の絵や、聞き取り調査の結果を発表し、まとめを示す方法を紹介している。</p> <p>視点 「序章 歴史のとらえ方」に「地域の歴史を調べる」という節が設けられ、東京都渋谷区を例に調べ学習における視点が提示されている。</p> <p>視点の例 テーマを設定する場面では、私たちの住む地域にどんな歴史があるか調べるために、「昔の住居跡や城跡、神社・お寺」等が視点として示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことがらから学ぶことができる手順と方法、視点が示されている。</p>
<p>育鵬社</p>	<p>「地域調査に出かけてみよう」として、視点を身近な地域の歴史を調べる場面に1ページで設定している。手順と方法が流れで示してある。</p> <p>手順と方法</p> <p>① 出かける前の準備 地域調査は何をすることかを説明している。身近な地域の歴史を調べることを明記しており、方法として、地元にある遺跡や史跡を見たり、博物館や郷土資料館を見学する方法を示している。それにより調べるテーマを決定する。</p> <p>② 調査に出かけてみよう 教科書では、縄文時代の人々の暮らしを調査している。新潟県立歴史博物館を見学し、保存、展示されている資料や解説パネルから、当時の生活を想像する方法を示している。</p> <p>③ 調べてきたことをまとめてみよう 博物館を見学して、分かったことをまとめる場面を設定しており、縄文時代の土器の作り方や使い方、縄文時代の人々の食生活等のまとめが紹介されている。</p> <p>また、課題学習として、視点を縄文時代探検博物館で調べてみようとして設定している。新潟県立新潟博物館を訪ね、博物館の見学の仕方を示している。まず調べるテーマを決める。5つの例を示している。その後、見る、聞く、体験する、記録する、調べる、まとめる順を示している。テーマとわかったこととして、展示や学芸員の説明からわかったこととして、どんなところで暮らしていたのか、どんな家に住んでいたのか、土器はどのように作られているのか、どんなものを食べていたのか、どんな交流をしていたのかをまとめの例として示している。</p> <p>また、課題学習として、それぞれの時代において、地域の歴史を調べる課題を示している。ノートや模造紙、歴史新聞等でまとめる。</p> <p>例①奈良・京都の文化遺産を調べてみよう 修学旅行で奈良・京都に行く場面を設定し、事前に観光ガイドをつくるという設定。旅行で見ることになっている仏像の、作られた時代や由来を調べてみようとして設定している。奈良の仏像ガイドとして、東大寺、興福寺、法隆寺が示されている。京都の名所ガイドとして、東寺、清水寺、三十三間堂が示されている。</p> <p>事例②城を探検してみよう 夏休みに松本城に旅行行く設定で、天守閣の資料から天守閣をどのように使ったのかを考えさせている。また山城から平城に変わっていたのはなぜか考えさせたり、身近な地域にある城や城跡を訪ねてみようとして示している。</p>

育鵬社	<p><u>視点</u> 「序章 地域調査に出かけてみよう！」で調べ学習における視点や調査可能な身近な遺跡・史跡の例が記述されている。</p> <p><u>視点の例</u> テーマを設定する場面では、私たちの住む地域にどんな歴史があるか調べるために、「地元にある遺跡や史跡を見たり、博物館と郷土資料館を見学する」という視点が示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことがらから学ぶことができる手順と方法、視点が示されている。</p>
学び舎	<p>「地域の博物館を調べる場面」を2ページで設定している。視点は、東京都小平市の地域の歴史を歩くになっている。地域の博物館を利用すると歴史を実感できたり、深く調べることができると手順と上手な見学のための方法を示している。</p> <p><u>手順と方法</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 何を見るか、調べるかあらかじめ考える ② 学芸員、説明員に積極的に質問する ③ 分かったこと調べたいことなどノートにメモする ④ 写真は許可をえてから撮影する <p><u>活動</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水路をたどってみよう 学校の近くの水路がどこに流れているのかを考えさせる。 ② 水路は街道に沿ってうねうねと 水路がどこに流れているかを紹介し、神社を紹介している。 ③ 新田村の屋敷森と畑 畑の状況を紹介し、それまでの内容と併せて地図で紹介する方法を示している。 ④ 小平名物、糰うどん 地域の郷土料理についてまとめる場面を紹介している。 <p><u>視点</u> 「第5章 百姓と町人の世」において「地域の歴史を歩く」というページが設けられ、東京都小平市を例に調べ学習における視点が提示されている。</p> <p><u>視点の例</u> テーマを設定する場面では、学校の近くの水路を取り上げ、その果たしてきた役割を調べるために「街道、屋敷森や飲み水」等が視点として示されている。</p> <p>○地域の歴史を具体的なことがらから学ぶことができる手順と方法、視点が示されている。</p>

【社会科（歴史的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の事例数と主体的な学習につながる具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>作業的・体験的な学習の事例としては11の事例をあげている。 <u>博物館で調べる。年表にまとめる。資料館で調べる。レポートにまとめる。プレゼンテーション・ソフトを使う。イラストマップを作る。ウェブ・ページをつくる。図表にまとめる。比較表でまとめる。ディスカッションをしてまとめる。歴史新聞にまとめる。地域の将来について提案する。系図を読みとる。絵巻物を見る。</u></p> <p>事例①古代に出てきた主な人物を事柄とつなげてまとめる方法を示している。まとめ方として、①これまでの学習の中で、関心を持った人物を一人挙げる。②関心を持った人物を中央に置き、そこから連想できる事柄を自由に書き出す。③関連が深い事柄を線で囲む。④作った図をグループ内でたがいに見せ合い、他の人から意見やアドバイスをもらう。これら4つの観点に、それぞれアドバイスを加えてあり、実際考えた図の見本を2つ示している。資料を使って、古代がどのような時代だったかをまとめる場面を設定している。時代の特色を説明する場面では、文化に関する事柄を抜き出し、古代の文化にはどのような特徴があるか、時代の流れの順に説明するように設定している。</p> <p>事例②中世では、古代との比較を図でまとめさせる場面を設定している。それぞれに道筋をつけて説明している。時代の特色を説明する場面では、政治をおこなった人物を抜き出し、中世とはどのような時代だったのか説明するように設定している。</p> <p>事例③近世では、「ディスカッション」をしてまとめる場面を設定しており、ディスカッション用の資料やその方法の見本と道筋を示している。このディスカッションで考えたことを、近世の特色と合わせて、自分の考えをまとめ直す場面を設定している。</p> <p>事例④近代（前半）では、歴史新聞でまとめる場面を設定しており、その方法を筋道立てて説明し、アドバイスも入れている。実際の新聞も提示している。時代の特色を説明する場面では、この時代の身分制度、政治に着目しながらまとめる場面を設定している。</p> <p>事例⑤近代（後半）では、年表でまとめる場面を設定しており、その方法を筋道立てて説明し、アドバイスも入れている。実際作成した年表も見本に示している。この年表を使ってまとめる場面を設定している。年表と資料を基にどのような時代だったか説明する場面が設定されている。</p> <p>事例⑥現代では、プレゼンテーション・ソフトをつかってまとめる場面を設定しており、実際の方法や手順、道筋を紹介し、実際に作ったものを紹介している。時代の特色を説明する場面では、外国と関係する事柄を抜き出し、時代の流れについて気づいたことを説明する場面を設定している。</p> <p>【主体的な学習につながる活動の具体例】 <u>私たち歴史探検隊 町の歴史から将来を考える 福島県いわき市</u> 主体的な学習につながる活動が設けられている。 その他の生徒が主体的に活動する場面としては、プレゼンテーション・ソフトを使</p>

東書	<p>って、浮世絵作りを体験して、その様子を紹介する方法や原爆について自分たちが調べたことをウェブ・ページ等のパソコン機器で発信をして、日本だけでなく世界にも発信するよう工夫をする方法も提示している。またプレゼンテーション・ソフトで、既習事項を生かしてまとめる方法も紹介している。</p>
教出	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、13の事例をあげている。 <u>人物をそれぞれの年代にわけ</u>る。建造物のカードを時代にわける。人物カードを作成し、<u>時代ごとにわけ</u>る。絵巻物を読み解く。系図を読む。博物館、資料館で調べる。年表にまとめる。歴史新聞にまとめる。時代のキャッチフレーズを考える。ミニレポートにまとめる。年表にまとめる。図表にまとめる。図書館を利用する。</p> <p>事例①古代の舞台を地図で確認する。土偶とはにわの写真からその違いが社会の変化にどうかかわっているかを説明する。また律令国家の政治と支配の仕組みを図を利用して説明する。</p> <p>事例②中世の舞台を地図で確認する。源頼朝が作り上げた封建制度の仕組みを図を元に説明する。鎌倉時代と室町時代の出来事や様子を表す資料を、教科書からそれぞれ一つずつ選んで、二つの時代の共通点と違いを説明する。</p> <p>事例③近世の舞台を地図で確認する。江戸幕府のしくみと、中世の武家政治のしくみの共通点や違いを、図を使って説明する。安土・桃山時代から江戸時代へ、社会がどのように移り変わったかを説明する。</p> <p>事例④近代の幕開けの舞台を地図で確認する。産業革命で確立した資本主義のしくみについて図を使って説明する。江戸幕府が滅んだのはなぜか、あなたが最も大きいと思う原因について、教科書から資料を選んで説明する。</p> <p>事例⑤近代の舞台を地図で確認する。大日本帝国憲法、自由民権運動、国民の権利という語句を使って、明治時代に政治のしくみが整えられた過程を説明する。日本は、日清戦争ののち、日露戦争を戦うまでの間に、どのような対応や準備をしたか、賠償金、戦費、日英同盟という語句を使って説明する。</p> <p>事例⑥大戦期の舞台を地図で確認する。日本でのデモクラシーの風潮の広まりと衰退について、護憲運動、選挙権の拡張、軍部への期待という語句を使って説明する。写真をもとに、大正から昭和にかけての時期に、社会や人々の生活がどのようにへんかしたか説明する。</p> <p>事例⑦現代の舞台を地図で確認する。地図や写真から、現代の出来事や動きについて、自分の言葉で説明する。</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 <u>古代の特色について、歴史新聞にまとめよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聖徳太子や中大兄皇子が古代の国づくりでどのような役割を果たしたか、教科書やノートを振り返ろう。 ・ 吹き出しに人物コメントを書き込もう。 <p>主体的な学習につながる活動が設けられている。</p> <p>他にも、生徒が主体的に活動する場面としては、既習事項を生かしながら、次の時代の資料を見比べて、時代の変化をまとめる場面を設定している。</p>

<p>清水</p>	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、8の事例をあげている。 <u>キャッチコピーをつくる。図表にまとめる。資料を読み取る。人物を調べる。課題をまとめる。発表する。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例①古代 年表と出来事に関連させる。地図で確認。藤原道長の写真を見て、古代の政治や文化の特色を考える。 事例②中世 年表と出来事に関連させる。地図で確認。源頼朝の写真を見て、中世の政治や文化の特色を考える。 事例③近世 年表と出来事に関連させる。地図で確認。徳川家康の写真を見て、近世の政治や文化の特色について考える。 事例④近代（前半）年表と出来事に関連させる。地図で確認。学習内容を年表と関連させて振り返る。近代社会の特徴について、政治のしくみ等を江戸時代と比べて説明する。 事例⑤近代（後半）年表と出来事に関連させる。地図で確認。ベルサイユ条約の内容等と表を関連させて説明する。ドイツ、ソ連、イギリス、フランス、アメリカ、日本が世界恐慌の影響をどのように受け、どのように対処しようとしたのかを、表にまとめる。 事例⑥現代 年表と出来事に関連させる。戦後の文化に關することがらの時期を確認。地図で確認。農業の民主化などを戦前と対比して、表や年表にまとめる。冷戦時の様子について、東西ヨーロッパ、アメリカ、アジアの様子をそれぞれ説明する。</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 <u>キャッチコピーづくりをはじめよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ここにAからFまでの6組の絵や写真があります。小学校で学んだことばかりです。ながめてちょっと思い出してみましよう。 グループで相談してキャッチコピーづくりをする1組を選びましよう。 <p>主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。</p> <p>他にも、各ページに授業で学んだことを生かしてまとめる場面を設定しており、さらに深めようという例を示し、学習の深まりにつながる設定をしている。例として、江戸幕府の大名統制について、武家諸法度、参勤交代の語句を使って説明してみよう。深めようとして親藩・譜代大名・外様大名について説明してみよう。また、それぞれの大名を調べてみよう。</p>
<p>帝国</p>	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、13の事例をあげている。 <u>調べたことをまとめ、整理する。発表をする。本文の内容をまとめ、説明する。年表にまとめる。図表にまとめる。新聞記事をつくる。本文から書き出す。出来事をまとめ、カードを作り、グループに分ける。仮説を立てて、歴史を捉える。興味を持った人物に手紙を書く。タイムカプセルをつくる。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例①古代 復元された人物模型の服装の変化を説明する。古代で最も重要な人物を話し合う。古代の特色の説明。 事例②中世 絵巻物に描かれた貴族と武士の関係の変化を説明する。中世で最も重要な出来事を話し合い、「新聞記事」を作る。中世の特色の説明。 事例③近世 屏風と絵巻物にえがかれた武士の役割の変化を説明する。江戸幕府による支配は、なぜ260年間も続いたのかを話し合う。近世の特色の説明。</p>

<p>帝国</p>	<p>事例④近代（前半） 絵画に描かれた政治体制の変化を説明する。最も活躍した人物を話し合い、その人物に手紙を書く。近代（前半）の特色の説明。</p> <p>事例⑤近代（後半） グラフに示された軍事費の割合の変化を説明する。日本は、なぜ戦争へとつき進んでいったかを話し合う。近代（後半）の特色の説明。</p> <p>事例⑥現代 表にまとめられた憲法の内容の変化を説明する。現代の中で、50年後の未来に最も伝えたい出来事話し合い、タイムカプセルを作る。現代の特色の説明。</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】</p> <p><u>江戸幕府による支配は、なぜ約260年間も続いたのかを話し合ってみましょう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたが考えた3つの理由を、できるだけ簡略し、カードに書いていきましょう。 ・ みんなで出し合ったカードをグループ化しましょう。 <p>主体的な学習につながる活動が設けられている。</p> <p>他にも、トライアル歴史として、生徒が興味を持ちそうな内容を探らせる場面を示している。1つは、「島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ」として資料をもとに考えさせている。2つめは、「坂本龍馬暗殺のなぞ」で、当時の時代背景や坂本龍馬の人物像から、仮説を立てて考える場面を設定している。</p>
<p>日文</p>	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、8の事例をあげている。</p> <p><u>人物を調べる。班で考え整理し、発表する。資料を比較する。図表にまとめる。年表にまとめる。本文の内容を整理する。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例①印や国名に着目して、古代日本の時代の転換を考えてみよう 印や戸籍の資料や律令国家における行政区分等の資料から、古代の時代からの転換をまとめる場面を設定している。</p> <p>事例②承久の乱を通して、古代から中世への転換を考えてみよう 承久の乱開始時の両軍の勢力地図や承久の乱の推移の年表から読み取ったことをまとめさせ、乱後の守護の色塗り等を行わせ、古代から中世への時代の転換をまとめさせる。</p> <p>事例③江戸幕府のライバル対策を通して、中世から近世への転換を考えてみよう 江戸幕府の政策の年表や、江戸幕府の百姓、寺院、大名、公家、天皇への政策の資料から、図をまとめる場面を設定している。そして、中世から近世への時代の転換をまとめさせる。</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】</p> <p><u>古代と中世の絵を見比べよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの特徴やちがいを読み取り、話し合おう。 ・ 着眼点（館の門や庭のようす、それぞれの建物、服、人々は何をしているか等） <p>主体的な学習につながる活動が設けられている。</p> <p>他に、生徒が主体的に活動する場面としては、各ページに授業で学んだことを生かしてまとめる場面を設定しており、さらに既習事項を使って活用する場面がある。例えば、「江戸幕府が大名に対して行ったことを本文から書き出してみよう。」等である。</p>

<p>自由社</p>	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、9の事例をあげている。 <u>テーマを決め歴史を調べる（野球の歴史）、人物カードをつくる。800字の人物伝記をつくる。絵画資料から歴史を読み解く。調べた結果を発表する。ひとこと作文をつくる。図表にまとめる。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例 古代 2人の会話文を設定し、時代比較の問題で、縄文時代と弥生時代の社会や人々の暮らし等の違いを考え、人物比較で、2人を対比してどこが違うかを考え、表にまとめる。「ひとこと」作文として、古代の学習で、一番印象深かったことを書く。</p> <p>(主体的な学習につながる具体例) <u>「ひとこと」作文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近代Ⅱの時代を学んで、どんなことがもつとも強く印象に残りましたか。 ・ 「大正・昭和時代前半とは、ひとことという『〇〇』の時代だった。」この「〇〇」の中に当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。 <p>主体的な学習につながる活動が設けられている。 その他、生徒が主体的に活動する場面としては、歴史を調べる例を、生徒が比較的知っている野球の歴史の資料を基に、調べる場面を設定している。概要調査、本格調査、発表の仕方などが歴史とともに紹介されている。</p>
<p>育鵬社</p>	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、15の事例をあげている。 <u>歴史の人物Q&Aカードをつくる。模造紙にはって紹介する。教科書の内容をまとめる。文化遺産を調べる。時代のまとめをノートに理由とともに書く。図表にまとめる。年表にまとめる。絵を読み取る。歴史新聞をつくる。ロールプレイをする。日本の10大事件を選び、理由を書く。人物ベスト10を選び、理由をかく。「日本の歴史を学んで」というテーマで400字程度の文章にまとめる。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例①お雇い外国人 クラークやナウマン、パーマーがどのように日本に貢献したかを紹介した文章を読み、幕末から明治時代にかけて、日本にきた「お雇い外国人」の中から、興味をもった人物を取り上げ、調べる場面を設定している。</p> <p>事例②1964年と2020年東京オリンピック・パラリンピック 1964年の当時の様子や生活に関連させながら、2020年の日本の「未来の歴史」を話し合う。</p> <p>事例③歴史新聞を作ろう 手順1 テーマを決めて、それにふさわしい新聞名をつけよう。 手順2 テーマの内容に関する取材(調べ)をしよう。教科書・資料集・博物館・インターネット等を利用することを示している。また関連のある場所に出かけたり、いろいろな人に直接話を聞くことも示している。 手順3 新聞紙面の構成を考えよう。(見本を教科書に示してある) 地域の歴史を考える新聞づくりともタイアップしている。</p> <p>事例④ 日本国憲法が制定されるまでの経緯を説明する。 この時代で最も重要な出来事のキャッチフレーズを考える。出生数と出生率の推移や年齢別人口の推移と推計のグラフから、現代までの日本はどんな社会だったのか、こ</p>

育鵬社	<p>れからの日本はどんな社会になり何が問題になるのかを考えまとめる。</p> <p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p>○ <u>歴史のロールプレイをしてみよう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テヘラン日本人救出劇をロールプレイしよう。 ・ 「エルトゥール号事件の恩返し」として、1985年のイランにおけるトルコ航空による日本人救出の場面を、自分たちで調べ、それを劇にしよう。 <p>主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。</p> <p>その他としては、既習事項を生かして自分の中で大事なことを10個あげさせたり、400字程度でまとめさせたりする場面を多く設定している。また、作業や体験的な学習においては、視覚的に訴える資料を多く使っている。</p>
学び舎	<p>作業的・体験的な学習の事例としては、7の事例をあげている。</p> <p><u>インターネットで調べる。人物を調べる。年表にまとめる。ポスターにまとめる。人物あてゲームを行う。博物館、資料館で調べる。図書館を利用する。</u></p> <p>事例①インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る。 インターネットで検索する方法が示しており、16世紀の京都がどのような町だったか、どんな人がいたのかを考えさせている。</p> <p>事例②山本宣治の人物調べ 山本宣治を題材にして、人物調べの方法を示している。インターネットや本、新聞などの資料を集め、年表やポスターにまとめる方法が示されている。</p> <p>事例③古代 火おこしの方法についてまとめている。火を使用するようになると、人間の生活はどう変化したか、まとめる。</p> <p>事例④中世 武士の世になっていく道筋を人物や出来事に注目してまとめる。絵から描いたもの、背景を考える。どのような人たちが力を持ち、どのような特色がある時代だったのかを前の時代と比べまとめる。</p> <p>事例⑤近世 地図の記入、外交に関する表の完成、時代の変化を表にまとめ発表する。近世はどのような特色のある時代かを、前の時代と比べてまとめる。</p> <p>事例⑥近代 出来事が起こった時期を年表に入れる。時代の変化を表にまとめ発表する。近世はどのような特色のある時代かを、前の時代と比べてまとめる。</p> <p>(主体的な学習につながる具体例)</p> <p><u>一人ひとりの歴史・家族の歴史</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曾祖父母、祖父母、父母などのうち、だれに話を聞くかは、家族と相談してみよう。 ・ 自分の家族にこれまでの歴史を聞き取り、年表にまとめる。 <p>主体的な学習につながる活動が設けられている。</p> <p>その他の例としては、日本や世界の100年の記録を、年表にまとめ書き込む事例を紹介している。</p>

【社会科（歴史的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦時代区分の分量
方法	各時代区分のページ数

発行者	調査・研究内容					
	古代 までの日本 (原始・古代)	中世の日本 (中世)	近世の日本 (近世)	開国と近代 日本の歩み (近代①)	二度の世界 大戦と日本 (近代②)	現代の 日本と世界 (現代)
東書	4 4 (15%)	3 4 (11%)	4 4 (15%)	5 4 (18%)	4 4 (15%)	3 7 (12%)
	その他 4 2 (14%) 合計 2 9 9 (100%) どの時代もバランスよいページ数の配置である。					
教出	3 8 (13%)	3 4 (12%)	4 4 (15%)	6 2 (21%)	4 2 (15%)	3 2 (11%)
	その他 3 9 (13%) 合計 2 9 1 (100%) 近代①（前半）のページ数が若干多い。					
清水	5 2 (17%)	3 2 (10%)	5 6 (18%)	6 2 (20%)	4 0 (13%)	2 8 (9%)
	その他 3 7 (13%) 合計 3 0 7 (100%) 近世，近代のページ数が多い。現代のページ数が少ない。					
帝国	3 8 (14%)	3 6 (13%)	5 2 (18%)	5 6 (19%)	4 2 (14%)	2 8 (10%)
	その他 3 3 (12%) 合計 2 8 5 (100%) 現代のページ数が少ない。					
日文	4 4 (14%)	3 8 (12%)	5 0 (16%)	5 8 (19%)	4 0 (13%)	3 6 (12%)
	その他 4 3 (14%) 合計 3 0 9 (100%) どの時代もバランスよいページ数の配置である。					
自由社	5 6 (19%)	2 8 (9%)	4 4 (15%)	5 8 (20%)	4 0 (14%)	2 8 (9%)
	その他 4 3 (14%) 合計 2 9 7 (100%) 他社と比較して，原始・古代のページ数が多い。					
育鵬社	5 2 (17%)	3 2 (11%)	5 4 (18%)	5 4 (18%)	4 4 (14%)	3 0 (10%)
	その他 3 8 (12%) 合計 3 0 4 (100%) どの時代もバランスよいページ数の配置である。					
学び舎	4 6 (14%)	3 2 (10%)	5 6 (17%)	4 8 (15%)	6 4 (19%)	3 8 (11%)
	その他 4 6 (14%) 合計 3 3 0 (100%) 他社と比較して，近代②（後半）のページ数が多い。					

【社会科（歴史的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧補充的・発展的な教材の内容の記述の状況
方法	補充的・発展的な教材の数と具体例と時代区分ごとのバランス

発行者	調査・研究内容					
	古代 までの日本 (原始・古代)	中世の日本 (中世)	近世の日本 (近世)	開国と近代 日本の歩み (近代①)	二度の世界 大戦と日本 (近代②)	現代の 日本と世界 (現代)
東書	時代ごとの巻末に、「深めよう」という項目で、補充的・発展的な内容の教材が配置されている。時代ごとに2～3ずつで、バランスよく配置されているがやや少ない。					
	教材数					
	2	2	2	2	2	3
	内容					
	・深めよう…現代に受けつがれる神話 ・深めよう…考古学のとびら	・深めよう…東アジアの朝貢体制と琉球王国 ・深めよう…室町時代の生活文化と現代	・深めよう…歴史の中のイサム文化 ・深めよう…江戸のエコ社会	・深めよう…「解法令」から水平社へ ・深めよう…足尾銅山と田中正造	・深めよう…北海道とアイヌ民族の歴史 ・深めよう…全ての子どもに教育を	・深めよう…現代の公害問題とその克服 ・深めよう…歴史の中の大地震 ・深めよう…人類の歴史とエネルギー
教出	「～歴史を探ろう」という形で、補充的・発展的な内容の教材が配置されている。各時代のバランスはよい。近代（江戸から明治）の部分の項目が多めに配置されている。その他の時代はバランスよく配置されている。					
	教材数					
	4	4	4	6	2	3
	内容					
	・郷土の歴史を探ろう①…地域の遺跡や古墳を訪ねて ・資料から歴史を探ろう①…木簡が語る人々の暮らし ・人物と地域から歴史を探ろう①…坂上田村麻呂と阿豆流為の戦い ・資料から歴史	・資料から歴史を探ろう③…地頭を訴える農民、中世の市を訪ねて ・郷土の歴史を探ろう②…地域の寺社や墓碑を訪ねて ・人物から歴史を探ろう②…働く女性や子どもたち ・地域から	・世界から歴史を探ろう①…銀で結びつく世界、宣教師が見た日本 ・資料から歴史を探ろう④…大名行列と藩の財政 ・郷土の歴史を探ろう③…地域の街道や港を訪ねて ・人物から歴史	・人物から歴史を探ろう④…坂本龍馬と横井小楠 ・地域から歴史を探ろう③…改革や平等を求めて ・人物から歴史を探ろう⑤…山川（大山）捨松と津田梅子 ・地域から歴史	・郷土の歴史を探ろう④…大正・昭和初期の面影を訪ねて ・人物から歴史を探ろう⑥…後藤新平と杉原千畝	・郷土の歴史を探ろう⑤…移り変わる戦後の街を訪ねて ・世界から歴史を探ろう③…隣国と向き合うために ・人物から歴史を探ろう⑦…平和を願う人々と平和の祭典「オリン

	史を探ろう② …神話にみる 古代の人々の 信仰	歴史を探ろう ②…戦乱の世 の自治と領国 経営	史を探ろう③ …リサイクル 都市・江戸の 町人	史を探ろう④ …アイヌ文化 を伝えた人た ち ・世界から歴 史を探ろう② …海外へ移住 した日本人 ・資料から歴 史を探ろう⑤ …人口からみ た日本の歴史		ピック」
清水	「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」というタイトルで、補充的・発展的な内容の記述資料が配置されている。各時代のバランスは概ねよいが、原始・古代以外は少ない。					
	教材数					
	もっと知り たい歴史… 3 歴史のとび ら…2	もっと知り たい歴史… 1 歴史のとび ら…1	もっと知り たい歴史… 1 歴史のとび ら…2	もっと知り たい歴史… 2 歴史のとび ら…0	もっと知り たい歴史… 1 歴史のとび ら…1	もっと知り たい歴史… 1 歴史のとび ら…0
	内容					
・もっと知り たい歴史①… 植物と日本人 ・歴史のとび ら①…遺跡か ら原始の時代 を探ろう ・歴史のとび ら②…資料を 読み取ろう ・もっと知り たい歴史②… 神話と伝承 ・もっと知り たい歴史③… 宮廷の女性と 仮名文学	・歴史のとび ら③…絵画資 料にみる人び との生活 ・もっと知り たい歴史④… アジアの船と 海上交通	・歴史のとび ら④…人物を 調べてみよう ・もっと知り たい歴史⑤… 江戸のにぎわ い ・歴史のとび ら⑤…身近な 地域を調べよ う	・もっと知り たい歴史⑥… 世界見学に出 かけた日本人 ・もっと知り たい歴史⑦… 行き来する留 学生	・もっと知り たい歴史⑧… 明治・大正期 の食生活 ・歴史のとび ら⑥…証言・ 体験記録から みえてくる戦 争	・もっと知り たい歴史⑨… 高度経済成長 期の社会変化	

帝国	「タイムトラベル」「歴史を探ろう」「トライアル歴史」というタイトルで、補足的・発展的な内容の記述資料が配置されている。各時代のバランスはよい。近世がやや多めになっている。					
	教材数					
	3	3	6	4	4	2
	内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトラベル①②…縄文時代をながめてみよう、弥生時代をながめてみよう ・歴史を探ろう…古墳からわかる当時のようす ・タイムトラベル③…奈良時代をながめてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトラベル④…鎌倉時代をながめてみよう ・歴史を探ろう…東アジアに開かれた窓口 博多 ・タイムトラベル⑤…室町時代をながめてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトラベル⑥…安土桃山時代をながめてみよう ・トライアル歴史…島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ ・歴史を探ろう…琉球とアイヌの人々の暮らし ・タイムトラベル⑦…江戸時代をながめてみよう ・歴史を探ろう…昆布ロードと北前船 ・歴史を探ろう…世界有数の百万都市 江戸 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアル歴史…坂本龍馬暗殺のなぞ ・タイムトラベル⑧…明治時代をながめてみよう ・歴史を探ろう…世界に開かれた港 横浜 ・歴史を探ろう…移住と開拓が進む北海道 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトラベル⑨…大正～昭和初期をながめてみよう ・歴史を探ろう…発展する産業都市 大阪・神戸 ・歴史を探ろう…長野県からみる「満州」移民 ・歴史を探ろう…戦場となった沖縄 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトラベル⑩…高度経済成長期をながめてみよう ・歴史を探ろう…日本の領土と近隣諸国

日 文	「先人に学ぶ」「とらえよう！時代の転換」「歴史を掘り下げる」「でかけよう！地域調べ」「図版特集」という5つのタイトルで、補充的・発展的な内容の記述資料が配置されている。どの時代もバランス良く資料を配置している。生徒の実態にあわせ選択できる。					
	教材数					
	4	8	6	8	4	5
	内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・先人に学ぶ…日本の食生活のルーツを探る ・図版特集…奈良時代のくらし ・とらえよう！時代の転換…印や国名に着目して、古代日本の時代の転換を考えてみよう ・でかけよう！地域調べ…史跡見学に行こう（平城宮跡を歩く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・とらえよう！時代の転換…承久の乱を通して、古代から中世への転換を考えてみよう ・歴史を掘り下げる…古代から中世への土地制度の移り変わり ・先人に学ぶ…東大寺の再興と重源 ・歴史を掘り下げる…海底から姿を現した元の軍船 ・図版特集…室町時代のくらし ・歴史を掘り下げる…中世の女性たち ・先人に学ぶ…信玄堤 ・でかけよう！地域調べ…歴史博物館に行こう（草戸千軒町遺跡を調べる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・図版特集…長篠の戦い ・でかけよう！地域調べ…城下町を訪ねよう（城下町姫路を調べる） ・図版特集…江戸の町のよさ ・とらえよう！時代の転換…江戸幕府のライバル対策を通して、中世から近世への転換を考えてみよう ・先人に学ぶ…幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル ・歴史を掘り下げる…文化財を守り伝える仕事 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を掘り下げる…新しい世の中をめざした人々 ・図版特集…明治時代のくらし ・とらえよう！時代の転換…学校の始まりから、近世から近代への転換を考えてみよう ・歴史を掘り下げる…近代的な国際秩序への参加 ・先人に学ぶ…近代社会に日本を見つめ直す ・でかけよう！地域調べ…近代化遺産を訪ねよう（富岡製糸場を調べる） ・先人に学ぶ…エルトゥール号遭難事件 ・歴史を掘り下げる…山本作兵衛の炭坑期録画（ユネスコ記憶遺 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を掘り下げる…よみがえった東京駅 ・先人に学ぶ…新渡戸稲造と杉原千敏 ・歴史を掘り下げる…日本人の海外移民 ・でかけよう！地域調べ…戦争遺跡を訪ねよう（大阪の空襲を調べる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・とらえよう！時代の転換…戦後の教育制度の改革から、近代から現代への転換を考えてみよう ・図版特集…高度経済成長期のくらし ・歴史を掘り下げる…アイヌと沖縄の近代と現代 ・先人に学ぶ…災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす ・でかけよう！地域調べ…地域の環境の歴史を調べよう（公害克服の歴史を調べる）

				産)		
自由社	「もっと知りたい」「外の目から見た日本」「人物クローズアップ」というコラムで、補充的・発展的な内容の記述資料が配置されている。各時代のバランスはよい。また、古代、近世、近代前半のコラム数が多い。生徒の実態にあわせ選択できる。					
	教材数					
	7	4	8	9	2	5
	内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたい…岩宿遺跡を発見した相澤忠洋 ・もっと知りたい…「和の文化」 縄文 ・もっと知りたい…国譲り神話と古代人 ・もっと知りたい…「日本」という国名のおこり ・もっと知りたい…仏像の見方 ・もっと知りたい…仮名文字と女流文学 ・もっと知りたい…日本の天皇と中国の皇帝 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたい…武士のおこりと鎌倉幕府 ・もっと知りたい…元寇と朝鮮半島 ・もっと知りたい…日本人の名字の由来 ・もっと知りたい…一揆と合議の伝統 	<ul style="list-style-type: none"> ・外の目から見た日本…宣教師の見た日本人 ・もっと知りたい…秀吉はなぜバテレンを追放したか ・もっと知りたい…武士と忠義の観念 ・人物クローズアップ…二宮尊徳と勤勉の精神 ・人物クローズアップ…正確な日本地図をつくった伊能忠敬 ・もっと知りたい…町人が育てた歌舞伎 ・もっと知りたい…エコロジー都市 江戸 ・もっと知りたい…浮世絵とジャポニスム 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたい…明治維新とは何か ・もっと知りたい…琉球処分とは何か ・もっと知りたい…日本の近代化とアイヌ ・外の目から見た日本…幕末・明治期の日本人の生き方 ・人物クローズアップ…福沢諭吉の『学問のすすめ』と「脱亜論」 ・もっと知りたい…日露戦争を戦った日本人 ・人物クローズアップ…明治国家を背負った政治家・伊藤博文 ・人物クローズアップ…日本の実業家の伝統をつくった渋沢栄一 ・外の目から見た日本…世界が見た日露 	<ul style="list-style-type: none"> ・外の目から見た日本…大東亜戦争とアジアの独立 ・もっと知りたい…戦時国際法と戦争犯罪 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたい…占領下の検閲と東京裁判 ・もっと知りたい…日本の底力を世界に示した昭和39年の東京オリンピック ・人物クローズアップ…昭和天皇 国民とともに歩まれた生涯 ・もっと知りたい…勇気と友情の物語 世界と交流した近代日本 ・外の目から見た日本…東日本大震災と日本人

				戦争	
<p>「課題学習」「このころ世界は」「歴史ズームイン」「歴史の名場面」という4つのコーナーで、補足的・発展的な内容の記述資料等が配置されている。また、人物については「人物クローズアップ」、女性については「なでしこ日本史」で詳しく解説している。各時代のバランスはよい。生徒の実態にあわせ選択できる。原始・古代、近世、近代前半の資料が多い。</p>					
教材数					
10	4	8	8	3	5
内容					
<p>育鵬社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題学習…縄文時代探検！博物館で調べてみよう ・このころ世界は①…ローマ帝国と日本の古墳時代 ・歴史ズームイン…日本人の宗教観 ・歴史ズームイン…歴史を解明する考古学 ・歴史ズームイン…神話に見るわが国誕生の物語 ・歴史の名場面…大仏開眼供養 ・人物クローズアップ…最澄と空海 ・歴史ズームイン…かな文字の発達 ・課題学習…奈良・京都の文化遺産を調べてみよう ・なでしこ日本史その1… 	<ul style="list-style-type: none"> ・このころ世界は②…ユーラシアを一つにつないだモンゴル ・歴史ズームイン…戦国大名の富国策—信玄堤 ・歴史ズームイン…幻の町・草戸千軒 ・なでしこ日本史その2…静御前、北条政子、日野富子 	<ul style="list-style-type: none"> ・このころ世界は③…ルネサンスと宗教改革 ・歴史ズームイン…茶の湯と生け花 ・課題学習…城を探検してみよう ・歴史ズームイン…江戸時代探検！ ・歴史ズームイン…浮世絵の影響—ジャポニスム ・歴史ズームイン…江戸の技術 ・歴史ズームイン…世界文化遺産・富士山と日本人 ・なでしこ日本史その3…高台院（北政所）、春日局、加賀千代 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の名場面…江戸城無血開城 ・歴史ズームイン…外国人が見た日本 ・人物クローズアップ…西郷と大久保がめざしたもの ・このころ世界は④…近代国民国家の形成 ・歴史ズームイン…日露戦争の舞台裏 ・人物クローズアップ…明治を築いた二人—伊藤博文と渋沢栄一 ・課題学習…お雇い外国人 ・なでしこ日本史その4…天璋院（篤姫）、津田梅子、樋口一葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ズームイン…昭和20年、戦局の悪化と終戦 ・このころ世界は⑤…列強の植民地とアジアの民族運動 ・なでしこ日本史その5…クーデンホーフ光子、平塚らいてう、与謝野晶子 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ズームイン…東京裁判 ・人物クローズアップ…国民とともに歩んだ昭和天皇 ・このころ世界は⑥…冷戦の終結 ・課題学習…1964年と2020年東京オリンピック・パラリンピック ・課題学習…歴史新聞を作ろう

	推古天皇, 光明皇后, 紫式部					
学び舎	「歴史を体験する」「地域の博物館で調べる」「今, 世界の子どもたちは」というコーナーで, 補充的・発展的な内容の記述資料や教材が配置されている。各時代区分の教材数のバランスはよいが, 具体例がやや少ない。					
	教材数					
	1	0	3	1	1	2
	内容					
	・歴史を体験する…火と人類の歴史を探る		・歴史を体験する…インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る ・地域の博物館で調べる ・歴史を体験する…地域の歴史を歩く (東京都小平市)	・歴史を体験する…綿から糸を紡ぐ	・歴史を体験する…山本宣治の人物調べ	・今, 世界の子どもたちは ・歴史を体験する…一人ひとりの歴史, 家族の歴史

【社会科（歴史的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨イラスト，写真等の資料の活用
方法	イラスト，写真等の資料の掲載数及び種類

発行者	調査・研究内容							合計
	時代	古代までの日本（原始・古代）	中世の日本（中世）	近世の日本（近世）	開国と近代日本の歩み（近代①）	二度の世界大戦と日本（近代②）	現代の日本と世界（現代）	
東書	建物，文化財 人物等 写真	114	46	52	71	108	81	472
	イラストや絵	23	40	77	69	6	3	218
	図表，グラフ， 年表等	16	15	13	26	16	19	105
	地図 （絵地図含む）	19	10	19	20	10	8	86
	写真が多め。							881
教出	建物，文化財 人物等 写真	79	42	41	62	95	77	396
	イラスト や絵	21	38	67	82	10	0	218
	図表，グラフ， 年表等	15	12	16	35	17	8	103
	地図 （絵地図含む）	15	10	13	24	15	10	87
	地図が若干少なめ。							804
清水	建物，文化財 人物等 写真	94	31	46	65	79	66	381
	イラスト や絵	34	41	95	75	13	1	259
	図表，グラフ， 年表等	18	12	13	18	11	8	80
	地図 （絵地図含む）	27	13	21	21	9	9	100
	図表等は少なめで，イラストや絵を多めに使用している。							820
帝国	建物，文化財 人物等の 写真	89	54	70	88	107	69	477
	イラスト や絵	37	51	105	77	16	4	290
	図表，グラフ， 年表等	20	16	16	22	28	10	112
	地図 （絵地図含む）	20	16	23	27	15	11	112

	資料が多め。							991
日文	建物, 文化財 人物等 写真	111	51	50	51	98	78	439
	イラスト や絵	37	50	101	70	10	8	276
	図表, グラフ, 年表等	23	25	30	42	29	24	173
	地図 (絵地図含む)	25	25	24	26	13	10	123
	写真が多め。資料の合計数も最も多い。							1011
自由社	建物, 文化財 人物等 写真	78	20	15	50	72	48	283
	イラスト や絵	28	25	69	50	6	2	180
	図表, グラフ, 年表等	18	8	9	9	9	10	63
	地図 (絵地図含む)	15	7	11	15	12	4	64
	文章記述が多く, 最も使われている資料数が少ない。特に現代が少ない。							590
育鵬社	建物, 文化財 人物等 写真	104	28	40	58	90	69	389
	イラスト や絵	38	60	114	85	28	19	346
	図表, グラフ, 年表等	14	10	15	25	22	19	105
	地図 (絵地図含む)	24	10	17	18	17	10	96
	全体的に絵やイラストが多めに使われている。(特に近代)							936
学び舎	建物, 文化財 人物等 写真	88	33	54	39	141	84	439
	イラスト や絵	37	50	104	77	17	4	289
	図表, グラフ, 年表等	6	4	11	13	16	7	57
	地図 (絵地図含む)	32	17	23	19	20	15	126
	近代②に写真が多く使用されている。							911

【社会科（歴史的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	㊸本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注等の掲載数と扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>掲載数 769個 (例) p112~113 第4章 近世の日本</p> <p>【問 い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き左側, 学習テーマの横に, 「江戸幕府は, どのように全国を支配したのでしょうか」 ・最初の導入の資料「江戸図屏風」の左下に, キャラクターの吹き出しで, 「このお城は, 今はどうなっているのかな。」 ・見開き左下にえんぴつマークで, 学習をさらに深める資料を紹介して, 『織田がつき羽柴がこねし天下もち すわりしままに食うは徳川』という歌は, どのようなことを表わしているか, 考えましょう。」 <p>【まとめ】</p> <p>見開き右下に, 確認のマークがあり, 「大名や朝廷に比べ江戸幕府が大きな力を持っていた理由を, 支配した領地や経済の面から説明しましょう。」</p> <p>【説 明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の導入の資料「江戸図屏風」の<u>写真</u>には, 「第3代将軍徳川家光のころの江戸城で, 5層の天守がそびえ立っています。」と説明がある。 ・本文中の「家臣」の言葉に注①とあり 「家臣には, 直接将軍に会うことのできる旗本, できない御家人がおり, 旗本が約5000人, 御家人は約1万7000人いました。」とある。 ・見開き左側の一番下に, 「この見開きの時期」を示す簡単な歴史ものさしがあり, 何世紀か, 何時代かわかるようになっている。 ・その他, この見開き2ページにある<u>写真・地図・グラフ等の資料</u>は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> 「徳川家康」の肖像画 「江戸幕府の仕組み」 「幕領と諸大名領の割合」を示す円グラフ 「主な大名の配置」という主題図。解説付き。 「徳川氏の系図」 「武家諸法度」(部分を要約した資料) 解説付き。

掲載数 788個

(例) p40~41 第2章 原始・古代の日本と世界

【問 い】

・見開き左側、学習テーマ「木簡と計帳は語る 律令制下の人々の暮らし」の下に、『学習課題』として

「律令制のもとで、都の貴族や地方の農民は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。」

・最初の導入の写真資料は①「木簡」、②「長屋王の邸宅」、③「都の貴族の食事の例」と3点あり、①「木簡」の右に、キャラクターの吹き出しで

「この木簡は何に使われたのかな。」

・見開き右側の本文の上に写真資料「計帳」「計帳に記された内容」があり、そのよこに、「読み解こう」のコーナーがある。これは、この資料を手がかりに、資料を読み取ったり、考えを深めたりするもの

「②計帳には、どんなことが記されているか確かめよう」

「②「右のほほに、ほくろ」など、その人の特徴も記されているのは、なぜだろう。」

「③「逃」とは、何を表しているのだろうか。右の歌も参考にして考えてみよう。」

【まとめ】

見開き右下に「ふりかえる」のコーナーがあり、

ステップ1「墾田永年私財法が出された背景を確かめよう。」

ステップ2「奈良時代の『朝廷、貴族、農民』の関係を、図に表して説明しよう。」

【説 明】

・最初の導入の資料「木簡」の写真には、

「木の板に墨で文字を書いたものです (p. 46→)。」と解説がある。

p46には、資料から歴史を探ろう①「木簡が語る人々の暮らし」という1ページの読み物資料がある。

・本文中「6歳以上の男女に口分田が与えられました。」に注③とあり、

側注として「女子には男子の3分の2、奴婢には良民の男女のそれぞれ3分の1が与えられました。」と本文の補足説明がある。

・学習テーマ「木簡と計帳は語る 律令制下の人々の暮らし」の上に、該当のページが何世紀かわかるように、ものさしがある。

・その他、この見開き2ページにある写真・地図・グラフ等の資料は以下の通り。

「農民のおもな負担」をまとめた表

「貧窮問答歌」の紹介。(部分要約) 解説付き。

「農民の食事の例と住居」の写真。解説付き。

教出

掲載数 663個

(例) p208~209 第5章 二つの世界大戦と日本

【問 い】

見開き左側, 学習テーマ「第一次世界大戦と日本」の横に,
「ヨーロッパの国どうしの対立からはじまった戦争が, なぜ第一次世界大戦とよばれるのだろうか?」とある。

【まとめ】

見開き右下に, 「まとめてみよう」のコーナーがあり,
「第一次世界大戦に参戦した国を地図で確認し, 図にまとめてみよう。」とある。
また, その次に「深めよう」というタイトルで
「第一次世界大戦中, 日本はどのようなうごきをみせただろうか?」とある。

【説 明】

・導入の写真として, 図1「戦車」図2「軍需工場で働く女性たち」があり, それぞれ解説がある。

清水

図1「戦車」: 第一次世界大戦では戦車・飛行機・潜水艦・毒ガスなどが新兵器として使用され, おおぜいの犠牲者が出た。

図2「軍需工場で働く女性たち」: 男性が戦場に動員されたため, 軍需工場には女性も多く動員された。これはイギリスの砲弾工場。

・本文中サラエボ事件に注1とあり, 解説がある。

側注「ボスニアのサラエボで, オーストリアの皇位継承者夫婦がセルビアの青年に暗殺された事件。オーストリアがセルビアに宣戦し, セルビアを支援するロシアなどとのあいだで戦争が拡大した。」とある。

・その他, この見開き2ページにある写真・地図・グラフ等の資料は以下の通り。

「図3 第一次世界大戦における国際関係」関係図 解説付き。

「図4 第一次世界大戦中のヨーロッパ」解説付き。

「図5 二十一か条要求を非難するポスター」解説付き。

「図6 第一次世界大戦におけるおもな国の戦死者数」

掲載数 906 個

(例) p188~191 第6章 アジアの強国の光と影

【問 い】

- ・学習テーマ「欧米の影響を受けた近代文化」を本文3ページで扱うため、最初の見開きの左は、1 ページすべてが導入資料の紹介となり、そこにキャラクターの吹き出しで、「人々は、鹿鳴館で、何をしているのかな」がある。
- ・学習テーマの横に、学習課題「明治になって、人々の生活や文化はどのように変化したのでしょうか。」がある。

【まとめ】

- ・見開き右下に、「確認しよう」として『国民』を形成するために学校で行われた取り組みを、本文から三つ書き出してみましょう。」
- 「説明しよう」として、「日清戦争以後、日本の伝統文化について、どのような動きがあったか、説明してみましょう。」がある。
- ・p191に、「明治時代をふりかえって (p146~191)」がある。

この時代、武家政治が終わって、明治維新とよばれる近代国家づくりが始まり、欧米文化を取り入れた文明開化が進みました。新政府は、列強に追いつくために富国強兵をかかげ、人々に「国民」としてまとまることを求めました。一方、人々も自由で平等な社会を求め、やがて憲法や国会などが整えられました。こうしたなか、日本は日清・日露戦争に勝利し、産業革命を経て、列強の仲間入りを果たしました。

【説 明】

帝国

- ・p188, 導入資料①「鹿鳴館に集まる人々」の写真版に、解説として「新政府は、西洋の文明に追いついたことを示すため、お雇い外国人のコンドルに設計を依頼し、1883年に西洋風建築の鹿鳴館を開館させました (→p176)。」とある。
- p176には、本文に「政府は、欧米人を鹿鳴館に招いて舞踏会を開く」の記述があり、そこに、p188①と注がついている。
- ・本文中p190の「教科書」に注¹、「1903年に小学校の教科書は国定と定められ、全国の子どもたちは、一律に同じ教科書を使って学ぶようになりました。」とある。
- ・本文以外に、補足資料として、以下の資料がある。
 - 「文章の言葉づかいの変化」では、文語体(森鷗外、樋口一葉の作品紹介)、口語体(二葉亭四迷と夏目漱石の作品紹介)を示す資料。
 - 「正岡子規」を「日本語を変えた野球好きの俳人」の見出しで紹介する資料。
 - 「差別された人々をえがいた文学」として島崎藤村の「破壊」を紹介する資料。
 - 「当時の双六に見る理想とされた『日本人』少年像」として、双六の中の「衛生」について特に取り上げた資料。
 - 「国旗と国歌」の読み物資料では、「日の丸」「君が代」の誕生の経緯を説明する。
- ・その他の写真、グラフなどの資料。
 - 写真「明治時代半ばの鹿鳴館の外観」「黒田清輝作『湖畔』」「高橋由一作『鮭』」「狩野芳崖作『悲母観音』」「フェノロサ」「高村光雲作『老猿』」
 - 資料「いすに座っていつせいに授業を受ける女性徒」解説付き。
 - グラフ「就学率の変化」解説付き。
 - 表「明治時代に誕生した日本語」解説付き。

掲載数 806個

(例) p 28~29 第2編 古代までの日本

【問 い】

- ・学習テーマ「稲作の広まりと弥生時代」の前に、「学習課題」として、「稲作が始まって、人々の暮らしはどのように変わったのだろう。」とある。
- ・学習テーマのすぐ上に、キャラクターが、導入資料①「弥生時代の暮らし(想像図)」を見上げながら、「縄文時代(→p 27⑦)と比べて、暮らしはどのようなところが変わったのだろう。」という吹き出しがある。

【まとめ】

- ・見開き右下に、「学習の確認と活用」のコーナーがあり、「確認」として、「下の銅鐸の絵は、どのようなことがかかっているのか、本文や①を確認しながら予想してみよう。」がある。「活用」として、「稲作が盛んになると、なぜ社会に変化が生まれ、クニができたのが、上の絵も利用しながら説明してみよう。」と続く。
- ・見開き右の本文の下に、p 30~31 「先人に学ぶ『日本の食生活のルーツを探る』も見てみよう。」とあり、関連ページを紹介している。

【説 明】

- ・「学習課題」の下に、鍵マークがあり、この学習のキーワードをしめす。ここでは、

稲作 青銅器 鉄器 弥生土器 邪馬台国 卑弥呼

- ・本文『魏志』の倭人伝に注⑥があり、側注として、⑥「邪馬台国」の資料が(三国志の「魏志」の倭人伝から一部要約)として紹介されている。
- ・本文「本格的な農業の時代をむかえました」の補足説明として、注①がある。
① 北海道や東北地方は、気候が寒冷なこともあり、稲作は広まらず、狩猟などが中心でした。沖縄など南西諸島では、海の魚介類が豊富なことから稲作は行われませんでした。」とある。
- ・小学校での学習との「連携コーナー」があり、ここでは、「学習した人物 卑弥呼」とある。
- ・その他の資料として、
写真「弥生土器」「銅鐸」「吉野ヶ里遺跡」
「漢委奴國(国)王」という文字がほられた金印
歴史地図「3世紀の東アジア」がある。

日文

<p>自由社</p>	<p>掲載数 735個 (例) p156～157 第4章 近代の日本と世界 (I) 幕末から明治時代</p> <p>【問 い】 見開き左側, 学習テーマ「欧米列強のアジア進出」のすぐ下に, 「欧米列強は, どのようにアジアに進出したのだろうか。」とある。</p> <p>【まとめ】 見開き右下に, 「まとめにチャレンジ」のコーナーがある。 ①アジア諸国は, 欧米諸国の進出を受けてどのようになったか, 一語で答えてみよう。 ②そのときの欧米諸国の進出の方法は, どのようなものであったか説明してみよう。</p> <p>【説 明】 ・本文中, 「東インド会社」に注¹がついて, 「¹ 1600年に設立された, イギリス国王からアジア貿易の独占権をあたえられた会社。」とある。</p> <p>・導入資料として, 次の3点がある。 地 図「19世紀後半のヨーロッパ列強のアジア進出地図」解説付き 「貿易の拠点となる港湾都市もヨーロッパ各国がそれぞれ確保している。」 グラフ「綿織物の輸出額の推移」解説付き 写 真「セポイの反乱」解説付き</p> <p>・右ページの本文の上と右側に, 次に4点の資料がある。いずれも側注番号はない。 地図「アヘンをめぐる三角貿易」解説付き 写真「ケシの実」解説付き 写真「アヘン戦争の図」解説付き 写真「インドのアヘン倉庫」解説付き</p>
<p>育鵬社</p>	<p>掲載数 817個 (例) p156～157 第4章 近代の日本と世界</p> <p>【問 い】 ・学習テーマ「43 欧米の市民革命・産業革命」のすぐ下に 「欧米諸国はどのようにして近代社会をつくりあげたのだろうか。」がある。 ・学習テーマのすぐ上, 導入資料の¹「アメリカの独立宣言」があるところに, キャラクターが吹き出しで, 「この人たちはどんなことを話しているのかな。」とある。</p> <p>【まとめ】 見開きの右側欄外に, 学習のまとめの課題を示している。 「イギリスを例に, 市民革命のようすと産業革命について説明しましょう。」</p>

育鵬社

【説明】

- ・本文の補足説明として、「社会のしくみが大きく変化しました」に注①として、「①ロック、モンテスキュー、ルソーらの啓蒙思想が影響をあたえた」とある。
- ・人物の紹介資料として、
 - ④「ジョージ・ワシントン（1732～99）」アメリカ独立戦争の軍最高司令官だった。初代大統領に就任。」とある。
 - ⑧「ナポレオン」の紹介もある。
- ・その他の資料として、
 - 写真② 最初のアメリカ合衆国旗（星条旗）
「独立時の13州が星と紅白のしまの数で表されていた。」
 - 写真③ 「バスティーユ牢獄に攻め寄るパリ市民」解説付き
 - 資料⑤ 「人権宣言」（一部要約）
 - 語句解説⑥ 近代の政治体制 「専制君主制 立憲君主制 共和制」について
 - 写真⑦ 「産業革命後のイギリス」解説付き
 - 写真⑨ 「ワットの蒸気機関」解説付き

掲載数 913個

(例) p98~99 第3部 近世

【問 い】第1章には、問いとして学習テーマがある。

(第1章の問いの例)

学習テーマ「(9) 稲作がはじまる—弥生時代—」

問い「水田稲作は、くらしと社会をどう変えたか。」

(他の章の例)

学習テーマ「町衆と信長—織田信長の統一事業—」のみ

【まとめ】特になし

見開き右最後には、【將軍義昭を非難する信長】の読み物資料がある。

足利義昭は、將軍の位についたときには、信長のことを「御父」というほど感謝した。しかし、しばらくすると、ほかの戦国大名と連絡をとって、信長の上に立とうとした。信長は、これに不信をつのらせ、「異見十七カ条」を送りつけて、非難した。

「諸国の大名に手紙を出すときには信長が手紙をそえ、承認した上でのことにした。この約束を守らないのはどういうことか。朝廷への奉仕をおこたると忠告したのに守らない。恩賞のあたえ方も不公平だ。世間の人びとは、この將軍は自分の欲にばかりふける『悪しき御所』だといっている」(一部省略)

【説明】

本文中に番号はなし。

語句解説 2つ

「石山本願寺」：一向宗(浄土真宗)の本山。信長に攻められて焼けたのち、その土地に豊臣秀吉が大阪城を築いた。

「富田林の寺内町」：一向宗(浄土真宗)の人びとは、石山本願寺(大阪府)に属する寺を建てて、寺を中心に町を建設した。用水を引いて周辺を開拓し、町に堀や土塁をめぐらせ、木戸をつくって、自治をおこなった。

写真資料5

- 1 「祇園祭の山鉾ひき」
- 2 「織田信長」肖像
- 3 「安土城」
- 4 「戦国大名と織田信長・豊臣秀吉の全国統一へのあゆみ」
- 5 「富田林の現在の町並み」

【社会科（歴史的分野）】

観点	言語活動の充実
視点	①目的に応じて表現する力を育てるための工夫
方法	まとめ方の種類と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【まとめ方の種類】 年表、図、レポート、表、プレゼンテーション・ソフト、ディスカッション、イラストマップ、歴史新聞、ウェブページ、提案</p> <p>【代表的な例】 イラストマップを作ろう。 ・「だいすけさんたちは、調べた内容を整理して、イラストマップにまとめることにしました。」 ・文字だけでなく、イラストも写真も使って説明しましょう。 ・地図を作るときには、説明のスペースを考えて構成しましょう。</p> <p>【時代ごとの例】 古代：まとめ方：人物と連想できる事柄をつなげてまとめよう 確認問題：完成した年表を基に「経済・社会・文化」の欄から文化に関するよう事柄を抜き出し、文化の関係する事柄を歴史の流れ順に説明しよう 中世：まとめ方：「比較表」でまとめよう 確認問題：完成した年表を基に「政治」の欄から政治を行った人物を抜き出しましょう。 中世の政治を動かしたのはどのような人々か説明しよう 近世：まとめ方：「ディスカッション」をしてまとめよう 確認問題：完成した年表を基に「経済・社会・文化」の欄で「貨幣経済の広がり」「貧富の差の拡大」「百姓一揆・打ちこわし」後「政治」で起こった動きをぬき出しましょう。 近代：まとめ方：「歴史新聞」でまとめよう 確認問題：完成した年表を基に、この時代の中国との外交、朝鮮との外交について「政治」「東アジア」の欄から抜き出しましょう。 大戦：まとめ方：「年表」でまとめよう 確認問題：完成した年表を基に、「欧米など」の欄から日本と関係する事柄を抜き出し、時代の流れについて気付いたことを説明しましょう。 現代：まとめ方：「プレゼンテーション・ソフト」を使って日本の歴史をまとめよう 確認問題：完成した年表を基に「政治」の欄から外国と関係する事柄を抜き出し、時代の流れについて気付いたことを説明しましょう。</p>

【まとめ方の種類】

歴史新聞、キャッチフレーズ、ミニレポート、仮想の討論会、年表、地図、キーワード、意見発表

【代表的な例】

近世の時代の特色を考えよう！

- ・あすかさんは、江戸時代の特色について、「浮世絵」を取り上げ、「民衆文化の時代」というテーマでミニレポートにまとめてみました。

【時代ごとの例】

原始・古代：

原始・古代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・2枚の写真は何とよばれるか、違いにはどのような社会の変化が表れているか説明しよう。
- ・下の図を使って律令国家の政治と支配のしくみについて説明しよう。

原始・古代の時代の特色を考えよう

- ・歴史新聞にまとめることにしました。「ふきだしに人物のコメントを書き入れよう。」

時代の変化に注目しよう

- ・二つの絵を見比べて、世の中がどのように動いていったか予想してみましょう。

中世：

中世のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・下の図を使って、源頼朝がつくりあげた封建制度のしくみについて説明しよう。
- ・鎌倉時代と室町時代のできごとや様子を表す資料を選んで二つの時代の共通点と違いについて説明しよう

中世の時代の特色を考えよう

- ・古代からの変化を表にまとめることにしました。キーワードを使って表に整理しましょう。
- ・作った表をもとに話し合い、中世の特色を「〇〇の時代」のようなキャッチフレーズで表現しよう。

時代の変化に注目しよう

- ・(水墨画と浮世絵)を比べてみて、印象のちがいにについて発表しあいましょう。
- ・(永楽通宝と慶長小判)を比べてみて、この変化にどのような意味があるか予想してみましょう。

近世：

近世のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・下の図を使って江戸幕府のしくみと中世の武家政治のしくみの共通点や違いについて説明しよう。
- ・2枚の絵を用いて、どのように社会が移り変わったか説明しよう。

近世の時代の特色を考えよう

- ・近世の特色について、テーマを決めてミニレポートにまとめよう。

時代の変化に注目しよう

- ・(朝鮮通信使とペリー来航)を比べてみて、幕府の対応を予想してみましょう。
- ・幕府が続いているのはなぜか、これまでに学習したことをもとに話し合ってみよう。

近代I：

「近代の幕開け」のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・下の図を使って、産業革命で確立した資本主義のしくみについて説明しよう。
- ・江戸幕府が減んだのはなぜか、あなたが最も大きいと思う原因について教科書から資料を選んで説明しよう

「近代の幕開け」の時代の特色を考えよう

- ・仮想討論会について、各人物の()にあてはまる意見を考えよう。()にあてはまる民衆の願いを考えよう。

時代の変化に注目しよう

- ・(綿織物場の仕事場と産業博覧会の絵) 作業している人や使っているものを見比べて気がついたことを話し合ひましょう。

近代Ⅱ：

近代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・右の図と次の用語を使って明治時代に政治のしくみが整えられた過程を説明しよう。
- ・日清戦争ののち日露戦争を戦うまでにどのような対応や準備をしたか次の用語を使って説明しよう。

近代の時代の特色を考えよう

- ・(地図作業のあと) 日本が明治維新ののちに領土を画定・拡大していったのはなぜか班で話し合おう。

時代の変化に注目しよう

- ・(義和団事件と第1次世界大戦) 戦い方にどのような違いがあるか見比べて気がついたことを発表しあひましよう。

近代Ⅲ：

「大戦期」のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・日本でのデモクラシーの風潮の広まりと衰退について次の用語を使って説明しよう。
- ・写真をもとに大正から昭和にかけて社会や人々の生活がどのように変化したか説明しよう。

「大戦期」の時代の特色を考えよう

- ・大戦期の特色について「戦争と関わりの深いできごと」と「平和や自由、民主主義を求めるできごと」の二つの立場のどちらの立場で発表するか考えよう。
- ・キーワードを参考に、どのような時代と考えるか、根拠を示しながら発表しよう。
- ・発表後、大戦期の特色について、最終的な自分の考えをまとめよう。

時代の変化に注目しよう

- ・(学童疎開と青空教室) 子どもたちはどのような思いだったか想像してみましよう。

現代：

現代のできごとや動きについて、自分なりの言葉で説明しよう

- ・図「現在の日本、現在の世界」に近年起こった重要なできごとを記入して発表しよう。
- ・地図「世界の難民の出身国別人数」で、なぜこれらの国々で難民数が多いのか説明しよう。

時代の変化に注目しよう

- ・(国際連盟)が機能しなくなったのは、いつか、なぜか話し合ってみましよう。
- ・(国際連合前モニュメント)これにこめられたメッセージは何か、写真のタイトルを考え発表し合ひましよう

【まとめ方の種類】

図、表、地図、年表、キャッチフレーズ、ボード、模造紙、レポート、プレゼンテーション・ソフト、カード

【代表的な例】

鎌倉時代の文化の特色をキャッチフレーズで表現してみよう。

- ・ 鎌倉時代の美術・文学作品をみたり読んだりして、印象や感想を話しあってみよう。

【時代ごとの例】

原始・古代：写真を見て古代の政治や文化の特色について考えてみよう。

- 1 古代の日本の文化はどのように変化していったのだろうか。上のBとCの絵を参考に、次の語句を用いて説明しよう。 【遣唐使 中国の文化 独自の文化】
- 2 左の人物とその一族はどのような政治を行ったのだろうか。次の語句を用いて説明してみよう。 【自分の娘 天皇 摂政】

中世の日本：写真を見て中世の政治や文化の特色について考えてみよう。

- 1 中世の日本の文化はどのような特色があるのだろうか。上の写真を参考に、次の語句を用いて説明しよう。 【武士 公家 禅宗】
- 2 左の写真の人物はなぜ多くの武士の支持を受け、武家政権をはじめることができたのだろうか。次の語句を用いて説明してみよう。【御恩 奉公 御家人】

近世の日本：写真を見て近世の政治や文化の特色について考えてみよう

- 1 近世の日本の文化はどのような特色があるのだろうか。上のB～Dの絵を参考に、次の語句を用いて説明しよう。 【町人 都市 商業】
- 2 近世の日本では左の写真の人物が幕府を成立させてからどのような社会がつけられたのか。次の語句を用いて説明してみよう。 【大名の統制 身分制度 鎖国】

近代化の進む世界と日本：

- ・ 学習内容をもう一度ふり返って見よう。

○開国から江戸時代の終わりまでの歴史の流れを、次の語句を入れて年表にまとめてみよう。【日米和親条約 日米修好通商条約 安政の大獄 尊皇攘夷運動 薩長戦争 下関砲撃 薩長同盟 大分藩】

○帝国議会ができるまでの歴史の流れを、次の語句を入れて文章でまとめてみよう。 【民権議院設立の建白書 自由民権運動 国会期成同盟 内閣制度 大日本帝国憲法】

- ・ 近代社会の特徴について、次のことがらを江戸時代とくらべて説明しよう。

【政治のしくみ 税 産業 身分制度 教育制度】

二つの世界大戦と日本：学習内容をもう一度ふり返って見よう。

○第一次世界大戦前と大戦後の世界の様子について、次のことがらをそれぞれ表にまとめてみよう。

【大戦前のヨーロッパ 大戦のはじまり 大戦中の世界の動き ベルサイユ条約の内容 大戦後の世界と日本の動き】

○次の国々は世界恐慌の影響をどのように受け、どのように対処しようとしたのか、各国の様子を表にまとめてみよう。【ドイツ 連 イギリス フランス アメリカ 日本】

現代の日本と世界：学習内容をもう一度ふり返って見よう。

○戦後の日本の改革について、次のことがらを戦前と対比して表や年表にまとめてみよう。 【農業の民主化 経済の民主化 教育の民主化 憲法 家族制度】

○冷戦時の様子について、次のことがらを年表にまとめてみよう。

【東西ヨーロッパ・アメリカの様子、アジアの様子】

帝国	<p>【まとめ方の種類】 レポート, 新聞記事, 手紙, メッセージ, 地図, 図, 年表, イラスト, ホームページ, プレゼンテーション・ソフト, 意見交換・討論, 劇, テレビニュース</p> <p>【代表的な例】 レポートのまとめ方 テーマ・テーマ設定の理由 ・なぜ, 調べたのかを書きましょう。 自分の推理 ・よくわからないこと・疑問点をはっきりさせ, 自 分の推理や仮説を書きましょう。また, 推理の根 拠となることを示しましょう。 わかったこと ・わかったことを大きな項目・小さな項目に整理 しましょう。また, 根拠となる資料を写真・地 図・年表・グラフなどで表しましょう。 結論 ・テーマについてわかったこと, わからなかった こと, 今後の課題を書きましょう。</p> <p>【時代ごとの例】</p> <p>原始・古代: 復元された人物模型の服装の変化を説明してみよう。 古代で最も重要な人物は誰か話し合ってみよう。 原始あるいは古代の特色を説明してみよう</p> <p>中世: 絵巻物にえがかれた貴族と武士の関係の変化を説明してみよう 中世で最も重要なできごととは何かを話し合い, 「新聞記事」をつく ってみよう。 中世の特色を説明してみよう。</p> <p>近世: 屏風と絵巻物にえがかれた武士の役割の変化を説明しよう。 江戸幕府による支配は, なぜ約260年間も続いたのかを話し合っ てみよう。「KJ法」 近世の特色を説明してみよう。</p> <p>近代(前半): 絵画にえがかれた政治体制の変化を説明しよう。 近代(前半)で最も活躍したと思う人物はだれかを話し合い, その人 物に手紙を書いてみよう。 下の表現を使って近代(前半)の特色を説明してみよう。</p> <p>近代(後半): グラフに示された軍事費の割合の変化を説明してみよう。 日本はなぜ戦争へとつき進んでいったのかを話し合ってみよ う。 近代(後半)の特色を説明してみよう。</p> <p>現代: 表にまとめられた憲法の内容の変化を説明してみよう。 現代の中で, 50年後の未来に最も伝えたいできごととは何かを話 し合い, タイムカプセルをつくってみよう。 現代の特色を説明してみよう。</p>
----	---

<p>日文</p>	<p>【まとめ方の種類】 図, 表, ホームページ, 歴史新聞, 模造紙, 年表</p> <p>【代表的な例】 歴史新聞づくりのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だれに向けてどんなことを伝えたいのかを考える。 ・ 調べたことを自分の言葉に書き直して記事にする。 ・ 文章以外に, イラストや写真を入れて, わかりやすい紙面を心がける。 ・ 新聞をつくって考えたことを書くコーナーを, 必ず設ける。 <p>【時代ごとの例】</p> <p>古 代: 「文字の変化」に着目して, 時代の特色に迫ろう</p> <p>中 世: 「法」に着目して, 時代の特色にせまろう</p> <p>近 世: 「幕府の収入」に着目して, 時代の特色にせまろう</p> <p>近代Ⅰ: 明治政府の「政策」から, 時代の特色にせまろう (グループ活動)</p> <p>近代Ⅱ: 「戦争」に着目して, 時代の特色にせまろう</p> <p>現 代: 「復興と成長の源」に着目して, 時代の特色にせまろう</p>
-----------	--

自由社	<p>【まとめ方の種類】 年表、人物カード、ミニ伝記、レポート、「ひとこと」作文、意見交換会、表、エッセイ、図、物語、スピーチ、人物伝記</p> <p>【代表的な例】 調べた結果を発表しよう ・ 【レポート】渋谷捜査隊 ・ ここに示した手順・方法で、あなたの地域でも調査してみよう。</p> <p>【時代ごとの例】 古代：「時代比較の問題」：2つの事項を比較し、その違いをノートにまとめよう。等4題 「人物比較」 卑弥呼と聖徳太子を対比し、どこがちがうか考え表にまとめてみよう。 「ひとこと」作文「古代とは、ひとことで言うと、「〇〇」の時代だった。〇〇にあてはまる言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。 「意見交換会」「～共通点を出し合ってみよう」 「その理由を考え意見を出し合ってみよう。」など3題。</p> <p>中世：時代区分についての姉妹問答 時代比較の問題3題、人物比較、 「ひとこと」作文「意見交換会」2題。 近世：時代区分についての兄弟問答 時代比較の問題3題、人物比較、 「ひとこと」作文「意見交換会」2題 近代Ⅰ：時代区分についての姉妹問答 時代比較の問題3題、時代区分の問題4題、 人物比較、 「意見交換会」1題 近代Ⅱ：「時代区分についての兄弟問答 時代比較の問題、3題「ひとこと」作文 「意見交換会」1題。 現代：時代区分についての姉妹問答 時代区分の問題 3題「ひとこと」作文 「意見交換会」1題。</p> <p>巻末 歴史を学んで「日本の歴史の特色は何か」 課題6 「～、エッセイを書いてみよう。」 「～、項目を立てて、比較してみましよう。」 「古代から現代まで、年表、絵図、物語、など好みの方法で工夫してまとめてみましよう。」 「特徴を出し合いましよう。」 「その重点をまとめてみましよう。」 「スピーチ原稿を書いてみよう。」(3分間スピーチ)</p>
-----	---

【まとめ方の種類】

カード、表、年表、キャッチフレーズ、歴史新聞、ロールプレイ、文章、図、ノート、模造紙

【代表的な例】

歴史人物Q&Aカードをつくろう

- ・ 皆さんが興味をもった歴史上の人物は？
- ・ 下の表の中に、皆さんが、これまでの学習で興味をもった歴史上の人物の名前とその理由を書いてみてください。

【時代ごとの例】

原始・古代：②資料を「日本（世界）で1番～」という文で表しましょう。

- ⑤下の3つの資料を見て古代の日本と中国の関係がどう変化していったか説明してみよう
- 下の2つの資料を見て古代の大和朝廷の勢力範囲がどう広がっていったのか説明してみよう。

中世：②この時代の戦いについて例を参考にノートに整理しましょう

- ⑤この時代の人々の暮らしや社会を下の絵を参考にして、前の時代の様子にもふれながら説明してみよう。

近世：②五街道が整備された理由と影響を下の絵を見ながら考え、説明しましょう。

- ⑤資料を見ながら、江戸時代の社会がどんな社会になっていったか、幕府の政治の内容もふまえて考え、説明してみましょう。

近代①：②江戸時代と明治時代のようにすえがいた下の絵を見ながらそれぞれの分野でどう変化したか説明してみよう。

- ④【大日本帝国憲法の発布式の絵】憲法が成立するまでの経緯を次の言葉で説明しましょう
- ⑤日清戦争と日露戦争を下の表を作成して比較してみましょう。

近代②：②広く利用されるようになったものを手がかりに人々の暮らしや社会の変化を説明しよう

- ④日本国内の有権者の変化のグラフから読み取れることについて、自分の考えを書いてみよう
- ⑤第一次世界大戦、第二次世界大戦を表を作成して比較してみましょう。

現代：②日本国憲法公布の祝賀会のようにすについて、憲法制定までの経緯について説明しよう

- ③最も重要だと思うできごとを選び、これを題材にした標語をつくってみよう
- ⑤近現代の人口変化のグラフについて、ノートにまとめ、みんなで話し合ってみよう。

・「課題学習」「歴史新聞をつくろう」・・・歴史の現場をスクープ！

「歴史のロールプレイをしてみよう」・・・歴史を実感！

・巻末に、歴史学習のまとめ「日本の歴史を大観する」と題したまとめ方の例がある。

- ①「日本の歴史10大事件」を選びましょう。
- ②「日本の歴史で重要な役割を果たした人物ベスト10」を選びましょう。
- ③「日本の歴史を学んで」というテーマを400字程度の文章にまとめてみよう。

【まとめ方の種類】

人物カード、年表、スリーヒント、人物あてゲーム、表、ポスター、意見交換、地図、図

【時代（章）ごとの例】

1・2章（原始・古代）：「スリーヒント・人物あてゲーム」

- ・下の人名は第1部に登場した主な人たちです。この中から選んで、問題をつくってみましょう。
- ・選んだ人について、いつごろ、どんな人だったかを考えて、3つの文（スリーヒント）をつくります。
- ・ゲームの正解者は、10～20字の1行メモ（気づき）を書く。
- ・「学習を振り返り、印象に残ったことを自分の言葉で書きましょう」

3章（中世）：「歴史絵画館」「絵画資料に説明をつけてみましょう」

- ・「中世はどのような人たちが力を持ち、どのような特色のある時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら自分の言葉で書きましょう。」

4・5章（近世）：「時代の変化について考え発表しましょう」（4人班で発表）

時代を変えたと思うできごとを自分で選び、表に書きましょう。

《できごと・説明・どのように変わったか》

発表のあと感想をノートに書きましょう。

- ・「近世はどのような特色のある時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら自分の考えを書きましょう。」

6・7章（近代）：「時代の変化について考え発表しましょう」（4人班で発表）

時代を変えたと思うできごとを自分で選び、表に書きましょう。

《できごと・説明・どのように変わったか》

発表のあと感想をノートに書きましょう。

- ・「近代はどのような特色のある時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら自分の考えを書きましょう。」

8・9章（二つの世界大戦）：学習した戦争について、6つの観点で振り返り、自分の考えをまとめ(400字)意見を交換して、さらに深めましょう。

班やクラスで意見交換。

自分のまとめを班で読みあい、「発見」「共感」「疑問」の三つのポイントで気付きを書き、意見交換する。

10章（現代）：今の日本と世界には、どんなできごとが起きているのでしょうか。

日本と世界はどんな課題をかかえているのでしょうか。学習したことを現在とつなげて考え、意見交換をしましょう。

クラスで行う例

「課題を乗り越えられた」「現在も課題となっている」と思うことに分けて意見を出し合い、黒板に書き、黒板を見て意見交換をする。

自分が関心をもったテーマを選び、自分の考えやこれから調べてみたいことをまとめる。

令和元年 7 月 31 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 社会科(公民的分野)

代表者 呉市立片山中 学校

氏名 西原有紀

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【社会科（公民的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例

発行者	調査・研究内容
東書	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「私たちの消費生活」等のタイトルがあり、その右横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国会は国の政治の中でどのような地位にあり、どのような仕組みで運営されているのでしょうか」「私たちの消費生活は、どのように営まれているのでしょうか。」
教出	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「家計とはなんだろう」等のタイトルがあり、その下に「どのような」、「どのように」「なぜ」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国会とはどのような場所で、どのようなことが行われるのでしょうか。」 「家計は経済活動のなかで、どのようなはたらきをしているのでしょうか。」
清水	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「貨幣のはたらきと通貨」等のタイトルがあり、その左横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国民の意思を代表する国会は、どのようなしごとをしているのだろうか?」 「貨幣はどのような役割を果たしているのだろうか。」
帝国	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「経済活動とお金の役割」等のタイトルがあり、その右横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国会はどのような仕事を、どのようなしくみで行っているのでしょうか」 「私たちの生活のなかで、経済活動はどのような役割を果たしているのでしょうか。」
日文	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「私たちの消費生活」等のタイトルがあり、その左横に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国会の地位としくみはどうなっているのだろう。」 「私たちのくらしは、経済活動とどのようにかかわっているのだろう。」
自由社	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「私たちを支える経済活動」等のタイトルがあり、その下に「どのような」、「どんな」、「何」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「日本の国会には、衆議院と参議院の2つの議院がおかれているが、その役割のちがいは何だろうか」 「経済とは何だろう。経済活動とかかわって社会はどのようなしくみになっているのだろうか。」
育鵬社	○1時間ごとの目標等の記載の仕方と記載例 見開きごとに「経済活動と経済成長」等のタイトルがあり、その下に「どのような」、「どのように」等、問いかけの形態で1時間ごとの目標が示されている。 例「国会はどのような仕事をしているのでしょうか。」 「私たちの生活は、経済活動とどのようにかかわっているのでしょうか。」

【社会科（公民的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに、理解をうながすためのページが設けられたり、側注にマークを加え説明されたりしている。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ちがいのちがいを追究しよう（P 68, 69） <ul style="list-style-type: none"> ※ 人権に係る事象の例を効率や公正の観点で問題はないか検討する。 ○ だれを市長に選ぶべき？（P 72, 73） <ul style="list-style-type: none"> ※ 代表者を選ぶ際に効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ わたしたちの政治参加（P 110, 111） <ul style="list-style-type: none"> ※ 自分たちにできることを効率や公正の観点も踏まえ検討する。 ○ X市の市長選挙に立候補しよう（P 114, 115） <ul style="list-style-type: none"> ※ 理想のまちづくりのための公約を、効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう（P 164, 165） <ul style="list-style-type: none"> ※ 実現可能かを効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ アニマル大陸の危機を救おう（P 202, 203） <ul style="list-style-type: none"> ※ 解決方法を効率や公正の観点を踏まえ検討する。 <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コラム『『公共の福祉』について考えよう』（P 59） <ul style="list-style-type: none"> ※ 公正の観点を踏まえ議論する。 ○ コラム「地方財政（歳出）の変化を調べよう」（P 107） <ul style="list-style-type: none"> ※ 歳出案について効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ コラム「利潤の配分について考えよう」（P 131） <ul style="list-style-type: none"> ※ 効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ コラム「日本の社会保障と財政の在り方を考えよう」（P 153） <ul style="list-style-type: none"> ※ 社会保障の給付と負担について効率や公正の観点を踏まえて考える。 ○ コラム「温室効果ガスの排出削減について考えよう」（P 179） <ul style="list-style-type: none"> ※ 先進国と途上国との主張に対して効率や公正の観点を踏まえ検討する。 ○ 効率や公正の観点からの6つの問い（P60, P85, P95, P147, P148, P173） <ul style="list-style-type: none"> （例）「日本が二院制を採用している理由について『公正』の観点から説明しよう。」
教出	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに、理解をうながすためのページが設けられている。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪の防止か、プライバシーの保護か（P 58, 59） <ul style="list-style-type: none"> ※ 効率や公正の観点も踏まえディベートを行う。 <p><u>側注等</u> なし</p>

<p>清水</p>	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに、理解をうながすために側注で説明されている。</p> <p><u>本文以外</u> なし</p> <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「柄の浦，埋め立て架橋計画」（P 5 4） ※ 対立と合意の事例として例示されている。 ○ 効率や公正の観点からの問い（P 5 2） 「ある人の人権と他の人の人権がぶつかったときには，どう考えればよいのだろうか？」 例：名古屋新幹線公害訴訟
<p>帝国</p>	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに，理解をうながすためのページが設けられている。各大項目の終わりの側注にまとめの問題が設けられたりしている。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンションの騒音問題を解決しよう（P 2 6， 2 7）。 ※ 騒音問題を対立と合意，効率と公正から考える。 ○ 青果店を営む男性はどうなる？（P 5 6， 5 7） ※ 公共の福祉を対立と合意，効率と公正から考える。 ○ 裁判の判決を考えよう（P 8 2， 8 3） ※ 裁判員制度について対立と合意，効率と公正から考える。 ○ 自分が住むまちのまちづくりを考えよう（P 9 6， 9 7） ※ 地方自治の役割や財政面を取り上げ，対立と合意，効率と公正から考える。 ○ 赤字バス路線に税金を使うべきか？（P 1 5 4， 1 5 5） ※ 市長の立場から社会資本の整備について対立と合意，効率と公正から考える。 <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クローズアップ「日本の社会保障の選択は？」（P 1 5 8） ※ 「大きな政府」と「小さな政府」について効率と公正から考える ○ 効率や公正の観点からの4つの問い（P28, P102, P162, P196） 例「増税の引き上げについて，効率，公正の考え方を軸に，おたの教を説明してみましょう。」
<p>日文</p>	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに，理解をうながすためのページが設けられたり，側注で説明されたりしている。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の自由について考えようーブレインストーミング，論理的な考え方ー（P 7 2， 7 3） ※ 情報公開の問題を対立から合意の考え方で検討する。 ○ 一票の格差の問題を考えようーディベートー（P 1 1 6， 1 1 7） ※ 機会，手続きの公正の観点から考える。 ○ これからの消費税を考えようー議論ー（P 1 7 2， 1 7 3） ※ 税の公正を考える。 ○ 地球温暖化に対する政策を考えようーロールプレーー（P 2 0 2， 2 0 3） ※ 取組の在り方について，対立と合意を考える。 <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対立と合意の観点からの賛否が分かれた3事例（医療品のインターネット販売，高速道路の建設，死刑制度，）（P 4 7， P 6 4～6 5， P 1 1 1）

<p>自由社</p>	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに、理解をうながすためのページが設けられたり、側注で説明されたりしている。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ディベートをやってみよう (P188～P191) <ul style="list-style-type: none"> ※ 効率に配慮し、公正に議論する必要がある。 ○ ディベート実践例 (P192, 193) <ul style="list-style-type: none"> ※ 負担の公正を検討する。 「温室効果ガスの排出量を現行より1/3削減すべきである」 <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「市場経済の公正と効率」(P115) <ul style="list-style-type: none"> ※ 自由競争と効率と公正について
<p>育鵬社</p>	<p>「対立と合意」「効率と公正」について、「現代社会をとらえる見方や考え方」で説明されるとともに、各章のはじめに理解をうながすためのページが設けられている。また、章のおわりの「学習のまとめ」で、現代社会をとらえる見方や考え方を問う学習課題が設定されている。また、側注でも説明する工夫がある。</p> <p><u>本文以外</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法の入り口 (P44, 45) <ul style="list-style-type: none"> ※ ケーキの分配を題材に公正を考える。 ○ 政治の入り口 (P84, 85) <ul style="list-style-type: none"> ※ 議員になったつもりで、政策について効率と公正の点から検討する。 ○ 新聞の社説を比べてみよう (P94, 95) <ul style="list-style-type: none"> ※ 正反対の立場の社説を見て、対立と合意に係り、ディベートを行う。 ○ 経済の入り口 (P122, 123) <ul style="list-style-type: none"> ※ AとBの2つの国、どちらの国民になりたいか、公正と効率を基に考える。 ○ 国際社会の入り口 (P172, 173) <ul style="list-style-type: none"> ※ 自分が外交官になったつもりで対立と合意に係り、優先的に取り組む課題を決める。 ○ 考えよう「地球環境問題と日本」(P198, 199) <ul style="list-style-type: none"> ※ 環境問題に関わりサミットなどで、各国の対立から合意に導かれることが望まれる。 <p><u>側注等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えよう「だれにも迷惑をかけなければ何をしてもいい？」(P47) <ul style="list-style-type: none"> ※ だれとも対立しないが、みんなが困ることがあることを考えさせている。 ○ 理解を深めよう「権利と権利の対立と合意」(P55) <ul style="list-style-type: none"> ※ 自他の権利について、対立と合意の点から検討している。 ○ 理解を深めよう「行政改革と規制緩和」(P103) <ul style="list-style-type: none"> ※ 行政改革は「効率」の観点からも考え、慎重に取り組むよう述べている。 ○ やってみよう「銀行員になって融資してみよう」(P151) <ul style="list-style-type: none"> ※ 経済効率を考え、どの企業に融資するか考えさせている。 ○ やってみよう「もしも警察がなかったら？」(P157) <ul style="list-style-type: none"> ※ 税金がなくて、警察がなかったらどうするか、「公平」を視点に考えさせている。 ○ 対立と合意、効率と公正の観点から6つの問い (P82, P87, P120, P159, P170, P208) <p>(例)「三審制の制度について『効率』の面を重視する人と、『公正』の面を重視する人の立場に立ってそれぞれの意見を述べ、最後にあなた自身の意見も述べましょう。」</p>

【社会科（公民的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	地域貢献，持続可能な社会の実現に関するコラム等の数と具体例

発行者	調査・研究内容						
東書	<p>○コラム等 合計 6個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域貢献 (3)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災と私たち—岩手県釜石市の中学生に学ぶ— (側注1/3ページ) ○ 私たちの政治参加 (P110, 111) ○ 東日本大震災からの復興と防災—仙台市を例に考える— (P112, 113) </td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会 (3)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会を目指して (巻頭2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ 私たちにできる社会参画 (巻末2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ より良い社会を目指して (レポートの課題) </td> </tr> </tbody> </table> <p>地域貢献や持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるコラム等が複数ある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (10) P14 琵琶湖畔の清掃活動, P15 岩手の中学生①②, P19 津軽三味線, P56 市議会での中学生, P62 中学生が作ったアプリ, P74 生徒会選挙, P108 山形県の少年議会, P110 中学生の政治参加 (福山市), P113 未来を創る中学生 ・持続可能な社会の実現 (10) 巻頭の「持続可能な社会を目指して」, まとめ学習 		具体例	地域貢献 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災と私たち—岩手県釜石市の中学生に学ぶ— (側注1/3ページ) ○ 私たちの政治参加 (P110, 111) ○ 東日本大震災からの復興と防災—仙台市を例に考える— (P112, 113) 	持続可能な社会 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会を目指して (巻頭2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ 私たちにできる社会参画 (巻末2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ より良い社会を目指して (レポートの課題)
		具体例					
地域貢献 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災と私たち—岩手県釜石市の中学生に学ぶ— (側注1/3ページ) ○ 私たちの政治参加 (P110, 111) ○ 東日本大震災からの復興と防災—仙台市を例に考える— (P112, 113) 						
持続可能な社会 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持続可能な社会を目指して (巻頭2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ 私たちにできる社会参画 (巻末2ページ) (8枚の写真をもとに，持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ より良い社会を目指して (レポートの課題) 						
教出	<p>○コラム等 合計 4個</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域貢献 (2)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ つなげたい, 日本の伝統や文化 (P22, 23) ○ まちづくりのアイデアを提言しよう (P114, 115) </td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会 (2)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民の学習を始めるにあたって (巻頭③, ④) (持続可能性を妨げる課題を提示) ○ 持続可能な未来のために (「未来への私の約束」をつくる) (P208~214) </td> </tr> </tbody> </table> <p>地域貢献や持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるコラム等が複数ある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (13) P20 中学生によるコンサート, P22 太鼓の演奏, P24 雪かきを手伝う中学生, P42 復興計画について発表する中学生, P51 人権問題に取り組む, P53 介護施設での中学生, P73 子ども議会, P115 夏休み夢議会, P117 地域の名産物を販売する中学生, P153 高齢者と交流する中学生, P162 福祉施設での中学生, P198 フェアトレード品の販売 巻末のグラビア②「私たちの思いを世界へ」 ・持続可能な社会の実現 (2) 巻頭③持続可能な未来を築く, 最終まとめ学習 		具体例	地域貢献 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ つなげたい, 日本の伝統や文化 (P22, 23) ○ まちづくりのアイデアを提言しよう (P114, 115) 	持続可能な社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民の学習を始めるにあたって (巻頭③, ④) (持続可能性を妨げる課題を提示) ○ 持続可能な未来のために (「未来への私の約束」をつくる) (P208~214)
	具体例						
地域貢献 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ つなげたい, 日本の伝統や文化 (P22, 23) ○ まちづくりのアイデアを提言しよう (P114, 115) 						
持続可能な社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民の学習を始めるにあたって (巻頭③, ④) (持続可能性を妨げる課題を提示) ○ 持続可能な未来のために (「未来への私の約束」をつくる) (P208~214) 						

清水	○コラム等 合計 2個	
		具体例
	地域貢献 (1)	○ 地域活性化・復興に向けた地域の取り組み (P90, 91)
	持続可能な社会 (1)	○ 地球環境の危機 (P178, 179)
<p>地域貢献や持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるページがある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (1) P91 中学生と地域住民による防災訓練 ・持続可能な社会の実現 (3) 持続可能な未来へ P176 「かけがえのない地球」, P182 「地球的規模の問題」, P184 「未来をつくる君たちへ」 		
帝国	○コラム等 合計 6個	
		具体例
	地域貢献 (3)	○ 伝統芸能を受け継ぐ (長野県大鹿村) (側注1/3ページ) ○ 中学生が地域社会を動かした! (側注2/3ページ) ○ 少年議会 (山形県遊佐町) (側注1/3ページ)
	持続可能な社会 (3)	○ 学校から始まるエコ (長野県小諸市) (側注1/3ページ) ○ 地球環境問題の解決に向けて (P194, 195) ○ より良い社会をめざして (レポートの課題)
<p>地域貢献や持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるコラム等が複数ある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (6) P17 伝統芸能を受け継ぐ, P21 地産地消, P32 中学生が地域社会を動かした!, P100 少年議会, P193 学校から始まるエコ 巻末2, 3 「より良い未来をめざして」 ・持続可能な社会の実現 (3) 環境 P5 「みんなで守る多摩川」, P193 「学校から始まるエコ」, P198 「後世に残したい富士山」 		
日文	○コラム等 合計 4個	
		具体例
	地域貢献 (0)	なし
	持続可能な社会 (4)	○ 公民との出会いー夜の地球ー (巻頭2ページ) (6枚の写真をもとに、持続可能な社会の実現との関係を考える。) ○ 地球温暖化に対する政策を考えようーロールプレイー (P202, 203) ○ これからの社会をどんな社会にしたい? (レポートの作成) ○ 残していきたい日本の風景 (巻末2ページ)
<p>持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるコラム等が複数ある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (4) P16 中学3年生の元服式, P19 茶道で交流する中学生, P57 請願を提出した中学生 巻末③ 「私たちと社会のつながり」 ・持続可能な社会の実現 (4) 大災害と持続可能な社会, 持続可能な社会をめざす取り組み等 		

自由社	○コラム等 合計 1個	
		具体例
	地域貢献 (0)	なし
	持続可能な社会 (1)	○ レポートと卒業論文をつくろう P184~187
<p>持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるページがある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (1) 町おこしとしての観光 ←中学生による地域貢献はありません。 ・持続可能な社会の実現 (3) 人類の未来のために (P170~175) 		
育鵬社	○コラム等 合計 7個	
		具体例
	地域貢献 (3)	○ 無形文化遺産「和食」(側注1/3ページ) (P33) ○ 企業の社会貢献 (P140) ○ 企業を訪問してみよう (P141)
	持続可能な社会 (4)	○ 地球環境問題と日本 (P198, 199) ○ 貧しい人々の自立のための銀行 (側注1/3ページ) ○ テーマを決めてレポートを作成しよう (内閣総理大臣になつたつもりで国づくり構想を立てる (P209~215)) ○ 持続可能な社会をめざして (巻末2ページ) (14枚の写真をもとに、持続可能な社会の実現との関係を考える。)
<p>地域貢献や持続可能な社会の実現に向けた社会参画の在り方を学ぶことができるコラム等が複数ある。</p> <p>○関連ページ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 (15) P19 災害後の手伝い, P32 郷土芸能に取り組む中学生 P33 地産地消, P46 法を支えるマナー, P68 授産所での生徒の活動, P72 夜間中学で学ぶ生徒, P86 学級会での採決の様子, P116 市議会議場での中学生, P118 観光資源を探そう P138 企業の社会貢献, P140 企業の社会貢献, P141 企業を訪問してみよう, P199 里地里山を守る, P200 新しいエネルギーの開発, P204 ジュニア・エイト (J8) サミット ・持続可能な社会の実現 (16) 貧しい人々の自立のための銀行, まとめのレポート 巻末の14枚の写真は本文の内容に連動している。 		

【社会科 (公民的分野)】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	国旗・国歌, 主権, 領土に関する記載

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○関連ページ</p> <p>p 170～171 「日章旗」が国旗・「君が代」が国歌と法律で定められていると記載 p 170～171 日本の領域と排他的経済水域の図の中に、北方領土、竹島、尖閣諸島それぞれの位置と領土問題についての記載がある。p 194～195 の本文中に近隣諸国との関係の中に領土問題について記載し、側注に北朝鮮の拉致被害者について写真と内容を記載。p 196～197 日本の領土をめぐる問題の現状として、3島の領土問題について詳しく記載されている。</p> <p>○国旗・国家に関する記載</p> <p>国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国旗と国歌」 本文「主権国家は、国家の象徴として、国旗と国歌を持っています。各国の国旗や国歌にはその国の歴史や文化が反映されています。日本では、1999（平成11）年に法律で『日章旗』が国旗、『君が代』が国歌と定められました。国どうしが尊重し合うために、たがいに国旗・国歌を大切にしていかなければなりません。」 ・ 「オリンピックの表彰式」の写真が掲載されている。 <p>○主権や領土等に関する記載</p> <p>我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題も写真等で取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 本文1ページで「近隣諸国との関係」の説明 側注1/4ページで「日本の領域と排他的経済水域」の説明 ・ 拉致問題 側注「北朝鮮から帰国した拉致被害者」に写真と説明
教出	<p>○関連ページ</p> <p>p 182 「日章旗」が国旗、「君が代」が国歌であると法律で定められたことが記載されているが、太字での記載ではない。 p 178～179 ロシア、韓国、中国との間に領土をめぐる緊張関係が存在していることを記載し、p 179 の側注には、北方領土や東シナ海海上を警備する海上保安庁の写真に掲載。p 181 本文中に竹島・北方領土・尖閣諸島などの領土をめぐる問題について記載。側注にそれぞれの写真や地図が掲載され、北方領土と尖閣諸島についての動きを掲載。 p 189 「北朝鮮との交渉」「北方領土の返還に向けて」と2つの事例を記載。また、p 191 に日本と近隣諸国との間に存在する問題として、側注に拉致問題を記載。</p> <p>○国旗・国家に関する記載</p> <p>国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国旗と国歌」 本文「国旗と国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家はそれらに対しお

	<p>互いに敬意をはらって尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、『日章旗（日の丸）』を国旗、『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などが独立をはたして主権国家となり、独自の国旗を掲げることは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「オリンピックの表彰式」と「震災の復興支援のためのサッカーの試合で、国歌を斉唱する仙台市の子どもたち」の写真が掲載されている。 ・ コラム「公民の窓 国旗と国歌の歴史」で我が国の国歌と国旗の成り立ちが述べられている。 <p>○主権や領土等に関する記載 我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題もコラム等でしっかりと説明されており理解しやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 本文1ページで近隣諸国との関係を説明 側注「北方領土」に地図と説明 側注「竹島と尖閣諸島」にそれぞれの写真と説明 ・ 拉致問題 見開き2ページのコラム「日本の外交のいま」に、北朝鮮との交渉の様子の写真 側注「帰国を果たした拉致被害者」に写真と説明
清水	<p>○関連ページ p162～163 国旗・国歌の役割について記載している。日本では、「日章旗」を国旗、「君が代」を国歌と定められたことを側注で紹介している。 また、北方領土、竹島については日本の領土問題として、尖閣諸島は日本が南西諸島の一部となった後に、中国が領有権を主張するようになったと側注に記載。</p> <p>○国旗・国家に関する記載 国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国旗・国歌」 本文「独立国はそれぞれ、そこに住む人びとに一体性をもたせるために、さまざまな儀式をおこなったり象徴を用いたりしている。国旗や国歌もそのようなはたらきをもっている。国際社会において独立国どうしが友好関係を維持するには、たがいに、他国の歴史や文化を理解し、国旗や国歌を尊重しあうことが大切である。」 ・ 側注「日本では、1999年に国旗・国歌法が制定され、『日章旗（日の丸）』を国旗、『君が代』を国歌とすることが定められた。」 <p>○主権や領土等に関する記載 我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 1/4ページのコラム「日本の領土問題」 側注「日本の領土と経済水域」
帝国	<p>○関連ページ p166～167 国旗・国歌は「日章旗」・「君が代」と法律で定められたことを記載。 p167の側注には拉致問題について記載。 p168～169 領土問題をめぐる問題として北方領土、竹島、尖閣諸島を本文で扱っており、この2ページの側注で北方領土の国境の画定の地図と尖閣諸島が自国の領土である理由、尖閣諸島をめぐって中国と対立している様子を写真に解説を入れて記載。</p> <p>○国旗・国家に関する記載</p>

	<p>国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国旗と国歌」 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々の国旗や国歌は、自分たちの国の独立の歴史や国王をたたえるものなどさまざまです。日本では、1999年に施行された国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。国家間においてたがいに主権を尊重し協力し合っていくうえで、国旗や国歌を尊重し合うことは大切です。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗がかかげられ、国歌が演奏されます。国旗や国歌を相互に尊重することは、現代社会の儀礼となっています。」 ・ クローズアップ「オリンピックと『国家』の意識」に『日の丸』をかかげて喜ぶレスリングの吉田選手」と『日の丸』をふって応援する人たち」の写真が掲載されている。 <p>○主権や領土等に関する記載 我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題も写真等で取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 本文見開き2ページで「領土をめぐる問題」 側注「北海道・納沙布岬と歯舞群島の水晶島」と「尖閣諸島のかつおぶし工場」にそれぞれの写真と説明 1/4ページのクローズアップ「尖閣諸島をめぐる」に「海上保安庁の船にはさまれた中国船」の写真と説明 ・ 拉致問題 側注「拉致被害者の帰国」に写真と説明
<p>日文</p>	<p>○関連ページ p 178 法律で「日章旗」を国旗・「君が代」を国歌としていることを記載。 p 179 日本は北方領土、竹島をロシア、韓国にそれぞれ不法占拠されている。尖閣諸島は、中国が領有権を主張しているが、現在日本が有効に支配しており、領土問題は存在していないと記載。側注に北方領土問題について日本側とロシア側の主張の違いを、竹島については国際司法裁判所に訴え、平和的な解決方法をとっていることや、竹島、尖閣諸島、沖ノ鳥島の写真を掲載し、排他的経済水域の資源が豊かであることを記載。 p 187 東アジアの変化と課題の中で拉致問題に触れ、側注に北朝鮮による拉致問題の写真を記載。</p> <p>○国旗・国家に関する記載 国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国家と主権」 本文「すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会のたいせつな原則で、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重することが、国際的な儀礼です。日本では、法律で日章旗を国旗、君が代を国歌としています。」 ・ 「観客席に掲げられた日章旗」の写真が掲載されている。 <p>○主権や領土等に関する記載 我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題も写真等で取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 本文1ページで「日本の領土をめぐる問題」 側注に北方領土、竹島、尖閣諸島の写真があり、吹き出しで北方領土の説明

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拉致問題 側注「北朝鮮の日本人拉致問題」の新聞記事と説明
自由社	<p>○関連ページ</p> <p>p 144～145 国歌・国旗に敬意を表すことが基本礼儀であること、p 146～147 には、国旗である「日章旗」と国歌である「君が代」のそれぞれの意味、国旗・国歌に対する日米の高校生の差など2ページにわたり記載。</p> <p>巻末にわが国の領域、p 144～145 に北方領土、竹島を重要な領土問題。尖閣諸島を中国が領有権を主張していることや沖ノ島島に関する権利を認めていないとする中国との対立を記載し、これらの内容を p 148～149 の2ページで詳しく記載している。</p> <p>p 160～161 わが国周辺の安全保障環境として近隣諸国との緊迫した状態を地図中に示して掲載している。また、拉致問題について本文で触れ、p 162～163 の2ページで日本人拉致問題について、拉致された場所や時期などを地図や年表で明記している。</p> <p>○国旗・国家に関する記載</p> <p>国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。国旗、国歌に係る国際的な儀礼が豊富に紹介されており、効果的に学習できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タイトル「国旗と国歌」 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国歌の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。」 ・ コラム「国旗と国歌を考えてみよう」で、「国旗・国歌に対する日米高校生の意識の差」や「日章旗」や「君が代」の意味、「国旗掲揚の国際儀礼」、国旗国歌法について述べられており、「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」や「ラモス瑠偉」選手の写真と新聞記事の引用が掲載されている。 ・ P33 に2011年なでしこジャパンがワールドカップで優勝した写真 <p>○主権や領土等に関する記載</p> <p>我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題もコラム等でしっかりと説明されており理解しやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北方領土、竹島、尖閣諸島 本文1ページで「わが国の領域に関する課題」 見開き2ページのコラム「わが国の領土に関する問題」で、他国による領有権の主張が起こったいきさつの説明 ・ 拉致問題 本文1／4ページで「わが国の安全保障」の説明 見開き2ページのコラム「日本人拉致問題」で横田めぐみさんのポスターの写真等と拉致被害の状況等の説明
育鵬社	<p>○関連ページ</p> <p>p 180～181 「日章旗」を国旗・「君が代」を国歌とすることを法律で定められたと本文に記載。国歌「君が代」の意味や国歌・国旗への敬意の表し方を側注に記載。</p> <p>p 176～177 領土問題について北方領土、竹島をロシア、韓国が不法占拠していること。尖閣諸島を中国や台湾が領有を主張と記載。同ページには、尖閣諸島をめぐる新聞記事と日本の主権範囲の地図中に領土問題について外務省ウェブサイトからの要約を記載。また、p 178～179 には「領土を取り戻す、守るということ」として北方領土、竹島、尖閣諸島の日本の領土である歴史を記載。</p>

p 182～183 北朝鮮による日本人拉致事件として横田めぐみさんの事件と日本政府が拉致被害者と認定している 17 人が拉致された場所と時期を地図にまとめたものを記載。 p 1～2 領土問題と拉致問題を記載。

p 58 には、平和主義と防衛として尖閣諸島中国漁船衝突事件写真を、 p 79 には、人権問題として拉致問題の新聞記事記載。

○国旗・国家に関する記載

国旗及び国歌を尊重する態度を育てる記述となっている。また、国旗が取り扱われる具体的な場面が写真等で紹介されている。国旗、国歌に係る国際的な儀礼が豊富に紹介されており、効果的に学習できる。

・ タイトル「国旗・国歌」

本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」

・ 「オリンピックの表彰式での国旗掲揚の様子」の写真が掲載されている。

・ 脚注「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」

・ コラム「国歌『君が代』の意味」で、国旗や国歌のもつ意味合いと各国の国歌の大意が紹介されている。

○主権や領土等に関する記載

我が国の領域に係る問題についての理解が深まる記載となっている。拉致問題もコラム等でしっかりと説明されており理解しやすい。

・ 北方領土、竹島、尖閣諸島

本文1ページで、「日本の領土をめぐる問題」

側注1/2ページ「日本の主権範囲」で、外務省の見解を要約した説明

見開き2ページのコラム「領土を取り戻す、守るということ」で、島民の思いや返還に向けた取組の様子など

・ 尖閣諸島

側注「尖閣諸島の日本領海内に中国の監視船が侵入したことを伝える新聞記事」の写真と説明

・ 拉致問題

見開き2ページのコラム「北朝鮮による日本人拉致事件」で横田めぐみさんと家族の写真等と拉致被害の状況等の説明

側注「北朝鮮による日本人拉致問題を伝える新聞」に新聞の写真と説明

・ 北方領土、拉致問題

見返しの「私たちを取り巻く課題」のコーナーに「北海道国後島」と「横田めぐみさんと両親」の写真

・ 尖閣諸島

側注「尖閣諸島中国漁船衝突事件」に写真と説明

【社会科（公民的分野）】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	文化交流，国際貢献に関するコラム等の数と具体例

発行者	調査・研究内容	
東書	○コラム等 合計 8個	
	(数)	具体例
	文化交流 (3)	○ 多文化共生のまちづくり-静岡県浜松市の取り組み- ○ 復興への願いを地域芸能にたくす-宮城県石巻市の復興輪太鼓- ○ ドイツの和食レストラン
国際貢献 (5)	○ 一人の医師として世界にできること（「国境なき医師団」の活動に参加した渥美智晶さん） ○ アフリカの人々に安全な水を（NGO「難民を助ける会」の梅田直希さん） ○ 海外で活躍する日本人（技術者，医師，青年海外協力隊員の写真） ○ 日本企業が開発した防虫蚊帳と製造する工場 ○ ガザ地区で母親を対象に栄養改善支援を行う日本のNGOの職員	
○関連ページ等 文化交流 p 20～21 静岡県浜松市のサンバフェスティバルについて記載 p 23 宮城県石巻の復興輪太鼓 p 47 アイヌの音楽 p 198～199 世界とつながる日本の單元の中に文化交流の写真等を記載 国際貢献 p 65 国境なき医師団 p 185 難民を助ける会 活動を紹介 p 8 海外で活躍する日本人 p 198～199 日本の蚊帳，栄養改善支援 p 200 地雷回避教育 ○文化交流，国際貢献ともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。		
教出	○コラム等 合計 9個	
	(数)	具体例
	文化交流 (2)	○ つなげたい，日本の伝統や文化 ○ 折り紙を体験する交流イベント
国際貢献 (7)	○ 国内外に喜びを届ける会社 ○ 公民の窓 難民を祖国に ○ シリア難民の子どもに援助物資を渡すNGO ○ 砂漠の緑化を支援する活動 ○ 子どもたちを保護する施設を訪れた，ユニセフ親善大使の黒柳徹子さん ○ 日本の自衛隊によるPKO活動 ○ 「上総掘り」の技術支援による井戸掘り	
○関連ページ等 文化交流 p 22～23 「つなげたい，日本の伝統や文化」で五重塔の技と知恵，クー		

	<p>ルジャパンを記載 p 192～193 NGOの活動と折り紙 国際貢献 p 155 国内外に喜びを届ける会社 p 185 自衛隊のPKO活動, p 201 井戸掘り P 196 緒方貞子 p 185 黒柳徹子の活動を紹介 ○文化交流, 国際貢献ともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>						
清水	<p>○コラム等 合計 5個</p> <table border="1" data-bbox="359 470 1356 739"> <thead> <tr> <th>(数)</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化交流 (2)</td> <td>○ 和食 ○ ジャパンエキスポに集まったフランスの若者</td> </tr> <tr> <td>国際貢献 (3)</td> <td>○ インドの学校づくりに参加する若者 ○ カンボジアで, 埋められた地雷の探査を行う自衛隊員 ○ 自衛隊による医療支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>○関連ページ等 文化交流 p 10～13 写真と解説で日本文化の世界への広がりを紹介 国際貢献 p 95, 97 に自衛隊の活動を紹介する注釈 ○文化交流, 国際貢献ともに理解が深まるコラム等が複数, 掲載されている。</p>	(数)	具体例	文化交流 (2)	○ 和食 ○ ジャパンエキスポに集まったフランスの若者	国際貢献 (3)	○ インドの学校づくりに参加する若者 ○ カンボジアで, 埋められた地雷の探査を行う自衛隊員 ○ 自衛隊による医療支援
(数)	具体例						
文化交流 (2)	○ 和食 ○ ジャパンエキスポに集まったフランスの若者						
国際貢献 (3)	○ インドの学校づくりに参加する若者 ○ カンボジアで, 埋められた地雷の探査を行う自衛隊員 ○ 自衛隊による医療支援						
帝国	<p>○コラム等 合計 8個</p> <table border="1" data-bbox="359 974 1356 1400"> <thead> <tr> <th>(数)</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化交流 (2)</td> <td>○ グローバル化 外国人と共に生きる社会 ○ 日本文化の博覧会 (フランス)</td> </tr> <tr> <td>国際貢献 (6)</td> <td>○ 日本経済の発展に必要なこと～企業の視点から考える～ ○ 平和 緒方貞子さんに聞く「人間の安全保障」 ○ 輪島塗のおわんと制作された輪島塗のランプ ○ アジアの人々と共に生きる (教育等支援NGO) ○ 世界で活躍する日本人 国境なき医師団 ○ 自衛隊による国際協力 (カンボジア, イラク)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○関連ページ等 文化交流 p 11～13, 16～17, p 142～143 文化の違いで異なる p 17 輪島塗ランプ, 日本文化の博覧会 国際貢献 p 142～143 日本の技術 p 183 緒方貞子 p 182 シャプラニールの活動 p 1～2 国境なき医師団 p 41 地雷撤去の写真 p 180～181 自衛隊の国際貢献写真 ○文化交流, 国際貢献ともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	(数)	具体例	文化交流 (2)	○ グローバル化 外国人と共に生きる社会 ○ 日本文化の博覧会 (フランス)	国際貢献 (6)	○ 日本経済の発展に必要なこと～企業の視点から考える～ ○ 平和 緒方貞子さんに聞く「人間の安全保障」 ○ 輪島塗のおわんと制作された輪島塗のランプ ○ アジアの人々と共に生きる (教育等支援NGO) ○ 世界で活躍する日本人 国境なき医師団 ○ 自衛隊による国際協力 (カンボジア, イラク)
(数)	具体例						
文化交流 (2)	○ グローバル化 外国人と共に生きる社会 ○ 日本文化の博覧会 (フランス)						
国際貢献 (6)	○ 日本経済の発展に必要なこと～企業の視点から考える～ ○ 平和 緒方貞子さんに聞く「人間の安全保障」 ○ 輪島塗のおわんと制作された輪島塗のランプ ○ アジアの人々と共に生きる (教育等支援NGO) ○ 世界で活躍する日本人 国境なき医師団 ○ 自衛隊による国際協力 (カンボジア, イラク)						
日文	<p>○コラム等 合計 4個</p> <table border="1" data-bbox="359 1747 1356 2004"> <thead> <tr> <th>(数)</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化交流 (1)</td> <td>○ 生野コリアタウン共生まつり</td> </tr> <tr> <td>国際貢献 (3)</td> <td>○ ゆるまないねじ-東大阪の中小企業の高い技術力- ○ 日本のさまざまな国際協力 (青年海外協力隊, 企業による蚊帳の普及) ○ 日本の防災協力</td> </tr> </tbody> </table>	(数)	具体例	文化交流 (1)	○ 生野コリアタウン共生まつり	国際貢献 (3)	○ ゆるまないねじ-東大阪の中小企業の高い技術力- ○ 日本のさまざまな国際協力 (青年海外協力隊, 企業による蚊帳の普及) ○ 日本の防災協力
(数)	具体例						
文化交流 (1)	○ 生野コリアタウン共生まつり						
国際貢献 (3)	○ ゆるまないねじ-東大阪の中小企業の高い技術力- ○ 日本のさまざまな国際協力 (青年海外協力隊, 企業による蚊帳の普及) ○ 日本の防災協力						

	<p>○関連ページ等 文化交流 p 15 文化の違い p 17 日本における文化の受容と創造 p 53 アイヌ文化の体験学習, コリアンタウン 国際貢献 p 141 日本の技術 p 190~191 日本のさまざまな国際協力 p 201 日本の防災協力 ○文化交流, 国際貢献ともに理解が深まるコラム等が複数, 掲載されている。</p>						
自由社	<p>○コラム等 合計 1個</p> <table border="1" data-bbox="359 548 1348 694"> <thead> <tr> <th>(数)</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化交流 (0)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>国際貢献 (1)</td> <td>○ もっと知りたい 国連平和協力活動への取り組み</td> </tr> </tbody> </table> <p>○関連ページ等 国際貢献 p 166~167 国連平和協力活動への取り組み ○国際貢献に係る理解が深まるコラム等が掲載されている。</p>	(数)	具体例	文化交流 (0)	なし	国際貢献 (1)	○ もっと知りたい 国連平和協力活動への取り組み
(数)	具体例						
文化交流 (0)	なし						
国際貢献 (1)	○ もっと知りたい 国連平和協力活動への取り組み						
育鵬社	<p>○コラム等 合計 11個</p> <table border="1" data-bbox="359 884 1348 1646"> <thead> <tr> <th>(数)</th> <th>具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化交流 (5)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無形文化遺産「和食」 ○ 「ともに生きる」ためにできること (在日外国人と多文化社会) ○ 人は何のために働くのか 世界最速の「魅せる掃除」 ○ 私たちのまわりのクールジャパン ○ フランス式庭園と日本庭園 </td> </tr> <tr> <td>国際貢献 (6)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界で活躍する日本人 (羽生結弦, 井原慶子, 若田光一, 中村修二, 千玄室他) ○ 水は命に直結する (日本の小学校の募金活動でミャンマーにできた井戸) ○ 国連平和維持活動 (PKO) で南スーダンで活動する自衛隊, 台風の被害を受けたフィリピンで診察をする JICA 医療チーム ○ ラオス市内を走る日本のODAにより贈られたバス ○ ジュニア・エイト (J8) サミットで環境や貧困の問題などについて話し合う世界の中高生 ○ 日本のメーカーがアフリカで現地生産する蚊帳 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○関連ページ等 文化交流 p 33, p 70, p 144 魅せる掃除, p 169 「クールジャパン」として, アニメ マンガ 日本食を紹介, p 25 庭園 国際貢献 p 144~145 p 175 水は命に直結する p 2 PKO JICA p 190~191 ODAの活動写真 p 204 日本の蚊帳 ○文化交流, 国際貢献ともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	(数)	具体例	文化交流 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無形文化遺産「和食」 ○ 「ともに生きる」ためにできること (在日外国人と多文化社会) ○ 人は何のために働くのか 世界最速の「魅せる掃除」 ○ 私たちのまわりのクールジャパン ○ フランス式庭園と日本庭園 	国際貢献 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界で活躍する日本人 (羽生結弦, 井原慶子, 若田光一, 中村修二, 千玄室他) ○ 水は命に直結する (日本の小学校の募金活動でミャンマーにできた井戸) ○ 国連平和維持活動 (PKO) で南スーダンで活動する自衛隊, 台風の被害を受けたフィリピンで診察をする JICA 医療チーム ○ ラオス市内を走る日本のODAにより贈られたバス ○ ジュニア・エイト (J8) サミットで環境や貧困の問題などについて話し合う世界の中高生 ○ 日本のメーカーがアフリカで現地生産する蚊帳
(数)	具体例						
文化交流 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無形文化遺産「和食」 ○ 「ともに生きる」ためにできること (在日外国人と多文化社会) ○ 人は何のために働くのか 世界最速の「魅せる掃除」 ○ 私たちのまわりのクールジャパン ○ フランス式庭園と日本庭園 						
国際貢献 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界で活躍する日本人 (羽生結弦, 井原慶子, 若田光一, 中村修二, 千玄室他) ○ 水は命に直結する (日本の小学校の募金活動でミャンマーにできた井戸) ○ 国連平和維持活動 (PKO) で南スーダンで活動する自衛隊, 台風の被害を受けたフィリピンで診察をする JICA 医療チーム ○ ラオス市内を走る日本のODAにより贈られたバス ○ ジュニア・エイト (J8) サミットで環境や貧困の問題などについて話し合う世界の中高生 ○ 日本のメーカーがアフリカで現地生産する蚊帳 						

【社会科（公民的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
観点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	大項目の導入における興味・関心を高める問いや資料の工夫及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大項目の導入部分では、1ページで3枚程度の写真や絵、イラストを豊富に掲載している。 ・ 小学校での既習事項や学習内容の読み取りの視点などに気づかせるために、「どうして」「どのような」といったキャラクターの吹き出しがある。 ・ 例 現代の民主政治と社会 「衆議院本会議場」「霞ヶ関の官庁街」「帝国議会の議場」の写真が掲載され、それに対し、キャラクターによる「国会での話し合いは、私たちの生活とどのように関係しているのだろう。」という問いが掲載されている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大項目の導入部分では、1ページに学習内容に関連した写真を3枚掲載している。中学生が実際に活動している場面などを掲載したり、日常生活に関連する身近なトピックを取り上げたりしている。問いはない。 ・ 例 私たちの暮らしと民主政治 「市議会議場で行われた『子ども議会』と「生徒会役員の選挙」、『模擬裁判』を行う中学生」の写真が掲載されている。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大項目の導入として「人物をクローズアップした扉」を設け、1ページに1名の人物が掲載されている。序編・政治編・経済編・国際編それぞれの扉ページには、学習内容と深く関係する人物、例えば、レイチェル・カーソンやムハマド・ユヌス、中村哲などの人物や、その人物の活動や著作の一部などを取り上げている。問いは掲載されていない。 ・ 例 私たちの生活と政治 ネルソン・マンデラについて掲載されている。上段には「はじめて全人種が参加した選挙」の写真とその人物に関する説明が掲載されている。下段には、ネルソン・マンデラの写真と自伝からの引用文が掲載されている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各大項目の導入として、1ページの中央に単元の内容に関するビジュアルな写真が1枚掲載されている。写真の下には、大項目の概要が掲載されている。問いは掲載されていない。 ・ 例 私たちと民主政治 ページ中央に「衆議院議員選挙の投票所」の写真が掲載されている。その下に「私たちがのぞむ社会を実現するためにはさまざまな方法がありますが、おもな手段となるのは、選挙に行って私たちの代表を選び、みずからの意思を示すことです。」など学習のねらいが掲載されている。

<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大項目の導入は、1 ページに2～3 枚程度の写真が掲載されている。また、その項目の概要が記載されており、キャラクター2 人が写真の説明をしたり、「～だよ」といった問いを発したりしている。 ・ 例 <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と政治 国民主権と日本の政治 ページの上段には、「私たちの暮らしを支えている国や地方の政治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。また、選挙や裁判員制度など、私たちが主権者としてどのように政治に参加していくのかを学習していきましょう。」という学習のねらいが掲載されている。 「子ども国会」と「参議院議員選挙の開票作業」の写真が掲載されており、キャラクター2 人による「子ども国会は実際の参議院の本会議場で行われたんだよ。」「選挙権は私たちの考えを、政治に反映するたいせつな権利だよ。」という説明が掲載されている。
<p>自由社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大項目の導入は、1 ページに学校の入学式や日本の四季のイラストが掲載されている。項目名の下に項目の内容にかかわる事象について、「～だろうか」といった問いが2 つ程度記載されている。 ・ 例 <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と立憲的民主政治—民主政治と政治参加— 日本の風景（京都市清水坂）のイラストが掲載されており、単元名の下に単元の内容に関わる事象についての問いとして、「日本の最も大切な決まりである憲法は、国家の形をどのように決めているのだろうか。憲法の決まりのもとで、私たちはどのように生きなければならないのだろうか。」という問いが記載されている。
<p>育鵬社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大項目の導入は、1 ページに2～3 枚の写真が掲載されている。写真はその項目に関係する社会的事象や人物で、それぞれの写真に対して、キャラクターによる「どのような」「どれくらい」という形式の問いが掲載されている。 ・ 例 <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と政治—民主政治と政治参加— 「立候補者の選挙演説を聞く人々」の写真と「南極海を航行中の観測船『しらせ』船内で、選挙の立会人を務める観測隊員から送信方法のアドバイスを受けながらファックスで投票する観測隊員」の写真が掲載されている。 ページ左側には、キャラクター2 名による「日本の選挙制度はどのようなしくみになっているのかしら。」「立候補者はどのようなことを訴えているのかな。」という問いが掲載されている。 【使用実績に関すること】 <ul style="list-style-type: none"> キャラクターによる問いが、この大項目で考えなければならないのかを簡潔に示しており、導入時の興味・関心を高めている。

【社会科（公民的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	呉市や広島県に関わる資料の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真11部、イラスト1部、地図1部である。 → 写真では、巻頭の「公民学習の初めに」の「広島平和記念式典」や巻末の「私たちにできる社会参画」の「広島を訪れる外国人に配るために、平和記念公園の折り鶴をリサイクルしたカードにメッセージを書く中学生」が掲載されている。解説はない。 → P110～111「私たちの政治参加」では、広島県福山市鞆町の地域調べ学習を行うための材料として、その学習方法やそれに関連した鞆町の伝統的な町並みの写真、福山市の位置を示す地図、江戸時代の浮世絵に描かれた鞆町のイラスト、ウェブページ、パンフレットなどが見開きのページに掲載されている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真1部である。 → 巻末「未来へ歩み続ける人々」の「平和へのメッセージを書いたカードの作成」として広島市の例を解説とともに取り上げている。
清水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真6部である。 → P15「少子高齢社会の未来」の「超低床の路面電車」が解説とともに掲載され、P54「新しい人権を求めて」のコラム「鞆の浦、埋め立て架橋計画」では、写真や地図、説明文が昔と比較しながら福山市鞆町が掲載されている。P92「戦争の惨禍と日本国憲法の平和主義」では、「広島爆心地」、「原爆ドーム」の写真が掲載されている。巻末「日本の無形文化遺産」に、「壬生の花田植え」の写真と解説が掲載されている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真2部である。 → P40 クローズアップ「戦争の惨禍をくり返さないために」に、「広島平和記念式典」の写真と解説、「原爆投下直後の原爆ドーム」の写真が掲載されている。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真7部、新聞記事2部である。 → 写真では、P17「日本の伝統文化の特徴と多様性」で「現代に生かす伝統的な筆づくりとして熊野町の筆づくり」が解説とともに、P68「日本国憲法の平和主義」で被爆直後の広島市内の様子と原子爆弾のきのこ雲がページの上部に掲載されている。P75「国民主権と日本の政治」の導入部分で、参議院議員選挙の開票作業の写真として東広島市のようすがページの下部に掲載されている。P145「現代の雇用」で「契約社員を正社員にした鉄道会社」として広島市の例を解説とともに取り上げている。P175の第4編「私たちと国際社会」の導入部分で、「核廃絶に関する国連の会議に参加した各国代表と子ども」の写真がページ下部に掲載されている。P188「世界の

	<p>軍縮と日本」の「平和への誓い」の一部と「平和記念式典」の写真が上部に掲載されている。巻末に「残していきたい日本の風景」として、宮島にある「厳島神社」が掲載されている。</p> <p>→ 新聞記事では、P79「選挙の意義としくみ」の「一票の格差」の問題で、広島1区・2区を取り上げ、P188「世界の軍縮と日本」のページ左下には、「被爆体験を語りつぐ事業」の記事が解説とともに取り上げられている。</p>
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、0部である。 ・ 広島県の資料は、写真1部である。 <p>→ P168「核兵器の脅威と向き合う」で、「広島市の原爆の被害」の様子を撮影した写真が掲載されている。</p>
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市の資料は、写真1部である。 <p>→ 巻末の「持続可能な社会をめざして」で、瀬戸内海に浮かぶカキいかだの写真が掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県の資料は、写真3部、地図（解説）1部である。 <p>→ 写真では、P25「文化の意義と影響」の高校生の神楽甲子園で安芸高田市の古来の神楽が解説ともに、P64「法の下での平等」では「育児休暇をとり、長女を幼稚園に迎えに来た湯崎英彦広島県知事」、P117「私たちのまちづくり」で尾道市の「港町や農村漁村の祭礼・行事が彩る歴史的風致」の写真が掲載されている。</p> <p>→ 地図（解説）では、P113「海を渡る『友愛の水』」について、広島県から愛媛県上島諸島に県境を越えて水を分けるというプロジェクトについて掲載されている。</p>

【社会科（公民的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	「よりよい社会を目指して」における課題探究の手順

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P206～212（7 ページ）では，持続可能な社会の形成について，これまでの学習の成果を生かして，環境，人権，平和，伝統文化などの側面から追究し，そのために一人一人ができることについて考えられるようにされており分かりやすい。 テーマを「持続可能な社会の形成」としている。 課題探究の方法を，社会の課題を見つけ出す，解決のための取り組みを考える，持続可能な社会の実現に向けて探究を続けるとしており，手順は次の通りである。 1 テーマの設定，2 資料の収集と読み取り，3 考察 4 レポートの完成
教出	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P208～214（7 ページ）終章「私たちにできること」では，社会科のまとめとして地理や歴史での学習もふまえながら，7 ページで持続可能性を妨げる今日的な課題とその解決について探究するようにされており分かりやすい。 自己との関わりから『未来への私の約束』をつくろう」テーマに，1 テーマを選ぶ，2 「未来への私の約束」を実際につくる，3 「約束」を表現する「作品」をつくる，の手順で作成する活動に取り組んでいる。
清水	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P186～187（2 ページ）公民的分野の学習が小・中学校社会科のまとめに位置することを考慮し，本書の締めくくりに「卒業論文を書いてみよう」の課題ページを2 ページ設けている。 持続可能な社会を築くために，「①テーマを決めよう→②情報を集めよう→③取材に行ってみよう→④調査の結果をまとめて論文を書こう→⑤レポートにまとめて発表しよう」の手順で卒業論文を書くようにしている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P198～203（6 ページ）「より良い社会をめざして」では，「持続可能な社会をめざして」と題し，6 ページで，発展途上国の教育についてのレポート作成を例に，探究の流れが示されており分かりやすい。 課題探究の手順として，①課題を設定しよう→②課題探究の計画を立てよう→③課題を調査しよう→④レポートを作成し発表しようの流れでまとめる。
日文	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P206～216（11 ページ）「私たちの課題」の公民の学習の最後に行うレポート「これからの社会をどんな社会にしたい？」の作成では，具体的なテーマと作成手順が提示されており分かりやすい。 課題探究の手順として，①課題の設定→②資料の収集と読み取り→③考察→④まとめ方を「変わる国連のはたらき」「日本のエネルギー問題」など5つの課題例を取り上げながら説明している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 P184～193（10 ページ）の終章では，課題の探究「レポートと卒業論文をつくろう」「ディベートをやってみよう」「ディベート実践例」の3つの具体例が掲載されており分かりやすい。 課題探究の手順は，①課題を見つけよう→②選択した課題について調べよう→③解

	<p>決の方法を考えてみよう→④卒業論文にまとめる（序論→本論→結論）である。</p>
<p>育鵬社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P209～215 (7ページ) 社会科のまとめとして、「持続可能な社会の形成」という観点から、「私は内閣総理大臣『〇〇な国, 日本』国づくり構想を立てよう」をテーマに、テーマの設定から、プレゼンテーションを通じてレポートにまとめるまでの一連の学習の流れを示している。6ページでまとめられており分かりやすい。 ・持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を、①テーマを決めよう→②「国づくり構想」をつくろう→③プレゼンテーションしよう→④「国づくり構想」の見直し→⑤レポート作成 の手順で探究させ、自分の考えをまとめさせている。 ・レポート作成にあたっては、テーマを決める際、KJ法やウェビングマップ等を活用し、関係の深いキーワードを整理して、具体的なテーマを設定している。

【社会科（公民的分野）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の事例数と主体的な学習につながる具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【事例数】 24</p> <p>【事例】 話し合い、ディベート、身近な地域の調査、伝統文化継承の取組調べ、人権保障の取組調べ、選挙シミュレーション、新聞社説の比較、裁判傍聴、模擬裁判、地方公共団体調べ、条例調べ、地方財政の変化調べ、住民参加の工夫調べ、政治参加について地域調べ、防災や減災の取組調べ、ロールプレイ、環境ラベル調べ、四大公害調べ、市町村の環境保全の取組調べ、TPP交渉調べ、お弁当の企画書作成、現代戦争や紛争調べ、ウェビングマップの作成、模擬国際会議</p> <p>【具体例】 P 68 「ちがいのちがいを追究しよう～ディベート」 P 93 側注「実際の裁判を傍聴してみよう」 P 164 「コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。 <u>現代の民主政治と社会</u> ・ 「裁判所では、だれでも裁判を傍聴できます。裁判所に行って、実際の裁判を傍聴してみよう。」 ・ 「模擬裁判をやってみよう」「もし将来、裁判員に選ばれたら、被告人が有罪か無罪か、有罪ならどのような刑罰にすべきかについて議論し、決定することになります。次の架空の事件について、裁判員になったつもりで、被告人が有罪か無罪か話し合みましょう。」</p>
教出	<p>【事例数】 8</p> <p>【事例】 新聞記事スクラップ作成、ディベート、裁判員制度のシミュレーション、裁判傍聴、プレゼンテーション、ポスターセッション、レポートの作成、クラスで意見交換</p> <p>【具体例】 P 58 「犯罪の防止か、プライバシーの保護か～ディベート」 P 102 「もしも私が裁判員裁判に参加したら～シミュレーション」 P 114 「まちづくりのアイデアを提言しよう～プレゼンテーション」 P 142 「企業にこんなCSRを行ってほしい～ポスターセッション」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。 <u>私たちの暮らしと民主政治</u> ・ 「～裁判傍聴に行ってみよう」「裁判に行くというと、難しい手続きが必要になると思いがちですが、私たちも簡単に裁判傍聴ができます。」 ・ 「もしも私が裁判員裁判に参加したら」「将来、私たちも裁判員として刑事裁判に参加し、有罪か無罪かの判断をくださる場面をむかえるかもしれません。ここでは、実際に起こった事件を題材にして、自分が裁判員に選ばれたつもりで判決について考えてみましょう。」「学習のまとめと表現」というページが各章の最後に設けられている。</p>

<p>清水</p>	<p>【事例数】 21</p> <p>【事例】 各政党の政策調べ、国家による思想・宗教の強制例を調べる、選挙の投票率調べ、マスコミの報道訂正例調べ、政党マニフェスト調べ、国会議員の特権調べ、法律調査、首相の動静調べ、クレジットカードの仕組み調べ、日本経済に影響する外国のうごき調べ、企業の配当金調べ、人気商品の製造元調べ、銀行の利子率調べ、円相場に関する新聞記事調査、公共事業等の具体例調べ、税金の使途調べ、市町村の予算調べ、労働問題の事例調べ、規制緩和の例調べ、現代の紛争調べ、南北問題の調査</p> <p>【具体例】 P26 「インターネットで各政党のホームページを開き、それぞれどのような政治を実現しようとしているのか、政策を調べてみよう」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動が設けられている。 <u>国民主権</u> ・ 「刑事裁判と民事裁判」「事件発生！Aさんは道路を横断中のBさんを車ではねて逃げてしまった。」「Bさんは全治6か月のけがを負った…。」 「刑事裁判の流れ」「被疑者・被告人は、取り調べや裁判において、いっさいの供述を拒否する権利がある。また、弁護士（弁護士）を選ぶ権利がある。」</p>
<p>帝国</p>	<p>【事例数】 11</p> <p>【事例】 騒音問題のロールプレイ、ディベート、新聞スクラップの作成、事実と意見の区別、裁判における主張の整理、裁判傍聴、より良いまちづくりのためのカードによる整理、KJ法等での意見の分類・整理、まちの予算作成、企業の企画書作成、ディスカッション</p> <p>【具体例】 P26 「マンションの騒音問題を解決しよう～ロールプレイング」 P56 「青果店を営む男性はどうなる？～ディベート」 P64 「新聞について知ろう～事実と意見を区別」 P82 「裁判の判決を考えよう～裁判傍聴」 P96 「自分が住むまちのまちづくりを考えよう～意見を整理」 P144 「企業の企画書を完成させよう」 P154 「赤字バス路線に税金を使うべきか？～ディスカッション」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。 <u>国民として国の政治を考えよう</u> ・ 「裁判を傍聴してみよう。」「日本国憲法第37、82条では裁判の公開が定められており、原則としてだれでも自由に傍聴できます。予約や身分証の提示も必要ありません。」 ・ 「裁判の判決を考えよう～対立する主張を整理してみよう～」「～裁判員制度が導入されたことで、私たちも裁判に参加し、判決を考えることになるかもしれません。ここでは実際に起きたある事件を題材に、自分なりの判決を考えてみましょう。」</p>
<p>日文</p>	<p>【事例数】 15</p> <p>【事例】話し合い、ブレインストーミング、死刑制度等に係るディベート、消費税に係る議論、環境問題のロールプレイ、施設調査、インタビュー調査、社会参画の提案、年金シミュレーション、携帯電話のルールづくり、金利の計算、新聞の調査、地域の名物等の調査、まちの財政調査、株の動き調べ</p> <p>【具体例】 P72 「表現の自由について考えよう～ブレインストーミング」 P116 「一票の格差の問題を考えよう～ディベート」</p>

	<p>P172 「これからの消費税を考えよう～議論」 P202 「地球温暖化に対する政策を考えよう～ロールプレイ」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。</p> <p><u>国民主権と日本の政治</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「裁判傍聴の注意」「裁判所敷地内では、写真撮影、録音等はできません（メモは原則として自由です）。」 ・ 「裁判員裁判シミュレーション」「このページでは、みなさんが将来参加するかもしれない裁判員裁判の手順をシミュレーションしてみましよう。みなさんの判決は、有罪でしょうか、無罪でしょうか。」
<p>自由社</p>	<p>【事例数】 2</p> <p>【事例】 環境問題に係るディベート、新聞の内容や配列のちがいを調べ</p> <p>【具体例】 P188 「ディベートをやってみよう」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動が設けられている。</p> <p><u>日本国憲法と立憲的民主政治</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「裁判員制度」「裁判員制度とは、何を期待されて始まったのだろうか。どんなしくみののだろうか。」
<p>育鵬社</p>	<p>【事例数】 20</p> <p>【事例】 話し合い、ディベート、国際問題の重要度をランキング、「自分の過去・現在・未来シート」の作成、インタビュー、身近な祭りの調査、各新聞社の社説によるディベート、裁判の傍聴、裁判員制度のロールプレイ、パンフレット作成、企業訪問、ウェビングマップの作成、最近成立した法律について新聞や国会のウェブサイトを利用して調査する、内閣総理大臣の仕事調べとまとめ、自分の住む地域の条例調べ、住民の政治参加を促すための地域の取組調査、貯蓄の目的を家族に聞き取り調査、日本経済が今後成長するために必要なことを議論、日本の領土問題について外務省のウェブサイトでも調査、宗教が原因とされる政治的対立や紛争について書かれた新聞記事の概要まとめ</p> <p>【具体例】 P95 「ディベートをやってみよう」 P107 「裁判を傍聴しよう」 P110 「裁判員になって判決を考えよう」 P118 「観光資源を探そう」</p> <p>【主体的な学習につながる具体例】 主体的な学習につながる活動として効果的な学習展開となっている。</p> <p><u>私たちの生活と政治</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「裁判を傍聴しよう」「裁判はだれでも自由に傍聴することができます。」 ・ 「裁判員になって判決を考えよう」「あなたが裁判員として裁判に参加した場合、次の事例について、どのような判断を下しますか。『裁判員制度のしくみ』と『検察官と弁護人の意見』を参考にして、被告人が有罪か無罪か評議してみましよう。」

【社会科（公民的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
観点	⑦大項目の分量
方法	大項目のページ数

発行者	調査・研究内容 (%)
東書	私たちと現代社会…計28ページ(11) 私たちと政治…計84ページ(33) 私たちと経済…計50ページ(20) 私たちと国際社会の諸課題…計46ページ(18) その他…計45ページ(18) 計253ページ(100)
教出	私たちと現代社会…計22ページ(9) 私たちと政治…計84ページ(33) 私たちと経済…計60ページ(23) 私たちと国際社会の諸課題…計38ページ(15) その他…計51ページ(20) 計255ページ(100)
清水	私たちと現代社会…計18ページ(8) 私たちと政治…計74ページ(32) 私たちと経済…計62ページ(27) 私たちと国際社会の諸課題…計28ページ(12) その他…計47ページ(21) 計229ページ(100)
帝国	私たちと現代社会…計28ページ(12) 私たちと政治…計74ページ(31) 私たちと経済…計60ページ(25) 私たちと国際社会の諸課題…計42ページ(17) その他…計37ページ(15) 計241ページ(100)
日文	私たちと現代社会…計30ページ(11) 私たちと政治…計88ページ(34) 私たちと経済…計56ページ(21) 私たちと国際社会の諸課題…計42ページ(16) その他…計47ページ(18) 計263ページ(100)
自由社	私たちと現代社会…計36ページ(15) 私たちと政治…計70ページ(30) 私たちと経済…計36ページ(15) 私たちと国際社会の諸課題…計52ページ(22) その他…計43ページ(18) 計237ページ(100)
育鵬社	私たちと現代社会…計34ページ(13) 私たちと政治…計78ページ(31) 私たちと経済…計50ページ(20) 私たちと国際社会の諸課題…計45ページ(18) その他…計46ページ(18) 計253ページ(100)

【社会科（公民的分野）】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑧補充的・発展的な教材の内容の記述の状況
方法	補充的・発展的な教材の数と具体例及び大項目ごとのバランス

発行者	調査・研究内容	
東書	計 32個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化の継承と私たち
	政治 (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会と私たち ・ アイヌ民族と先住民族の権利 ・ 東日本大震災からの復興と防災 ・ 沖縄と基地 ・ バリアフリーについて考えよう ・ 私の選ぶ順番は ・ 「公共の福祉」について考えよう ・ 尊厳死をめぐる議論 ・ プライバシーの権利と表現の自由について考えよう ・ 多数決について考えよう ・ 選挙シミュレーション ・ 新聞でメディアリテラシーを身につけよう ・ 模擬裁判をやってみよう ・ さまざまなユニーク部署 ・ 自転車の安全な利用を目指してー福岡市の自転車安全利用条例ー ・ 地方財政（歳出）の変化を調べよう ・ 私たちの政治参加
	経済 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害のない社会へ ・ 貿易の自由化と日本 ・ お金の使い道を考えよう ・ 広告について考えよう ・ 利潤の配分について考えよう ・ 働くことについて考えよう ・ 需要量・供給量・価格の関係について考えよう ・ 日本の社会保障と財政の在り方を考えよう ・ 円高・円安の影響について考えよう
国際社会 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本のエネルギー政策のこれから ・ パレスチナ問題と中東和平 ・ 温室効果ガスの排出削減について考えよう ・ 貧困問題の解決について考えよう ・ 文化の多様性について考えよう 	

	<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材が十分掲載されている。</p>	
教出	計 13個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ つなげたい, 日本の伝統や文化 ・ 「情報リテラシー」ってなんだろう～情報の入手と活用
	政治 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ とともに生きる社会をみざす人たち ・ 国際社会の厳しい現実と平和主義 ・ 犯罪の防止か, プライバシーの保護か～ディベート ・ もしも私が裁判員裁判に参加したら～シミュレーション ・ まちづくりのアイデアを提言しよう～プレゼンテーション
	経済 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済を動かすもの・人・お金 ・ 需要曲線と供給曲線ってなんだろう ・ 貿易とはなんだろう ・ 企業にこんなCSRをやってほしい～ポスターセッション ・ 福祉の課題を追究しよう～レポートの作成
	国際社会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の外交のいま
	<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材が掲載されている。</p>	
清水	計 23個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の文化を考えてみよう
	政治 (11)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法改正について考える ・ 冤罪と日本国憲法—憲法とは何か? ・ 平等権について考える ・ 社会権について考える ・ 人権を守る心は国境をこえて ・ 選挙をめぐる問題 ・ 裁判員制度について考える/少年事件と家庭裁判所 ・ 地域活性化・復興に向けた地域の取り組み ・ 日本国憲法に定められた基本的人権の分類例 ・ 行政のしくみ/日本の内閣総理大臣とアメリカの大統領 ・ 刑事裁判と民事裁判
	経済 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の大きな強み/起業に期待! ・ この株, いくら?/為替とクレジットカードのしくみ ・ 日本経済のあゆみ ・ TPPと日本 ・ 社会保障のしくみ ・ 知っておきたい労働者の権利

		<ul style="list-style-type: none"> ・ かしこい消費者になろう！
	国際社会 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核兵器廃絶に向けて ・ 国際連合のはたらき／地域統合のうごきと課題―連携を深めるEU ・ 地球環境の危機 ・ 卒業論文を書いてみよう
	<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材が十分掲載されている。</p>	
帝国	計 13個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンションの騒音問題を解決しよう
	政治 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災とまちづくり ・ 青果店を営む男性はどうなる？ ・ 新聞について知ろう ・ 裁判の判決を考えよう ・ 自分が住むまちのまちづくりを考えよう
	経済 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らしをするならどこに住む？ ・ 日本経済の発展に必要なこと ・ 少子高齢社会における日本の財政 ・ 企業の企画書を完成させよう ・ 赤字バス路線に税金を使うべきか？
	国際社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境問題の解決に向けて ・ より良い未来をめざして
	<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材が掲載されている。</p>	
日文	計 31個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口ピラミッドの変化 ・ きまりについて考えてみよう
	政治 (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーの社会をめざして―堺市を例に― ・ 京都の景観とまちづくり ・ 15歳は「子ども」？ それとも「大人」？ ・ 環境保全への取り組み―千葉県船橋市― ・ 裁判員裁判シミュレーション ・ 大きな政府と小さな政府 ・ 表現の自由について考えよう ・ 一票の格差の問題を考えよう―ディベート― ・ 多数決で決めてよいこと悪いこと ・ ユニバーサルデザインを考えてみよう

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間らしく生きるために必要なものは？ ・ 携帯電話のルールづくり ・ 選挙制度 ・ 新聞を活用しよう ・ 地域の名物を見つけよう！ ・ あなたのまちの財政を調べよう ・ ディベート「死刑制度」
	経済 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15歳のハローワーク ・ 金融スキルアップ ・ 年金シミュレーション ・ これからの消費税を考えよう ・ 消費者主権を考えよう ・ 需要と供給について考えよう ・ 株価の動きを調べよう ・ 株式投資をしてみよう ・ 給与明細を読み取ろう ・ ボランティア活動をしよう
	国際社会 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化に対する政策を考えよう ・ 地球環境のためにできること
<p>バランス</p> <p>どの大項目にも補充的・発展的な教材が十分掲載されており、バランス良く配置されている。</p>		

自由社	計 21個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学とは何だろう ・ 芸術とは何だろう ・ 宗教とは何だろう ・ 男女共同参画社会を考えよう
	政治 (9)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権思想の発展 ・ 立憲主義を受け入れやすかった日本の政治文化 ・ 天皇のお仕事 ・ 権利の平等に関する問題 ・ 新しい権利 ・ わが国の安全保障の課題 ・ 選挙制度と政治参加 ・ 情報化とは何だろう ・ 裁判員制度
	経済 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業はだれのものか ・ 年金について考えてみよう
	国際社会 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国旗と国歌を考えてみよう ・ わが国の領土に関する問題 ・ 冷戦下の国連の苦難 ・ 国連改革とわが国の取り組み ・ 日本人拉致問題 ・ 国連平和協力活動への取り組み
<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材がバランス良く配置されている。</p>		
育鵬社	計 24個	
	大項目 (数)	具体例
	現代社会 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族が生きてきた時代を調べよう ・ 日本の伝統文化 ・ 身近な祭りを調べてみよう
	政治 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の平等と家族の価値 ・ 「ともに生きる」ためにできること ・ 人種差別をなくすために ・ 世界の人権問題 ・ 新聞の社説を比べてみよう ・ だれもが活躍できる社会へ ・ ディベートをやってみよう！ ・ 裁判を傍聴しよう ・ 裁判員になって判決を考えよう ・ 観光資源を探そう
	経済 (6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の社会貢献 ・ 企業を訪問してみよう

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人は何のために働くのか ・ 私たちのまわりのクールジャパン ・ 銀行員になって融資してみよう ・ もしも警察がなかったら？
	<p>国際社会 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 領土を取り戻す, 守るということ ・ 北朝鮮による日本人拉致事件 ・ 東日本大震災—国民の絆, 世界の絆 ・ 地球環境問題と日本 ・ 1964年と2020年 東京オリンピック・パラリンピックの時代
<p>バランス どの大項目にも補充的・発展的な教材が十分掲載されており, バランス良く配置されている。</p>		

【社会科（公民的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨イラスト，写真等の資料の活用
方法	イラスト，写真等の資料の掲載数及び種類

発行者	調査・研究内容				
東書	期	翼	行外	職	方
	私たちと現代社会	74	10	13	12
	私たちと政治	112	81	42	25
	私たちと経済	62	19	46	49
	私たちと国際社会の諸問題	90	5	23	24
	よりよい社会をめざして	11	3	3	0
	合計	349	118	127	110
	総合計 704				
学習のねらいに沿って，イラストが配置されている。 AB判					
教出	期	翼	行外	職	方
	私たちと現代社会	50	6	5	9
	私たちと政治	109	63	37	32
	私たちと経済	83	8	36	54
	私たちと国際社会の諸問題	60	5	15	16
	よりよい社会をめざして	10	3	2	1
	合計	312	85	95	112
	総合計 604				
学習のねらいに沿って，イラストが配置されている。 AB判					
清水	期	翼	行外	職	方
	私たちと現代社会	33	1	1	9
	私たちと政治	72	32	19	9
	私たちと経済	56	10	26	36
	私たちと国際社会の諸問題	14	1	5	2
	よりよい社会をめざして	19	1	5	8
	合計	194	45	56	64
	総合計 359				
学習のねらいに沿って，イラストが配置されているがやや少ない。 B5判					

帝国	大題	撰	付外	蹊	㍻
	私たちと現代社会	40	9	7	9
	私たちと政治	96	71	30	20
	私たちと経済	54	15	39	66
	私たちと国際社会の諸問題	61	4	22	6
	よりよい社会をめざして	4	2	2	3
	合計	255	101	100	104
総合計 560					
学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。 AB判					
日文	大題	撰	付外	蹊	㍻
	私たちと現代社会	73	9	18	21
	私たちと政治	112	98	33	28
	私たちと経済	70	14	78	47
	私たちと国際社会の諸問題	62	2	20	19
	よりよい社会をめざして	14	1	4	9
	合計	331	124	153	124
総合計 732					
学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。 AB判					
自由社	大題	撰	付外	蹊	㍻
	私たちと現代社会	37	6	7	10
	私たちと政治	58	43	13	7
	私たちと経済	36	2	19	15
	私たちと国際社会の諸問題	29	1	27	11
	よりよい社会をめざして	14	3	3	3
	合計	174	55	69	46
総合計 344					
学習のねらいに沿って、イラストが配置されているがやや少ない。 B5判					
育鵬社	大題	撰	付外	蹊	㍻
	私たちと現代社会	130	3	14	9
	私たちと政治	110	90	22	14
	私たちと経済	72	3	34	30
	私たちと国際社会の諸問題	60	0	12	10
	よりよい社会をめざして	0	1	5	0
	合計	372	97	87	63
総合計 619					
学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。 AB判					
【使用実績に関すること】 写真や資料が豊富で、語句や状況の説明に具体的なイメージをもたせることができ、生徒の理解を手助けできている。					

【社会科（公民的分野）】

観点	内容の表現・表記
視点	⑩本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注等の掲載数と扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>掲載数 271個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターによる吹き出しで「経済は私たちの生活とどのように関わっているのかな。」と記載している。 ・「ためしてみよう」のコーナーで「1」のA～Fの場面で購入する商品を、財とサービスに分類しましょう」と投げかけている。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きのまとめとして「確認」のコーナーを設けている。「より良い消費生活を営んでいくために必要なことは何か、次の語句を使って40字程度で説明しましょう。【収入/選択】」 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「消費者契約法による契約の取り消し要件」に関して、イラスト付きで①～⑤のパターンを示した上で、「契約締結から5年以内で、違法であることに気づいてから1年以内であれば、契約を取り消せます。」と記述している。
教出	<p>掲載数 328個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターによる吹き出しで「昔から家計簿ってあるんだね。どうして家計簿をつけるんだろう。」と記載している。 ・見開きの最初で「家計は経済活動の中で、どのようなはたらきをしているのでしょうか。」と投げかけている。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえる」というコーナーで2段階に分けてまとめをさせている。「ステップ1：家計の経済活動とはどのようなものか、確かめよう。ステップ2：お小遣いの内、どれだけ消費にまわし、どれだけ貯蓄にまわすか、ふだんの自分の基準を考えよう。」 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「所得」の説明として「収入から、収入を得るために必要な費用を差し引いたものが所得です。その所得のうち、税金や社会保険料を差し引いた、自由に使える部分を可処分所得といい、消費しなかった残りは、貯蓄などにまわされます。」

清水	<p>掲載数 339個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標として別囲みで「私たち消費者が、買い物であれこれ選択できるのは、なぜだろうか?」と記載している。 ・イラストの吹き出しによる発問もある。「コンビニのおにぎりはどんな原料からつくられ、どのようなルートを通して店に並ぶのだろうか。ノートに書き出してみよう。」 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調査」というコーナーで「商品として生産されているサービスの例を出し合ってみよう。」などと投げかけることで、随所でまとめる作業をさせている。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市場」の説明として「市場(いちば)も市場(しじょう)も、ともに生産者と消費者が出あう場である。『いちば』は、ある特定の場所をさすのに対して、『しじょう』は、その機能(役割)に着目したよび方である。」注
帝国	<p>掲載数 331個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題として「私たちの生活のなかで、経済活動はどのような役割を果たしているのでしょうか。」と記述している。 ・はてなマークの横に「パンができるまでにどのような人がかかわっているのでしょうか。」と記している。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確認しよう」というコーナーで「貨幣の役割を、本文から三つ書き出してみましよう。」 ・「説明しよう」というコーナーで「経済活動とはどのような活動か、「生産」「消費」という言葉を用いて説明してみましよう。」 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「モノやサービス」の説明として「モノとはパンのように形がある商品、サービスとは美容師の仕事のように形がない商品をいいます。」と記述している。注
日文	<p>掲載数 298個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題として「私たちのくらしは、経済活動とどのようにかかわっているのだろうか。」と記述している。 ・イラストによる吹き出しで「みんなは写真の中のもののうち、何にお金を使いたいかな。」と記している。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の確認と活用」というコーナーでまとめをさせている。「確認」では、自分が大事だと思う財とサービスを五つずつ書き出してみよう。「活用」では、私たちの身のまわりから、契約をしている場面を五つあげて、そのときにどんな権利と義務が発生しているかを考えてみよう。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豆知識」として「契約書」の説明を「お店で買いものをするときのように、ふつう契約に、契約書は必要ありません。しかし、家の売買など大きなお金がかかわる場合は、あとで契約の存在や内容について争いが起こったときの証拠として契約書を作成します。」と記述している。

自由社	<p>掲載数 278個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題として「経済とは何だろう。経済活動とかかわって社会はどのようなしくみになっているのだろうか。」と記載している。 ・それ以外の発問はほとんどない。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ここがポイント」というコーナーで、箇条書きでまとめがなされている。 ①社会全体の経済活動には、家計、企業、政府の3つの主体がある。 ②幸せに生きていくためにつくり出していくものを経済財という。 ③経済財は有形財とサービスとに、また私的財と公共財とに分けることができる。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経済財」の説明として、「人間が生きていくためには空気のように大切なものがある。しかし空気は自然界にいくらでもあり、人間が改めてつくり出す必要のないものである。このようなものを経済財に対して自由財という。」という説明がされている。注
育鵬社	<p>掲載数 228個</p> <p>問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題として「私たちの生活は、経済活動とどのようにかかわっているのでしょうか。」と記載している。 ・イラストの吹き出しで「身の回りの生活から、財とサービスを探してみよう。」と記載している。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの最後に、学習内容の理解を確認したり、学習内容を深めたりする課題を出すことでまとめとしている。「経済のしくみについて、『生産』と『消費』という語句を使って説明しましょう。」 ・「確認しよう」「鉛筆マーク」 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「付加価値」の説明として「生産過程で新たに加えられた価値のこと。一定期間の総生産額から原材料費や燃料費などを差し引いたものです。」と説明している。さらに指しマークをつかって別コーナーを設けて深く解説している。そこでは、GNPにも触れ、GDPとGNPの使用場面についても解説している。注

【社会科（公民的分野）】

観点	言語活動の充実
視点	①目的に応じて表現する力を育てるための工夫
方法	まとめ方の種類と具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(種類) <u>5</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画書 ・レポートの作成 ・ディベート ・議論 ・プレゼンテーション <p>(具体例)</p> <p><u>より良い社会を目指して</u> 「レポートの完成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レポートは『探究のテーマ』『テーマ設定の理由』『探究の方法』『探究の内容』『探究のまとめ』『参考資料』の六つで構成されます。この六つから、レポートをまとめましょう。」 ・生徒がつくったレポートの例「探究のテーマ 持続可能な社会と交通～富山市の取り組みを事例として～」
教出	<p>(種類) <u>4</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディベート ・プレゼンテーション ・ポスターセッション ・レポート作成 <p>(具体例)</p> <p><u>私たちにできること</u> 「『未来への私の約束』をつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これまでの公民の学習でつくった『ノート』をはじめ、他分野、他教科などでの学習を振り返り、持続可能な未来を妨げるさまざまな課題のなかから、自分にとって最も切実だと思う課題を選んでみよう。」 ・生徒がつくったレポートの例「未来への私の約束ー核兵器を拡声器にかえて、平和を！ー」と「未来への私の約束ー超高齢・人口減少社会に生きるー」が掲載されている。
清水	<p>(種類) <u>2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文を書いてみよう ・レポート（プレゼンテーション） <p>(具体例)</p> <p><u>未来をつくる君たちへ</u> 「卒業論文を書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「卒業を前にして、地理、歴史、公民的分野の学習でつちかっただ力をいかして卒業論文を書いてみよう。」 ・生徒がつくった論文の例は掲載されていない。

帝国	<p>(種類) <u>7</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング ・カード (KJ法等) ・レポートの作成 ・ディベート ・企画書の作成 ・新聞のスクラップ ・ディスカッション <p>(具体例)</p> <p><u>より良い社会をめざして</u> 「レポート作成の手順」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「これまでの学習内容をふりかえりながら, 「持続可能な社会」の形成のために何をすべきかについて, 自分で課題を設定し, レポートにまとめましょう。」 ・ 生徒がつくったレポートの例「発展途上国の教育について」が掲載されている。
日文	<p>(種類) <u>6</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング ・レポート作成 ・ディベート ・プレゼンテーション ・議論 ・ロールプレイ <p>(具体例)</p> <p><u>私たちの課題ー持続可能な社会をめざしてー</u> 「レポート作成の手引き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会科全体の総仕上げとして『これからの社会をどんな社会にしたい?』という思いを核にして, 『持続可能な社会』をつくるというテーマで, レポートを作成してみましょう。」 ・ 生徒がつくったレポートの例が5つ掲載されている。 「変わる国連のはたらき」「日本のエネルギー問題」「世界の貧困問題の解決」「若者と高齢者の関係」「災害にそなえるには」
自由社	<p>(種類) <u>2</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文 (レポート) ・ディベート <p>(具体例)</p> <p><u>持続可能な社会を目指して</u> 「レポートと卒業論文をつくろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「この教科書で学習した知識を活用して, 現代社会で起こっているさまざまな問題について, 改めて調べ, 自分の考えをまとめて, レポートや卒業論文をつくって発表しよう。」 ・ 生徒がつくったレポートや卒業論文の例は掲載されていない。
育鵬社	<p>(種類) <u>5</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー ・パンフレット作成 ・プレゼンテーション ・レポート ・ディベート <p>(具体例)</p> <p><u>社会科のまとめ</u> 「テーマを決めてレポートを作成しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「あなたが, 内閣総理大臣になったと仮定して, 日本を持続可能な社会としてさらに発展させていくためには, どのような政策を実行したらよいかを考え, 自分の意見をレポートにしてまとめてみましょう。」 ・ 生徒がつくったレポートの例「『環境立国, 日本』の国づくり計画書」が掲載されている。

令和元年 7 月 16 日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 地図

代表者 呉市立吉浦中学校 学校

氏名 小林 浩樹

呉市教科用図書調査・研究報告書について (報告)

このことについては、別添のとおりです。

【社会科（地図）】

観点	基礎・基本の定着
視点	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
方法	地図の見方の記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>P2 巻頭の世界全図に異なる図法の世界地図を掲載している。 図法の違いによる地図の特性について 面積が正しい地図（メルワイデ図法）と地図の中心からの距離と方位が正しい地図（正距方位図法）の比較</p>
	<p>P4 巻頭のページの一部に「この地図帳の地図記号」がまとめて掲載されている。 地図帳の記号凡例 世界の地図の記号凡例と日本の地図の記号凡例（カラー印刷） （世界） 都市の記号，境界の記号，交通の記号，自然の記号，施設などの記号（歴史にかかわる記号を含む），その他の記号（主な世界遺産，領土の記号） （日本） 都市の記号，境界の記号，交通の記号，自然の記号，施設などの記号，主な産業の記号，土地利用図，土地の高さの示し方，その他の記号（主な世界遺産，主な歴史の舞台を含む）</p>
	<p>P5 地図帳の活用方法～ヨーロッパ州を例に～ ①一般図を見てみよう タイトルの説明（縮尺，スケール，注目したい記号），国旗，さくいん記号，位置図（この地図が地球上でどの位置にあたるかを示す），ページ番号・インデックス</p>
	<p>P6 目的別の調査方法の説明 ②テーマ地図やグラフ・写真などの資料を見てみよう。 （ヨーロッパの基本資料，テーマ別の資料，歴史や公民での活用）</p>
	<p>P7 世界の地形（海底の地形も含む）と世界の造山帯と火山・地震</p>
	<p>P21～P22 鳥瞰図と断面図を利用して，中国とその周りの国の地形の特徴を読み取る。 P181 地形図の比較 「2008年の小浜市付近（5万分の1の地形図）」に，主な地図記号が38個</p>
	<p>○ 世界と日本の一般図に「注目したい記号」 （例）P69 オーストラリア・ニュージーランドで注目したい記号 ⊕ 飛行機で往診する医療の基地</p>

- P3 巻頭の世界全図に異なる図法の世界地図を掲載している。
 図法の違いによる地図の特性について
 面積が正しい地図（エケルト図法）と地図の中心からの距離と方位が正しい図法（正距方位図法）の比較
- P4 巻頭の1ページを使って、「この地図帳の記号凡例」がまとめて掲載されている。
 地図帳の記号凡例
 世界の地図の記号凡例と日本の地図の記号凡例（カラー印刷）
 (世界) 都市の記号, 境界の記号, 交通の記号, 自然・環境にかかわる記号 (主な世界遺産を含む), 領土の記号, 歴史にかかわる記号, その他の記号
 (日本) 都市の記号, 都市図の記号, 境界の記号, 交通の記号, 自然・環境にかかわる記号, 生活にかかわる記号, 歴史にかかわる記号, 農林水産業の記号, 工業の記号, その他の記号
 ※ 土地利用図及び土地の高さの示し方はそれぞれの地図ごとに, 個別に示されている。
- P5 地図帳の構成～オーストラリアを例に～
 縮尺の説明, 記号の凡例, さくいん記号 (地名の探し方の説明), 位置図 (この地図が地球上でどの位置にあたるかを示す), 同緯度同経度同縮尺の日本 (日本と位置や大きさを比較), ページタイトルと縮尺, 隣接ページ, インデックス, 経線, 緯線, 学習課題
- P6 目的別の調査方法の説明 (自然を調べたいときは, 産業を調べたいときは, 歴史・文化を調べたいときは, 地名を探したいときは)
- P7 地図を活用して地域の特色をとらえる方法の説明—北陸の3県を例に—
 (自然に注目, 人口に注目, 産業に注目)
- P8 国土地理院の地形図の読み取り方～函館市を例に～
 地形図の縮尺の説明と地形図の主な記号が52個
- P21 資料図の活用～アジア州の資料図を例に～
 植生と土地利用をカラー印刷した主題図や写真資料を利用して, アジア州の自然, 産業, 暮らしの特徴を読み取る。
- P25～P26 鳥瞰図と断面図を利用して, 中国とその周りの国の地形の特徴を読み取る。
- 世界と日本の一般図と資料図に「地図を見る目」が表示
 (例) P67 南アメリカ州の資料図
 「地図を見る目」アマゾン川の流域には熱帯林が広がっており, その南側に広い畑が広がっていることに着目しよう。

【社会科（地図）】

観点	基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深めるための工夫
方法	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例

発行者	調査・研究内容
東書	P97～P98 京都市と奈良市と神戸市の中心部の地図（史跡や文化財記入）
	P118 東北地方の伝統的な食文化（写真資料）
	P130 北海道地方のアイヌ語に由来する地名
	P131～P132 日本の地形の特徴（火山と海溝，川のかたむき）
	P133～P134 日本の気候区分（カラー印刷） (1) 日本の気象記録 (2) 降水量（1年，1月，7月）
	P135～P136 日本の災害と防災 (1) 火山と地震の分布図 (2) 主な気象災害とハザードマップ (3) 日本の国立公園，ラムサール条約登録湿地，ジオパーク
	P154 日本の生活と文化 各地の郷土料理，方言分布
	P182～P184 日本の周辺 — 近隣諸国と地理的環境が表示 (1) 尖閣諸島（沖縄県），竹島（島根県），北方領土の位置，写真，説明文（尖閣諸島は日本が実効支配し国際的に日本の領土，竹島は韓国が不法に占拠，北方領土はソ連・ロシアに不法に占拠） (2) 日本の東西南北端（写真資料と説明文） (3) 排他的経済水域をオレンジの線で示す
	P184 旧国名と現在の都道府県の境の比較
	○ 歴史的分野の教科書で扱われる地名や遺跡が，紫色に白い文字で地図中に表記されている。巻末の「事項別さくいん」に，遺跡や史跡の索引が掲載されている。

帝国	<p>P31～P32 東アジアと日本～大陸から日本を見わたす地図～</p> <p>(1) 歴史地名 (大宰府, 白村江), 史跡</p> <p>(2) 様々な交流ルートの説明 (遣唐使, 鑑真, 南蛮船, 朝鮮通信使等)</p> <p>(3) 東アジアで共通してみられる生活や文化 (イラスト, 写真資料)</p> <p>(4) 現代の日本と東アジアの様々な結びつき</p>
	<p>P75～P80 日本列島</p> <p>(1) 尖閣諸島 (沖縄県), 竹島 (島根県), 北方領土 (国後) の位置, 写真, 説明文 (尖閣諸島は固有の領土, 竹島は韓国が不法に占拠, 北方領土はロシアが不法に占拠)</p> <p>(2) 南西諸島から隣国までの距離</p>
	<p>P95 近畿地方の世界遺産と古代の都の位置が記入された地図</p>
	<p>P100 京都市と奈良市の中心部の地図 (史跡や文化財記入)</p>
	<p>P110 世界遺産富士山 (活火山としての富士山と浮世絵)</p>
	<p>P120 江戸時代末期の江戸と現代の東京の中心部の比較</p>
	<p>P137～P138 北海道地方の開拓の歴史とアイヌ語地名</p> <p>日本とロシア・ソ連の国境の変遷</p>
	<p>P139～P140 日本の地形の特徴と世界自然遺産, 世界ジオパーク</p>
	<p>P141～P142 日本の気候区分 (カラー印刷)</p> <p>(1) 季節風と降水量・降雪量の関係</p> <p>(2) 日本列島の南と北の気温の比較</p>
	<p>P143～P144 日本の災害と防災</p> <p>(1) プレートと地震の関係</p> <p>(2) 様々な災害と防災 (防災マップ)</p>
	<p>P155 日本の伝統的な生活や文化</p> <p>伝統的な町並み, 様々な郷土料理, 地域による方言の違い</p>
	<p>P174 昔の国名と国境と現代の都道府県の境の比較や現在に残る昔の国名の例 (薩摩いも, 伊勢えび, 阿波踊りなど)</p>
	<p>P175～P176 日本の位置とまわりの国々 — 近隣諸国と日本の地理的環境が表示</p> <p>(1) 東京から 1000～1500km, 1500～2000 km の範囲にある国や都市</p> <p>(2) 領土・領海・領空の範囲 (模式図) と日本の東西南北端 (写真資料と地図)</p> <p>(3) 排他的経済水域の説明と日本の排他的経済水域と他国との比較</p> <p>日本は領土の面積は狭いが, 排他的経済水域は広い。</p>
	<p>○ 「おもな歴史地名・事項」が紫色の文字で, 「重要な歴史地名・事項」が紫色に白い文字で地図中に表記されている。</p>

【社会科（地図）】

観点	基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	環境, 国際理解に係る学習への活用

発行者	調査・研究内容
東書	<p><u>環境に関わる学習に活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の環境①, 世界の環境②を掲載している。 ・「世界の環境①」(見開き2ページ)が設けられおり、「世界の植生と世界自然遺産」に自然遺産16ヶ所, 絶滅する恐れのある動物9種類の写真がある。また、「世界の環境②」(見開き2ページ)があり、「さまざまな環境問題」「世界の二酸化炭素排出量」に関連した資料や写真が掲載されている。 ○日本の自然環境(災害・環境問題)を掲載している。 ・「火山と地震の分布」や「東日本大震災の地震と津波」「ハザードマップの例」「日本の主な公害」「国立公園やラムサール条約登録地」がある。 ○巻末の「資料さくいん」に、「環境, 防災・安全」の項目がある。 ○「環境, 防災・安全」の項目で掲載している資料 ・「世界の植生と世界自然遺産」 ・「さまざまな環境問題」 ・「世界の二酸化炭素排出量」 ・「日本によるODA(政府開発援助)ーJICA(国際協力機構)の環境保全の取り組みー」 ・「アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採」 ・「台風や土砂災害の被害を受けやすい地域」 ・「九州地方の火山と温泉・地熱発電所」 ・「水俣病の市町村ごとの認定患者数」 ・「環境都市を目指す北九州市」 ・「東北地方の冷害と各県の銘柄米の生産」 ・「東日本大震災による被害」 ・「北海道の地形と自然災害」 ・「火山と地震の分布」 ・「日本の主な気象災害」 ・「ハザードマップの例」 ・「東日本大震災の地震と津波」 ・「日本の主な公害」 ・「日本の国立公園・ラムサール条約登録湿地・ジオパーク」 <p><u>国際理解に係る学習への活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の国旗を各地域の一般図に掲載している。 ○世界の生活・文化①②を掲載している。 ・「世界の住居の材料」「世界の食文化」「世界と日本のカロリー摂取量」「世界の宗教」「世界の言語」「世界の祭り」に関わる地図や写真がある。 ○巻末の「資料さくいん」に「結び付き」の項目がある。 ○「結び付き」に掲載されている資料の内, 日本と世界の結び付きに関する資料 ・「アジアNIESの輸出品の変化」 ・「日本と韓国の航空路とフェリーの航路」 ・「日本の品目別輸入先」 ・「EU加盟国の拡大」 ・「アフリカの主な国の輸出品目の変化」 ・「アフリカのモノカルチャー経済」 ・「主な国の経済協力資金受け入れ額」 ・「NAFTA(北アメリカ自由貿易協定)の結び付き」 ・「中部アメリカからアメリカ合衆国への人口の移動」 ・「オーストラリアの輸出相手国の変化」 ・「オーストラリアへの旅行者の変化」 ・「高速道路や橋の変化」 ・「世界との結び付き」 ・「日本の地域間の輸送量」 ・「日本の輸入」 ・「日本の輸出」 ・「日本の貿易」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本－ヨーロッパ間の所要時間とルートの変化」 ・「世界の航空路」 ・「日本の高速道路の発展と交通量（旅客と貨物）」 ・「日本の主な鉄道の輸送量（旅客）」 ・「日本の主な航空路」 ・「鉄道的高速化」 ・「世界のインターネットの利用率」 ・「日本の在留外国人数」 ・「世界の観光」 ・「世界の国々の結び付き」
<p style="text-align: center;">帝国</p>	<p><u>環境に関わる学習に活用</u></p> <p>○世界の環境問題（見開き2ページ）を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境破壊の状況を示した写真9枚，環境問題へ取り組み（国際会議等）の様子を示した写真5枚が掲載されている。 <p>○日本の地形と守りたい自然環境を掲載している。</p> <p>○日本の災害と防災（見開き2ページ）を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の地震と火山の分布」や「東日本大震災の災害」「気象による災害」や「自然災害に対する備え」「地形図と防災マップを読み取り，災害から身を守ろう」が掲載されている。 <p>○環境問題の資料を表わす「環境」という表記がある。</p> <p>○「環境」に掲載されている資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大気汚染」 ・「森林の変化」 ・「サウジアラビアの砂漠の農地化」 ・「アマゾン盆地（ブラジル）の森林の減少」 ・「琵琶湖の水利用，琵琶湖の透明度の変化」 ・「藤前干潟の環境保護」 ・「ヒートアイランド現象の広がり」 ・「白神山地の自然保護」 ・「釧路湿原」 <p>○防災に関する資料を表す「防災」という表記がある。</p> <p>○「防災」に掲載されている資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「神戸市付近のようす」 ・「洪水への備え」 ・「都市型洪水へのそなえ」 ・「震災からの復興のようす」 <p><u>国際理解に係る学習への活用</u></p> <p>○世界の国旗を各地域の一般図に掲載している。</p> <p>○日本との結び付きを示す資料がある。</p> <p>○世界の生活・文化（1）（2）（4ページ）を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特色のある住居と衣装」「特色ある料理と食事」「主食となる作物」「さまざまな宗教」「さまざまな言語（公用語）」に関わる地図や写真がある。 <p>○「日本との結びつき」に掲載されている資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経済の結びつき」 ・「現代のさまざまな結びつき」 ・「おもな産物・製品の日本への輸出国」

	<ul style="list-style-type: none">・「南アジアのおもな国の日本への輸出」「インドに進出した日本企業」・「西アジア諸国の原油の輸出先」・「おもな国の日本への輸出」・「日本がヨーロッパから輸入する商品」・「極東ロシアの資源と貿易」・「人の行き来」「貿易」「日本の工場の進出」・「日本からの移民」・「旅行者数の変化」
--	---

【社会科（地図）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高めるための記載内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○資料についての理解を促し、考察を深められるように読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを記載している。 (39か所)</p> <p>○世界と日本の一般図に「注目したい記号」が表示されている。</p> <p>○世界と日本の資料図に「ジャンプ」が示され、関連のある地図や資料のページが示されている。</p>
帝国	<p>○地図活用のスキルが身につくよう、また、地図への着眼点が理解できるように、地図を見る上での着眼点を示した「地図をみる目」(30か所)、地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」(43か所)を記載している。</p>

【社会科（地図）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	呉市や広島県に関する記載

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○日本の工業地域の代表的な工業地域として、「瀬戸内工業地域（広島県呉市）」が掲載されている。</p> <p>○呉市と広島県が掲載された「100万分の1」と「50万分の1」の2種類の地図がある。 (具体例) 50万分の1の地図に掲載されている呉市の地名 呉、広、川尻、安浦、灰ヶ峰、野呂山、音戸、倉橋、音戸大橋、倉橋島、情島、下蒲刈、下蒲刈島、安芸灘大橋、蒲刈、上蒲刈島、豊浜、豊島、大崎下島、豊、齋島、下黒島、上黒島、尾久比島、朝鮮通信使遺跡</p> <p>○爆心地周辺の被害状況等が示された「広島市付近」の主題図がある。</p> <p>○中国・四国地方の工業 呉：金属製造について記載。</p>
帝国	<p>○呉市だけを扱った写真や資料はない。</p> <p>○呉市と広島県が掲載された「100万分の1」と「50万分の1」の2種類の地図が掲載されている。 (具体例) 50万分の1の地図に掲載されている呉市の地名 呉、川尻、安浦、野呂山、弘法寺、海事歴史科学館、音戸、倉橋、音戸大橋、早瀬大橋、倉橋島、下蒲刈、下蒲刈島、蒲刈、上蒲刈島、豊浜、豊島、大崎下島、豊、朝鮮通信使遺跡、齋島</p> <p>○爆心地周辺の被害状況等が示された「広島市付近」の主題図がある。</p> <p>○中国・四国地方の工業 呉：金属製造について記載。</p> <p>【使用実績に関すること】 日本の各地方のページでは、それぞれの地域の特徴を取り入れた資料が掲載されており、生徒も興味・関心を持って地図帳を活用することができている。</p>

【社会科（地図）】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	作業的・体験的な学習課題と主体的な学習につながる具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p><u>作業的・体験的な学習課題</u></p> <p>○地図帳のなかに吹き出しとして入っている。以下はその内容の例とページ数である。</p>
	P5 ヨーロッパの国旗の資料の中に、「共通点のある国旗があるみたいだね。理由があるのかな。」
	P5 ヨーロッパの地図の中に、「ヨーロッパではどんなことに注目するといいのかな。」
	P6 ヨーロッパのテーマ資料の中に、「現在のEUは28か国が加盟しているけど、基になったECは何か国でスタートしたのかな。」
	P16 世界と日本のカロリー摂取の資料の中に、「カロリー摂取の少ない地域はどの辺りに広がっているのかな。」
	P37 地中海式農業の資料の中に、「ぶどうやオリーブの栽培は、どんな気候に適しているのかな。」
	P43 ヨーロッパの農牧業の資料の中に、「一つの畑で同じものを育て続けられないのはどうしてかな。」
	P44 ブリュッセルの中心地の資料の中に、「一つの国でも、地域によって使う言語が分かっているね。言葉がちがって困ることはないのかな。」
	P46 ヨーロッパの自動車工場の分布の資料の中に、「1980年と2010年とでは、自動車工場の分布にはどんなちがいがいるのかな。それはなぜだろう。」
	P53 アフリカの一人あたりの国内総生産の資料の中に、「一人あたりの国内総生産が高い国には、どんな特徴があるのかな。」
	P82 九州地方の火山と温泉・地熱発電所の資料の中に、「温泉や地熱発電所が集まっている地域にはどんな共通点があるのかな。」
	P118 東北地方伝統的な食文化の資料の中に、「料理に使われている食材には、どんな特徴があるかな。」
	P131 日本の自然環境（地形）の中に、「日本の地形は、気候や人口分布、産業にどのような影響をあたえているのでしょうか。この後のページに続くさまざまな地図と見比べて考えてみましょう。」
	P139 世界と日本の資源・エネルギーの中に「油田やガス田の分布にはどんな特徴があるんだろう。原油をたくさん輸入しているのはどこかな。」
	P145 日本の土地利用の資料の中に、「土地利用と地形にはどんな関係があるのかな」
	P152 世界と日本の交通・通信網の中に、「交通量や輸送量が多いところには、どんな特徴があるかな。」
	P154 日本の生活と文化に、「どれもおいしそうだね！みんなの住んでいる地域にはどんな郷土料理があるかな。」
	P154 日本の生活と文化の中に、「キャラクターの基になっているのはそれぞれの道府県のどんな事柄だろう。」
	P154 日本の生活と文化の中に、「使われている言葉にはその地域の特徴が表れているのかな。」
	P157 世界各地の平均気温・平均降水量の中に、「場所によって見られる植物が違うのはどうし

	<p>てかな。」</p> <p>P181 地形図の比較の中に、「1958年と2008年の地形図を比較して、地域の変化について気づいたことを挙げてみましょう。」</p> <p>P184 旧国名の中に、「今の都道府県の境界と同じ所とちがう所があるね。どう変わっていったのかな。」と「ふだんの生活の中に出てくる呼び方もあるね。」</p> <p><u>主体的な学習につながる具体例</u></p> <p><u>先生のキャラクターが「日本の地形は、気候や人口分布、産業にどのような影響をあたえているでしょうか。この後のページに続くさまざまな地図と見比べて考えてみましょう。」と呼びかけている。</u></p> <p><u>先生のキャラクターが「ヨーロッパの特色をとらえるときには、テーマについてほかの州や世界全体、日本の様子と比べて見ることも必要です。」と呼びかけている。</u></p>
<p>帝国</p>	<p>○地図帳のなかに「やってみよう」という吹き出しとして、入っている。以下はその内容例とページ数である。</p> <p>P3 「絵のように丸めた地図と地球儀とでは、大陸の形や大きさがちがっていることを調べよう。」</p> <p>P7 「この地域の特色を見付けよう。」</p> <p>P8 「4つのポイントをクリアしながら、ゴールまで赤い線をたどってみよう。」</p> <p>P10 「各大陸のいちばん高い山とマリアナ海溝の深さを比べたり、おもな川の流れる方向などを確認して、世界の地形の概観をとらえよう。」</p> <p>P11 「各都市の気温と降水量の変化が東京と違う理由を、①図で都市の緯度の違いから考えてみよう。」</p> <p>P13 「私たちは自然を守るために、どのようなことに協力できるか、現地の人々の立場に立って話し合ってみよう。」</p> <p>P24 「中国や韓国の首都をさくいでさがして、さくいの使い方を確認してみよう。」</p> <p>P27 「米・小麦の生産がさかんな地域ではどのような伝統料理がみられるか、④図で確認しよう。」</p> <p>P34 「西アジアと日本を結ぶタンカーの航路を指でたどりながら、通過する海洋や海峡の名前を確認しよう。37～38ページでも同じことをやってみよう。」</p> <p>P38 「油田が数多くみられることや、砂漠やかれ川の分布から、乾燥した気候が広がっていることを確認してみよう。」</p> <p>P40 「南アジアの国々から日本へ輸出される品目と⑤図を比べて、各国でさかんな工業をとらえよう。」「サウジアラビアでは地下水を電気でもみ上げるセンターピボット方式の農地が増えたが、環境にはどのような影響があるのか考えてみよう。」</p> <p>P45 「日本の東北地方や北海道にあたる、北緯40～45度の範囲にある国の名前をあげてみよう。」</p> <p>P47 「ライン川とドナウ川を指でたどり、通過する国や首都をあげてみよう。」</p> <p>P53 「エアバス社の工場を見つけ、どのような国にかかわっているか確認しよう。」</p> <p>P54 「①図の肥沃な黒土地帯では、1月の平均気温が何度くらいになるか②図で調べてみよう。」</p> <p>P56 「シベリア鉄道でモスクワからウラジオストクまで行くのに、どのくらいの時間がかかるか指でたどりながら確かめてみよう。」</p>

- P62 「年降水量 500mm の線をたどり、この線を境に農牧業のようすがどのように違うか調べてみよう。」
- P65 「北緯 37 度よりも南のサンベルトと呼ばれる地域では、どのような工業がさかんか調べてみよう。」
- P66 「アンデス山脈のなかにある首都の名前をあげてみよう。」
- P69 「シドニーを出発したインディアンパシフィック号の各地の到着時刻から、オーストラリアの広大さに着目しよう。」
- P71 「オーストラリアの多くの大都市が海岸沿いにある理由を、気候や農業から考えてみよう。」
- P72 「ヨーロッパと新大陸との交流のルートを時代の古い順に確認してみよう。」
- P73 「APEC の参加国・地域を確認し、太平洋を取りまく国や地域の結びつきが強まっていることに着目しよう。」
- P75 「②図から那覇～福岡と、那覇～タイペイの長さをはかり、実際の距離を計算して比べてみよう」
- P78 「①図から、福岡を中心として大阪・東京・ソウルの各都市までの長さをはかり、実際の距離を計算して比べてみよう。」
- P88 「中国山地にある盆地が海岸部の都市と、どのような交通機関で結びついているか調べよう。」
- P89 「四国地方の県庁所在地から大阪方面に向かうには、どのような行き方があるだろうか。」
- P91 「この地方の農業は、地域によってどのような違いがあるか、円グラフから読みとってみよう。」
- P92 「金属や石油・化学の工場にマーカーし、この地域に立地した理由を輸送の面から考えてみよう。」
- P95 「重要な歴史地名がどの府県に多くあるか確認してみよう。」
- P108 「東名高速道路沿いの富士から名古屋にかけて、どのような工業製品が生産されているか、記号を拾い出してみよう。」
- P114 「信濃川を河口からさかのぼって、その川沿いでみられる土地利用や農業・工業の記号を拾い出してみよう」
- P118 「野菜の絵記号から、大都市の周辺部でさかんに生産されていることを確認しよう。」
- P133 「あなたの住む都府県の形を薄紙に写し取り、石狩平野や十勝平野付近に重ねて広さを比べてみよう。」
- P135 「北海道の北部では、どのような水産物・農畜産物がとれるか記号から読み取ってみよう。」
- P137 「①図の中で「別」のついた川名や「シリ」のついた山名をさがして赤色でかこんでみよう。」
- P139 「㉞～㉟の写真の位置を②図で確認して、特色ある地形の場所を知ろう。
- P142 「1 月の降水量が日本海側で多い理由を、⑥図と⑧図から説明してみよう。
- P144 「地形図中の「・・・」と防災マップの「□」のところを見比べて、等高線の間隔を調べよう。」
- 「右の地形図で 10m の等高線「・・・」を赤色でなぞろう。津波がきたときには、㉞～㉟のどこに避難するのがよいだろうか。」
- P150 「各都市でさかんな工業の種類に着目し、分布の特色とその理由を調べてみよう。」
- P152 「③⑤⑥図の上位 3 県を読み取り、④図で土地利用との関連を確認してみよう。」
- P176 「東京から 1000～1500km、1500～2000km の範囲にある国やおもな都市をあげて、日本の排他的経済水域が広いことを確認しよう。」

主体的な学習につながる具体例

(具体例)「国土地理院の地形図を読み取ろう①函館市」

4つのポイントが描かれた函館市の地図を使い、「4つのポイントをクリアしながら、スタートからゴールまで赤い線をたどってみよう。」という学習課題が示された「やってみよう」のコーナーがある。スタートから、順に作業を行うよう、指示されている。

【使用実績に関すること】

「やってみよう」という吹き出しがあり、地図帳を確認しながら、作業ができるので、授業をスムーズに展開することができる。

【社会科 (地図)】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元・題材や資料等の配列
方法	内容の構成と配列及びページ数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○全体の構成は「世界」「日本」「基礎資料図」となっている。(総ページ数は184ページ) AB判</p> <p>○内容の配列及びページ数は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭・活用方法等 (6ページ) ・各主題の世界地図 (12ページ) 世界全図, 地図帳の活用方法, 世界の地形, 世界の気候, 世界の環境①②, 世界の生活・文化①② ・世界の諸地域 (54ページ) アジア州, ヨーロッパ州, アフリカ州, 北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州で構成 ・日本の諸地域 (58ページ) ・日本の資料図 (25ページ) 日本の自然環境 (地形・気候・災害, 環境問題), 世界と日本の人口, 世界と日本の資源・エネルギー①②, 世界の農林水産業, 日本の農林水産業, 日本の工業, 世界の工業, 世界と日本の貿易, 世界と日本の交通・通信網, 世界と日本の結び付き, 日本の生活と文化, 世界の文化 ・統計資料 (10ページ) <ul style="list-style-type: none"> <u>自然の統計の事項</u> 世界の主な海洋, 世界の主な自然災害, 世界と日本の主な湖沼, 世界と日本の主な山, 世界と日本の主な河川, 世界と日本の主な島, 世界と日本の各地の気温と降水量, 世界と日本の流域・流域面積・最大流量 <u>世界の国別統計の項目</u> 国名, 首都, 面積, 人口, 人口密度, 年平均人口増加率, 国内総生産, 一人当たり国民所得, 主な言語, 主な宗教, 日本との貿易 <u>日本の都道府県の統計表</u> 面積, 人口, 人口密度, 老年人口の割合, 農業生産額 (米, 畜産, 野菜, 果実), 漁獲量, 木材生産量, 工業生産額 (機械, 金属, 化学, せんい, 食品), 伝統的工芸品 <u>日本の農水産物の生産</u> <u>日本の工業製品の生産</u> ・さくいん (13ページ) ・巻頭, 巻末 (8ページ) <p>○世界の国別統計は地域別で色分けされている。</p> <p>○世界の国別統計の項目は, 次のとおりである。 国名, 首都, 面積, 人口, 人口密度, 年平均人口増加率, 国内総生産, 一人当たり国民所得, 主な言語, 主な宗教, 日本との貿易</p> <p>○日本の都道府県の統計表では, すべての1位を赤字で示している。</p>

○全体の構成は、「世界」「日本」「資料図」となっている。

(総ページ数は176ページ) AB判

○内容の配列及びページ数は、次のとおりである。

・巻頭、世界の国々 (3ページ)

・使い方各主題の世界地図 (15ページ)

世界の国々、地図帳の使い方、地図を読みましょう、世界の地形、世界の気候
世界の環境問題、世界の生活・文化

・世界の諸地域 (56ページ)

アジア州、アフリカ州、ヨーロッパ州、南北アメリカ州、オセアニア州、大西洋、太平洋、インド洋で構成

・日本の諸地域 (64ページ)

・日本の資料図 (17ページ)

日本の地形と守りたい自然環境、日本の気候、日本の災害と防災、世界と日本の人口、世界と日本の資源・エネルギー、日本の工業、世界と日本の農業・水産業、世界と日本の交通・通信網、日本の生活・文化

・統計 (9ページ)

自然の統計の事項

地球の大きさ、世界と日本のおもな山、世界と日本のおもな川、世界と日本のおもな島、世界と日本のおもな湖沼、気候の統計

世界の国別統計の項目

国名、首都、人口、面積、人口密度、貿易額、おもな輸出品、穀物自給率、エネルギー自給率、1人あたりの国民総所得、おもな宗教、おもな言語

日本の都道府県の統計表

人口、面積、人口密度、産業別人口の割合、耕地面積、水田率、農業産出額 (米、野菜、果実、畜産)、漁業生産量、工業生産 (機械工業、金属工業、化学工業、繊維工業、食品工業、その他の工業)、小売業年間販売額、1人あたりの県民所得、65歳以上人口割合、人口10万人あたりの医師数、おもな伝統工芸品・特産品

日本のおもな産物

・さくいん (9ページ)

・巻末 (3ページ)

昔の国名と国境、都道府県、日本の位置とまわりの国々、領土・領海・領空の範囲 (模式図)、おもな国の排他的経済水域の面積、日本の東西南北端

○世界の国別統計は、地域別の色分けされている。

○世界の国別統計の項目は次のとおりである。

国名、首都、人口、面積、人口密度、貿易額、おもな輸出品、穀物自給率、エネルギー自給率、1人あたりの国民総所得、おもな宗教、おもな言語

○都道府県の統計で、すべての都道府県の各事項やおもな農産物を一覧で掲載し

1位～5位を赤字で示している。

○「都道府県の産品と各所・お国自慢など」ですべての都道府県の特徴をあらわす名所、生産品の全国順位を都道府県別に一覧にして示している。

【社会科（地図）】

観点	内容の表現・表記
観点	⑦地図や資料等の取扱い
方法	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方

発行者	調査・研究内容
東書	<p><u>地図の種類</u></p> <p>①世界全図 赤道上の距離を示している。</p> <p>②広域地図, 大陸地図 3500万分の1～6000万分の1 ・ユーラシア・オーストラリア・北極圏 (4500万分の1) ・ヨーロッパ・アフリカ (3500万分の1) ・環大西洋 (6000万分の1) ・南北アメリカ (4500万分の1) ・環太平洋, 環インド洋 (6000 万分の1)</p> <p>③各州地図 1500万分の1～4500万分の1 ・東アジア (1600万分の1) ・東南アジア・南アジア (2500万分の1) ・西アジア・環地中海 (2000万分の1) ・ヨーロッパ (1600万分の1) ・ロシア連邦 (2200万分の1) ・アメリカ合衆国 (1500万分の1) ・南アメリカ州 (3000万分の1) ・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の1)</p> <p>④世界その他 ・ヨーロッパ中央 (900万分の1) ・朝鮮半島(500万分の1) ・イスラエル周辺 (300 万分の1)</p> <p>⑤日本全体 550 万分の1</p> <p>⑥日本の各地方地図 100万分の1 ・九州地方, 中国地方, 四国地方, 近畿地方, 中部地方, 関東地方, 東北地方 ・北海道地方南部, 北海道地方北部 (北海道地方は 200 万分の1)</p> <p>⑦日本のある地域の拡大図 50万分の1 ・沖縄島 ・福岡県とその周り ・広島市・岡山市周辺 ・大阪府とその周り ・愛知県とその周り ・東京都とその周り ・仙台市とその周り ・札幌市周辺</p> <p>⑧日本その他 ・南西諸島(550 万分の1)</p> <p><u>資料の活用方法の示し方</u> ○先生や生徒のキャラクターのふきだして, 資料を活用するような呼びかけがある。 (具体例) 日本の土地利用 (水田, 畑, 果樹園等) 「土地利用と地形とはどんな関係があるかな。」</p>

地図の種類

① 世界全図

11600 万分の 1, 赤道上の長さを示している。

② 広域地図, 大陸地図

3500 万分の 1~6000 万分の 1

- ・アジア州 (4200 万分の 1)
- ・アフリカ州 (3500 万分の 1)
- ・南北アメリカ (4500 万分の 1)
- ・大西洋 (6000 万分の 1)
- ・太平洋・インド洋 (6000 万分の 1)

③ 各州地図

1600 万分の 1~3000 万分の 1

- ・東アジア (1600 万分の 1)
- ・東南アジア (2000 万分の 1)
- ・南・西・中央アジア (2000 万分の 1)
- ・ヨーロッパ (1600 万分の 1)
- ・ロシア連邦とまわりの国々 (2200 万分の 1)
- ・アメリカ合衆国 (1600 万分の 1)
- ・南アメリカ (3000 万分の 1)
- ・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の 1)

④ 世界その他

- ・ヨーロッパ中央部 (800 万分の 1)
- ・朝鮮半島 (300 万分の 1)
- ・イスラエル・パレスチナ (250 万分の 1)

⑤ 日本列島

400 万分の 1

⑥ 日本の各地方地図

100 万分の 1

- ・九州地方, 中国地方, 四国地方, 近畿地方, 中部地方, 関東地方, 東北地方
- ・北海道地方南部, 北海道地方北部
(北海道地方は 200 万分の 1)

⑦ 日本のある地域の拡大図

50 万分の 1

- ・沖縄島
- ・九州地方北部・広島市周辺
- ・香川県
- ・大阪府とそのまわり
- ・愛知県とそのまわり
- ・東京都とそのまわり
- ・仙台市とそのまわり

⑧ 日本その他

- ・南西諸島(400 万分の 1)

資料の活用方法の示し方

○「やってみよう」で, 資料の活用方法が示されている。

(具体例) 土地利用とおもな農産物の産地

『米, 野菜, 果実の生産図』の上位 3 県を読み取り, 『土地利用とおもな農産物の産地』の図で土地利用との関連を確認しよう。」

【使用実績に関すること】

日本の各地方図のページでは, 人や物の移動の様子や生産品の分布図を掲載していることで, 様々な資料を読み取り, 多面的・多角的な見方・考え方を身につけさせるのに役だった。

【社会科（地図）】

観点	言語活動の充実
視点	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫
方法	地図を活用した調べ方の事例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>巻頭「この地図帳の活用方法」で、「ヨーロッパの基本資料」を例に、地図や資料を活用するためのテーマに沿った学習の在り方や関連資料の探し方が例示されている。</p> <p>（調べ方の事例）</p> <p>「基本資料」は教科書の世界の各州、日本の各地方の学習で、最初にその州・地方を大きく眺めるのに役立ちます。世界の各州の「基本資料」のページには、その州の土地利用、降水量、地形の断面図が共通でのっています。</p> <p>（関連情報等）</p> <p>P5・6 この地図帳の活用方法として解説 「ジャンプ」として関連のページを表示</p> <p>単元ごとに 基本資料・テーマ資料として分類 P145 日本の農林水産業 テーマごとの7つの地図で表示</p> <p>キャラクターの吹き出しによって学習課題を確認することができる</p>
帝国	<p>巻頭「この地図帳の使い方」で、「自然を調べたいときは」「産業を調べたいときは」「歴史・文化を調べたいときは」「地名を探したいときは」の4つのテーマで地図を活用した調べ方の具体例が示されている。</p> <p>（調べ方の事例）</p> <p>「自然を調べたいときは」</p> <p>オーストラリアの自然の特色は、左の地図から土地利用と植生が読み取れますが、図中の年降水量や「気候の統計」も参考にするとより把握しやすくなります。</p> <p>（関連情報等）</p> <p>P5・6 この地図帳の使い方として解説 P7 地域の特色をとらえるポイントとして3つの視点を表示</p> <p>各単元ごとに資料図として資料地図を中心に掲載 世界の各単元で緑の枠で「環境」・「日本との結びつき」を強調した資料掲載 日本の各単元では緑の枠で「環境」・「防災」を強調した資料掲載 「地図をみる視点」で各地図から読み取るべき課題を表示 「やってみよう」で作業的課題を表示</p>

【社会科（地図）】

観点	言語活動の充実
視点	⑨目的に応じて表現する力を育てるための工夫
方法	地図を活用した表現の事例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>巻末に「地形図の比較」のコーナーがあり、先生のキャラクターが2つの地図を比較し、気づいたことを呼びかけている。</p> <p>(具体例)</p> <p>P181 1958年と2008年の地形図「2008年の小浜市付近（5万分の1地形図）」を比較して、地域の変化について気づいたことをあげてみよう。</p> <p>P131～132 日本の地形、気候や人口分布、産業の影響をあたえているでしょうか。</p>
帝国	<p>「やってみよう」と題して、実際に作業できるような学習課題を設けている。その学習課題の中で、「～を説明しよう。」や「～を書き込んでみよう。」という呼びかけがある。</p> <p>(具体例)</p> <p>P71 「オーストラリアと日本がどのように結びついているか、図から読み取って説明しよう。」</p> <p>P92 「金属や石油・化学の工場にマーカース、この地域に立地した理由を輸送の面から考えてみよう。」</p>